

令和 4 年度
西桂町
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
見直しのためのニーズ調査
報 告 書
(抜粋版)

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象者.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 報告書の見方.....	1
7 調査結果の傾向について（要点整理）.....	2
II 一般高齢者調査結果	9
1 あなたのご家族や生活状況について.....	9
2 からだを動かすことについて.....	11
3 食べることについて.....	19
4 地域での活動について.....	23
5 健康について.....	29
6 日常生活全般について.....	32
7 地域包括支援センターについて.....	36
8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	37
9 成年後見制度について.....	39
10 介護保険制度について.....	43
III 要支援・要介護認定者調査結果	45
1 調査対象者（あて名）ご本人について.....	45
2 介護保険サービスについて.....	47
3 主な介護者について.....	53
IV 第2号被保険者調査結果	55
1 健康について.....	55
2 地域とのかかわりについて.....	61
3 安全・安心について.....	64
4 成年後見制度について.....	68

I 調査概要

1 調査の目的

この調査は、「西桂町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、その基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象者

①一般高齢者	65歳以上の町民
②要支援・要介護認定者	町内に在住する在宅の要支援・要介護認定者
③第2号被保険者	40歳から64歳の町民

3 調査期間

令和4年12月14日（水）～令和4年12月28日（水）

4 調査方法

郵送配布・郵送回収

5 回収状況

	対象者数	有効回収数	有効回収率
①一般高齢者	600	456	76.0%
②要支援・要介護認定者	160	96	60.0%
③第2号被保険者	600	328	54.7%

6 報告書の見方

- (1) 「n」は各設問の回答者数を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は、「n」を基数として算出し、それぞれの割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）の設問であっても、合計値が100%にならない場合があります。
- (3) 一部のグラフにおいて、回答者がいない項目は数値の掲載を省略しています。
- (4) 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答結果の割合の合計値が100%を超えることがあります。
- (5) 紙面の都合上、グラフにおいて選択肢を省略して掲載している場合があります。

7 調査結果の傾向について（要点整理）

①一般高齢者（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）について

1. 介護・介助を必要としない割合が増加。要因に男女差がみられる

- ◆ 介護の必要性（問4）については、「介護・介助は必要ない」の割合が85.2%（R1）⇒90.4%（R4）と増加。後期高齢者でも76.9%（R1）⇒84.6%（R4）と増加している。
- ◆ 一方で、後期高齢者の「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合は依然として1割程度となっている。
- ◆ 介護・介助が必要になった理由（問4-1）については、女性及び後期高齢者において「高齢による衰弱」が3割を超えて多くなっており、男性においては「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」、「視覚・聴覚障がい」がそれぞれ2割を超えて多くなっている。ただし、介護・介助を必要とする割合が低いため、母数が少ないことに留意する必要がある。

2. 身体機能の状況は良好。外出頻度の増加は行動制限緩和も後押しか

- ◆ <手すりや壁をつたわず階段を昇ることができる（問7）>が62.8%（R1）⇒66.2%（R4）、<何もつかまらずに椅子から立てる（問8）>が75.0%（R1）⇒78.7%（R4）、<15分くらい続けて歩ける（問9）>が67.6%（R1）⇒71.1%（R4）といずれも向上している。
- ◆ 1週間の外出の頻度（問12）については、「ほとんど外出しない」が8.2%（R1）⇒4.6%（R4）、反対に「週5回以上」が30.9%（R1）⇒37.1%（R4）と、良好に推移している。一方で、昨年と比較しての外出減少の程度（問13）については、「減っている」が19.6%（R1）⇒23.7%（R4）と増加傾向にある。
- ◆ なお、前回調査時は既に国内で最初の新型コロナウイルス感染者が確認された後だった。今回は行動制限の緩和が進む中での調査であったため、外出の頻度は増加したものと考えられる。

3. 外出手段は「自身の運転」が最多。免許所持率も増加傾向。

- ◆ 外出時の移動手段（問14）については、「自動車（自分で運転）」が72.4%で最も多く、次いで「徒歩」が36.6%、「自動車（人に乗せてもらう）」が24.1%などとなっている。「自動車（自分で運転）」は性別・年齢別にみても最も高く、特に後期高齢者では43.0%（R1）⇒53.8%（R4）と10ポイント以上の増加がみられた。
- ◆ <運転免許の所持率（問15）>は68.4%（R1）⇒78.1%（R4）と増加。男性及び前期高齢者は9割以上が所持しており、後期高齢者でも48.9%（R1）⇒59.0%（R4）と増加傾向にある。

- ◆ 免許を返納した場合の移動手段（問 15-1）については、「自家用車（家族に乗せてもらう）」が 58.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 44.7%、「タクシー」が 21.6%、「路線バス」が 12.4%などとなっている。
前回調査と比較すると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 10 ポイント以上増加しており、反対に「路線バス」は 10 ポイント以上の減少がみられる。

4. 適正体重の割合は変化なし。歯科口腔の健康状態は良好に推移。

- ◆ 自身の体型（問 16）については、BMI でみると「標準」が 64.3%、「肥満」が 23.7%、「やせ」が 5.3%となっており、前回調査と比較すると大差は見られない。
また、「肥満」の割合は性別・年代別のいずれも 2 割超となっており、こちらも大差は見られない。
- ◆ オーラルフレイルの判定基準となる質問については、以下のとおり。
＜半年前より固いものが食べにくい（問 17）＞が 27.6%（R 1）⇒25.0%（R 4）、＜お茶や汁物でむせる（問 18）＞が 27.3%（R 1）⇒25.7%（R 4）、＜口の渇きが気になる（問 19）＞が 29.3%（R 1）⇒24.6%（R 4）といずれも減少傾向で良好に推移している。

5. 地域活動は感染症の影響大。スポーツを中心に徐々に回復傾向か。

- ◆ 地域活動の参加状況は、＜ボランティアのグループ（問 40-1）＞、＜趣味（問 40-3）＞、＜教養サークル（問 40-4）＞、＜老人クラブ（問 40-6）＞が前回調査から減少した。
- ◆ また、＜スポーツ（問 40-2）＞の参加状況においては、32.3%（R 1）⇒33.6%（R 4）と微増した。
- ◆ なお、前回調査時と大差はないが、＜介護予防のための通いの場（問 40-5）＞への参加状況は頻度にばらつきがあるものの、合計で 1 割程度となっており、今後の情勢に応じて再開に向けた準備が求められる。

6. 飲酒・喫煙の状況は変化なし。持病については変わらず高血圧が課題。

- ◆ 飲酒の状況（問 53）については、「ほぼ毎日飲む」が 18.9%（R 1）⇒20.4%（R 4）、喫煙の状況（問 54）については、『吸っていない・やめた』が 91.6%（R 1）⇒90.6%（R 4）と大差は見られない。
- ◆ 治療中・後遺症のある病気（問 55）については、「高血圧」が 45.6%で最も多く、次いで「糖尿病」が 13.8%、「目の病気」が 12.7%などとなっている。
前回調査と比較すると、「糖尿病」以下で順位の入れ替わりはあるものの、数値的には大差は見られない。

7. 町の「移動支援事業」の認知度は半数程度。反面、利用登録が普及せず。

- ◆ 町が実施する「移動支援事業」の認知度（問 58）は 49.1% となっている。一方で利用状況（問 58-1）については「利用している」が 7.6%、「登録しているが、利用していない」が 6.7%、「未登録」が 78.1% となっている。
- ◆ 利用者・登録者にとって不便な点（問 58-1-1）は「利用できる地域や回数に限りがある」が 28.1% で最も多く、未登録者の登録しない理由（問 58-1-2）は「利用対象の条件にあてはまらなかったから」が 36.0% で最も多くなっている。

8. 認知症の相談窓口の認知度が増加。ただしサービス含め引き続き周知が必要。

- ◆ 地域包括支援センターの認知度（問 60）は「知っている」が 20.4%（R1）⇒21.3%（R4）、「存在を知らない」が 32.9%（R1）⇒36.0%（R4）となっている。
- ◆ <認知症に関する相談窓口の認知度（問 63）>は 15.6%（R1）⇒22.6%（R4）と増加傾向にある。
- ◆ 認知症のある人を支援するサービスの認知度（問 64）については、「認知症予防教室」が 18.9% で最も多くなっているが、性別・年齢別にかかわらず 6 割程度が「知っているものはない」と回答している。

9. 成年後見制度の内容の認知度は 3 割未満。利用意向にかかわらず家族頼みの傾向。

- ◆ 成年後見制度の認知度（問 65）は「詳しく知っている」が 2.2%、「概要を知っている」が 23.9%、「名前は聞いたことがある」が 37.7%、「知らない」が 29.6% となっている。
- ◆ 将来の利用意向（問 66）については「利用したい」が 19.7%、「利用したくない」が 25.4% となっており、半数近くが「わからない」と回答している。
- ◆ 利用意向者の後見人希望（問 66-1）は「親族」が 84.4% で最も多く、次いで「弁護士や司法書士などの専門家」が 11.1% などとなっている。
なお、利用しない人の理由（問 66-3）においても「家族に任せるので必要ないから」が 83.6% で最も多くなっており、親族を後見人に定めるメリット等、正しい理解の普及を通じて制度利用につながる可能性がある。

10 今後の保険料については最低限の増加を容認。特養の必要性も浸透。

- ◆ 介護保険料の増額について（問 68）は「介護保険サービスは利用者数の増加分に抑え、介護保険料は最低限の増加に留めてほしい」が 41.9% で最も多くなっている。

- ◆ 保険料増額による特別養護老人ホーム等の施設の必要性(問 69)は「必要だと思う」が 59.6%、「必要ないと思う」が 20.4%となっている。

②在宅介護実態調査について

1. 単身世帯が増加。要介護度は横ばいに推移。

- ◆ 対象者の生活環境について、世帯状況(問 3)は「単身世帯」が 16.7% (R 1) ⇒ 26.0% (R 4) と増加傾向にある。また「その他」が 49.0%となっているが、大多数が子ども夫婦、孫との同居による多世代家族となっている。
- ◆ また、要介護度(問 4)は「要支援」が 33.4%、「要介護 1・2」が 31.3%、「要介護 3～5」が 20.9%となっており、前回調査と比較すると大差は見られない。
- ◆ 施設等への入所の検討状況(問 5)については、「入所・入居は検討していない」が 56.9% (R 1) ⇒ 63.5% (R 4)、「入所・入居を検討している」が 22.2% (R 1) ⇒ 21.9% (R 4)、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 13.9% (R 1) ⇒ 11.5% (R 4)となっている。

2. 介護保険サービスの利用は一部で減少傾向。配食サービスの利用は増加

- ◆ サービスの利用状況(問 7-1)をみると、<訪問看護>、<通所リハビリテーション>では「利用していない」が 10 ポイント以上増加しているが、その他のサービスも概ね利用率は減少傾向にある。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症によるサービスの利用状況変化(問 7-7)については、「増えた」が 3.0%、「減った」が 18.2%、「特に変わらない」が 66.7%となっている。
- ◆ 介護保険サービス以外の支援(問 8)についても「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 21.9%で最も多い等、全体の傾向はほとんど変わらないが、「配食」が 5.6% (R 1) ⇒ 16.7% (R 4) と増加している。

3. 「外出支援サービス」の認知度は6割超

- ◆ 高齢者・障害者等を対象とする外出支援サービスの認知度(問 12)は、「知っている」が 65.6%、「知らない」が 32.3%となっている。

(※外出時に困ること・支援してもらいたいこと、利用して良かったことは記述回答のため、追って報告する)

4. 今後の保険料については最低限の増加を容認。一般高齢者と同様の傾向。

- ◆ 介護保険料の増額について（問 15）は「介護保険サービスは利用者数の増加分に抑え、介護保険料は最低限の増加に留めてほしい」が 44.8%で最も多くなっている。
- ◆ 保険料増額による特別養護老人ホーム等の施設の必要性（問 16）は「必要だと思う」が 65.6%、「必要ないと思う」が 18.8%となっている。

5. 家族・親族からの介護は減少傾向。一方、一部では介護を理由とする離職者も増加。

- ◆ 家族から受ける介護の頻度（問 21）については、「ほぼ毎日ある」が 40.3%（R 1）⇒38.5%（R 4）と横ばいに推移しているが、一方で「家族・親族の介護はない」が 16.7%（R 1）⇒27.1%（R 4）と増加傾向にある。
- ◆ 介護を理由とする離職状況（問 22）については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 59.6%（R 1）⇒58.9%（R 4）となっているが、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 6.4%（R 1）⇒14.3%（R 4）と増加傾向にある。

6. 介護者の排泄ケアに対する不安が低下。外出の付き添い等の不安が増加。

- ◆ 主な介護者が不安を感じる介護（問 27）については、「外出の付き添い、送迎等」が 35.7%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が 33.9%、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 28.6%などとなっている。
- ◆ 前回調査と比較すると、「食事の準備（調理等）」が 42.6%（R 1）⇒33.9%（R 4）など、全体的に回答率が低下しているほか、「日中の排泄」が 38.3%（R 1）⇒21.4%（R 4）、「夜間の排泄」が 38.3%（R 1）⇒25.0%（R 4）と上位の項目も大きく変化している。

③福祉・介護に関するアンケート調査（2号被保険者対象）について

1. 健康のため健診・特定健診を受ける人の割合が増加。コロナ禍では食生活の意識も変化。

- ◆ 健康のために心がけていること（問 8）については、「町や会社で実施されている特定健診やがん検診を定期的に受けている」が 48.4%（R 1）⇒53.0%（R 4）、「休息や睡眠をとるようにしている」が 33.9%（R 1）⇒38.7%（R 4）、「規則正しい生活を心がけている」が 28.7%（R 1）⇒34.8%（R 4）などとなっている。
- ◆ かかりつけの医師等の普及状況（問 10）については、＜医師＞が 55.0%（R 1）⇒59.8%（R 4）、＜歯科医師＞が 58.8%（R 1）⇒61.3%（R 4）、＜薬局＞が 38.4%（R 1）⇒39.6%（R 4）と推移幅の違いはあるが概ね増加傾向となっている。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症による意識変化（問 12）は『高まった』が 88.1%となっており、具体的内容（問 12-1）として「感染予防対策（マスクの着用、手洗い、うがい、こまめな換気など）に気をつけるようになった」が 100.0%のほか、「食事や栄養バランスに気をつけるようになった」が 48.3%などとなっている。

2. 地域との関わり・参加意向は横ばいに推移。孤立死への関心も変わらず。

- ◆ 近所づきあいの程度（問 16）では「あいさつをする程度である」が 39.1%（R1）⇒39.9%（R4）、高齢者への声かけや訪問などの活動への参加意向（問 18）では「参加したい」が 36.0%（R1）⇒37.2%（R4）と横ばいに推移している。
- ◆ 孤立死に対する考え方も『身近な問題だと思う』が 73.7%（R1）⇒72.9%（R4）とほとんど変化がなかった。

3. 民生委員をはじめ、用語の認知度は横ばい。地域包括支援センターの認知度は向上。

- ◆ 地域の民生委員の認知状況（問 21）は 30.1%（R1）⇒29.9%（R4）となっているほか、高齢者の虐待の認知度（問 22）、認知症の症状の認知度（問 23）も大差は見られなかったが、地域包括支援センターの認知度（問 24）は「役割を知っている」が 15.2%（R1）⇒22.0%（R4）と改善がみられた。

4. 成年後見性の認知度は増加。ただし、利用に関しては消極的な意見が目立つ。

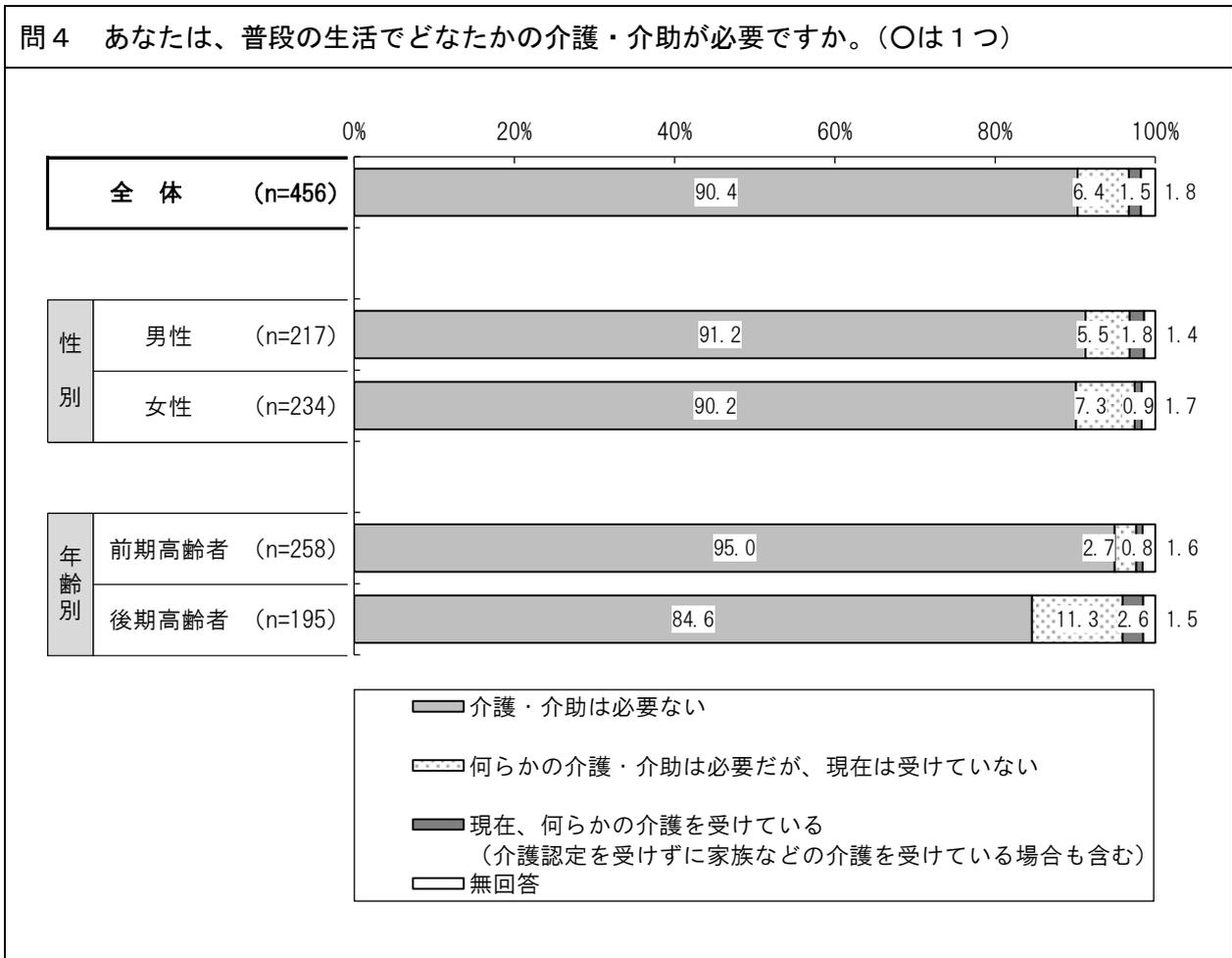
- ◆ 成年後見制度の認知度（問 26）は、『内容を知っている』が 32.5%（R1）⇒37.5%（R4）と増加傾向にある。しかし、利用意向（問 27）では「利用したい」が 32.9%（R1）⇒26.5%（R4）と減少している。
- ◆ 後見人の希望（問 27-1）で「親族」が大多数を占めていること、利用しない人の理由（問 27-3）で「家族に任せるので必要ないから」が最も多いことなど、制度に対する考え方は一般高齢者と大きく変わらなかった。

II 一般高齡者調查結果

1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 介護・介助の必要

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)



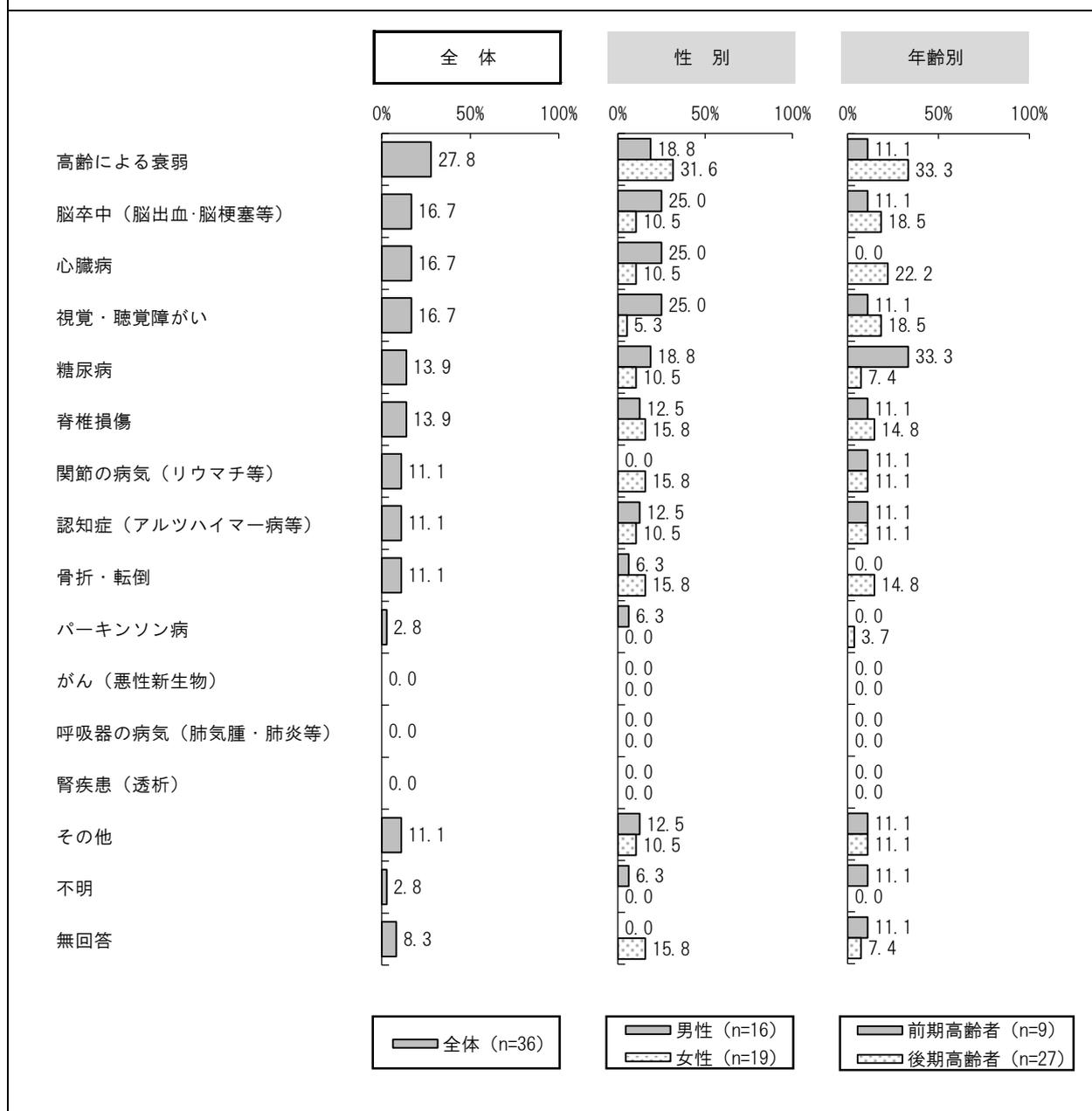
介護・介助の必要においては、「介護・介助は必要ない」が90.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.4%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が1.5%となっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「介護・介助は必要ない」が95.0%と、後期高齢者に比べて10.4ポイント多くなっています。

(2) 介護・介助が必要になった主な原因

問4で、「2」～「3」と回答した方にお聞きします。

問4-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)



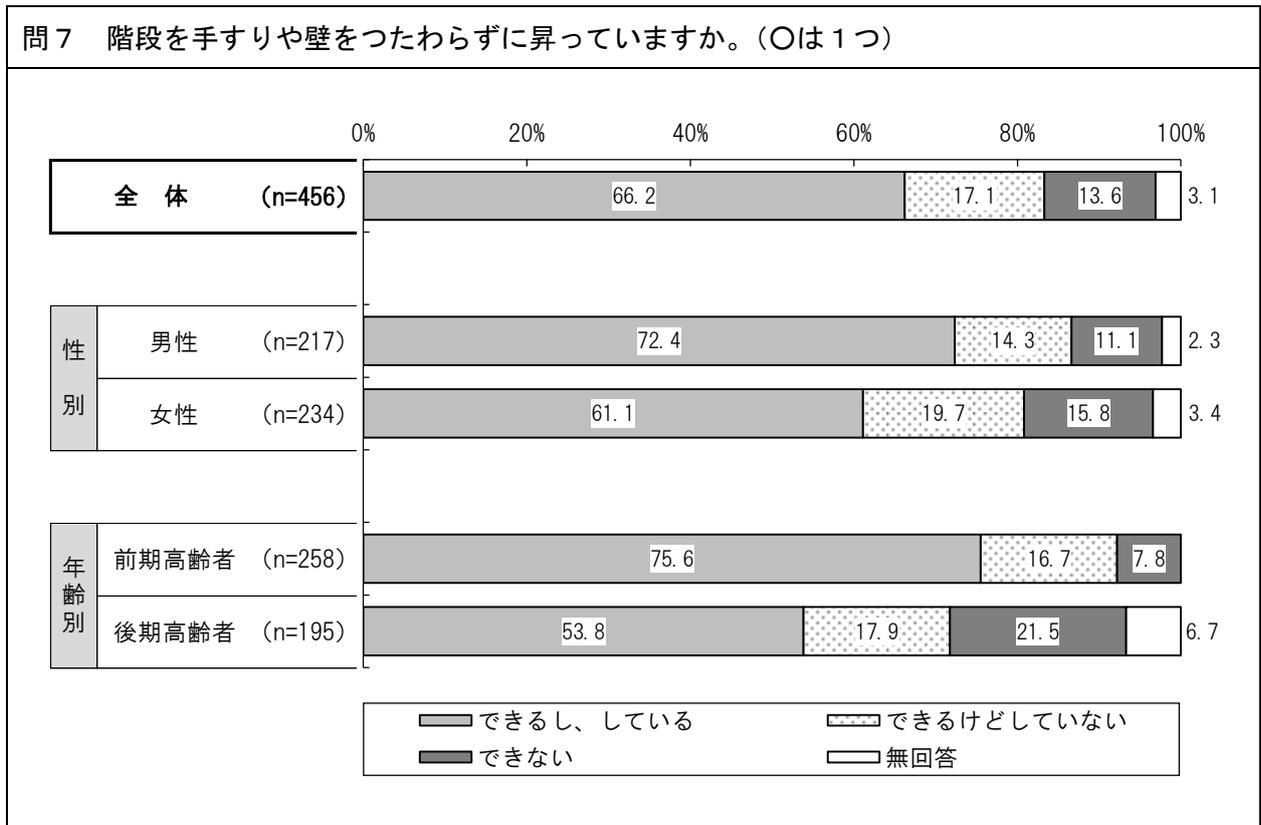
介護・介助が必要になった主な原因においては、「高齢による衰弱」が27.8%と最も多く、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、「心臓病」、「視覚・聴覚障がい」が16.7%、「糖尿病」と「脊椎損傷」が13.9%などとなっています。

性別にみると、男性では「視覚・聴覚障がい」が25.0%と、女性に比べて19.7ポイント多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「糖尿病」が33.3%と、後期高齢者に比べて25.9ポイント多くなっています。

2 からだを動かすことについて

(3) 手すりや壁をつたわず階段を昇ること

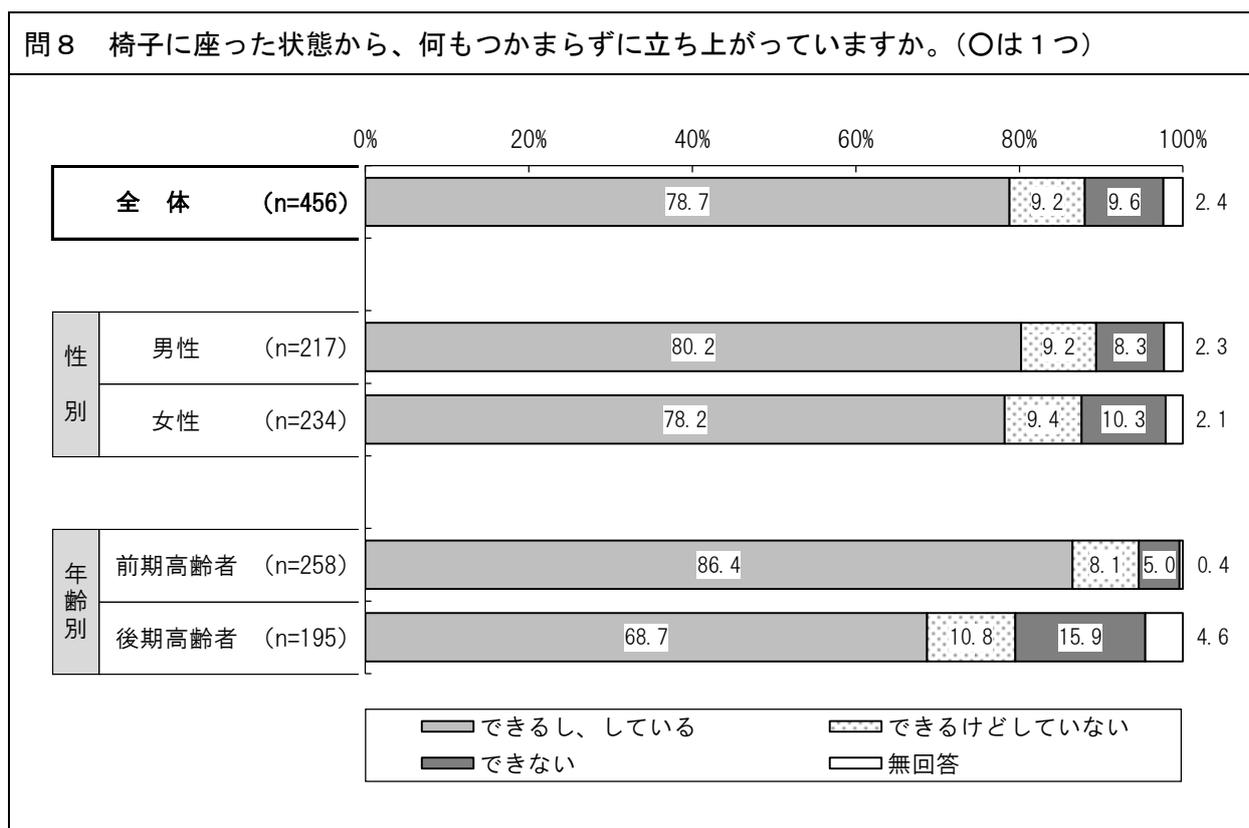


手すりや壁をつたわず階段を昇ることにおいては、「できるし、している」が66.2%、「できるけどしていない」が17.1%、「できない」が13.6%となっています。

性別にみると、男性では「できるし、している」が72.4%と、女性に比べて11.3ポイント多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「できるし、している」が75.6%と、後期高齢者に比べて21.8ポイント多くなっています。

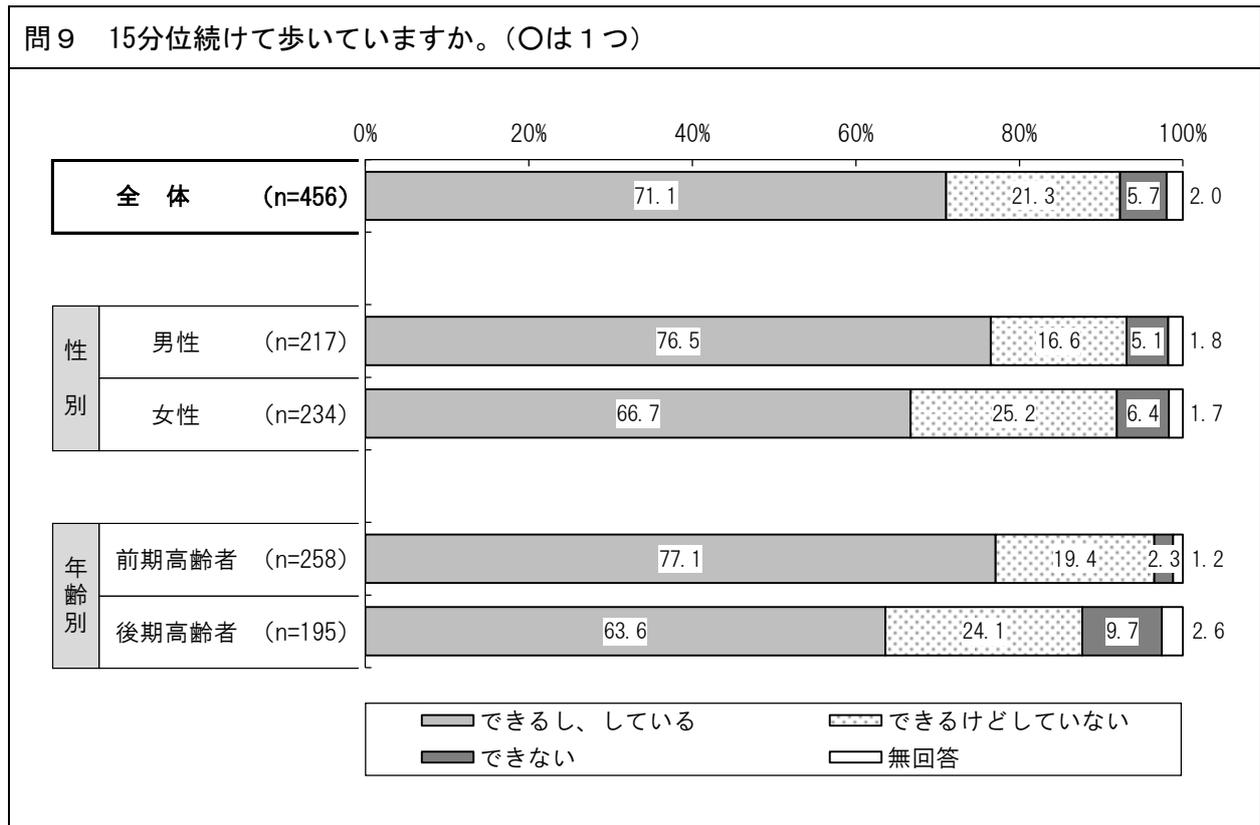
(4) 何もつかまらず椅子から立つこと



何もつかまらず椅子から立つことにおいては、「できるし、している」が78.7%、「できるけどしていない」が9.2%、「できない」が9.6%となっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「できるし、している」が86.4%と、後期高齢者に比べて17.7ポイント多くなっています。

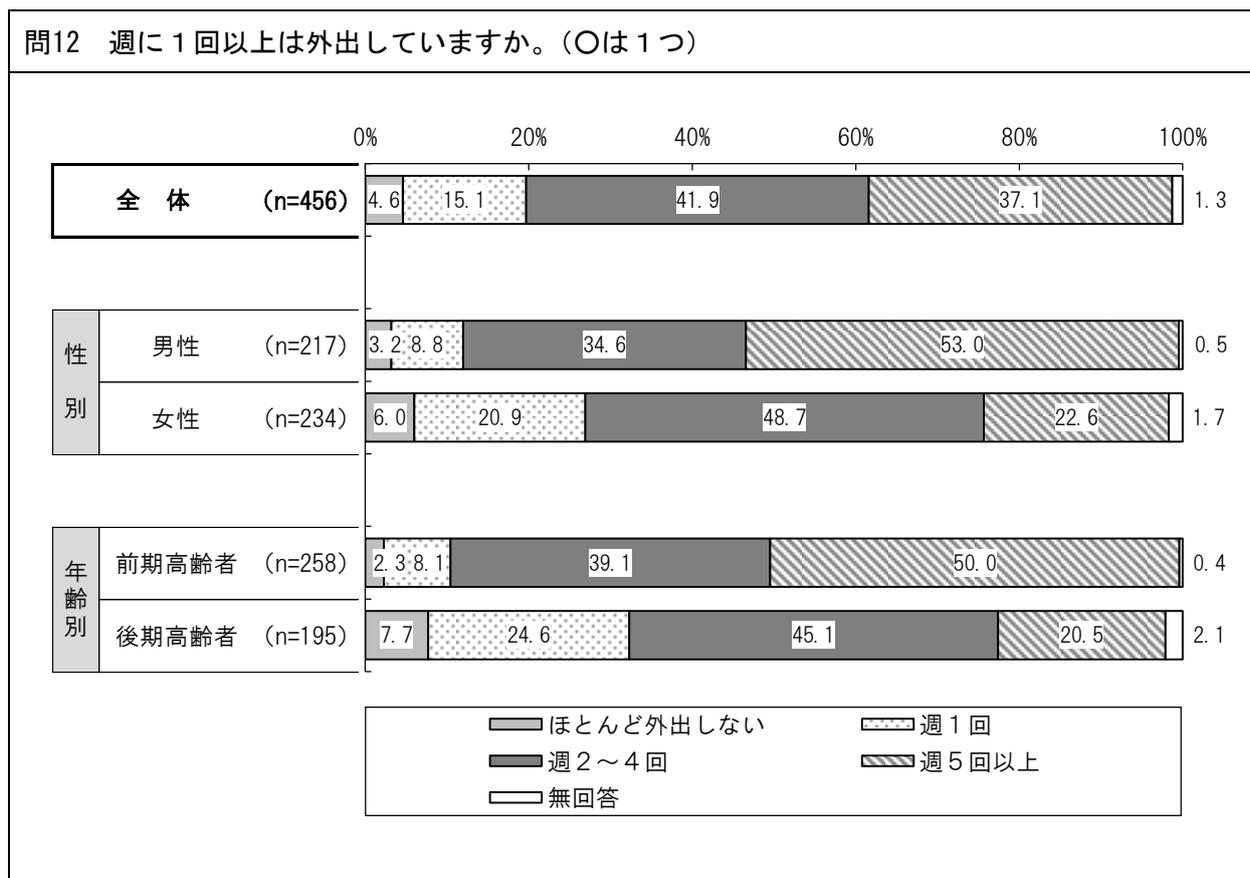
(5) 15分位続けて歩くこと



15分位続けて歩くことにおいては、「できるし、している」が71.1%、「できるけどしていない」が21.3%、「できない」が5.7%となっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「できるし、している」が77.1%と、後期高齢者に比べて13.5ポイント多くなっています。

(6) 外出の程度

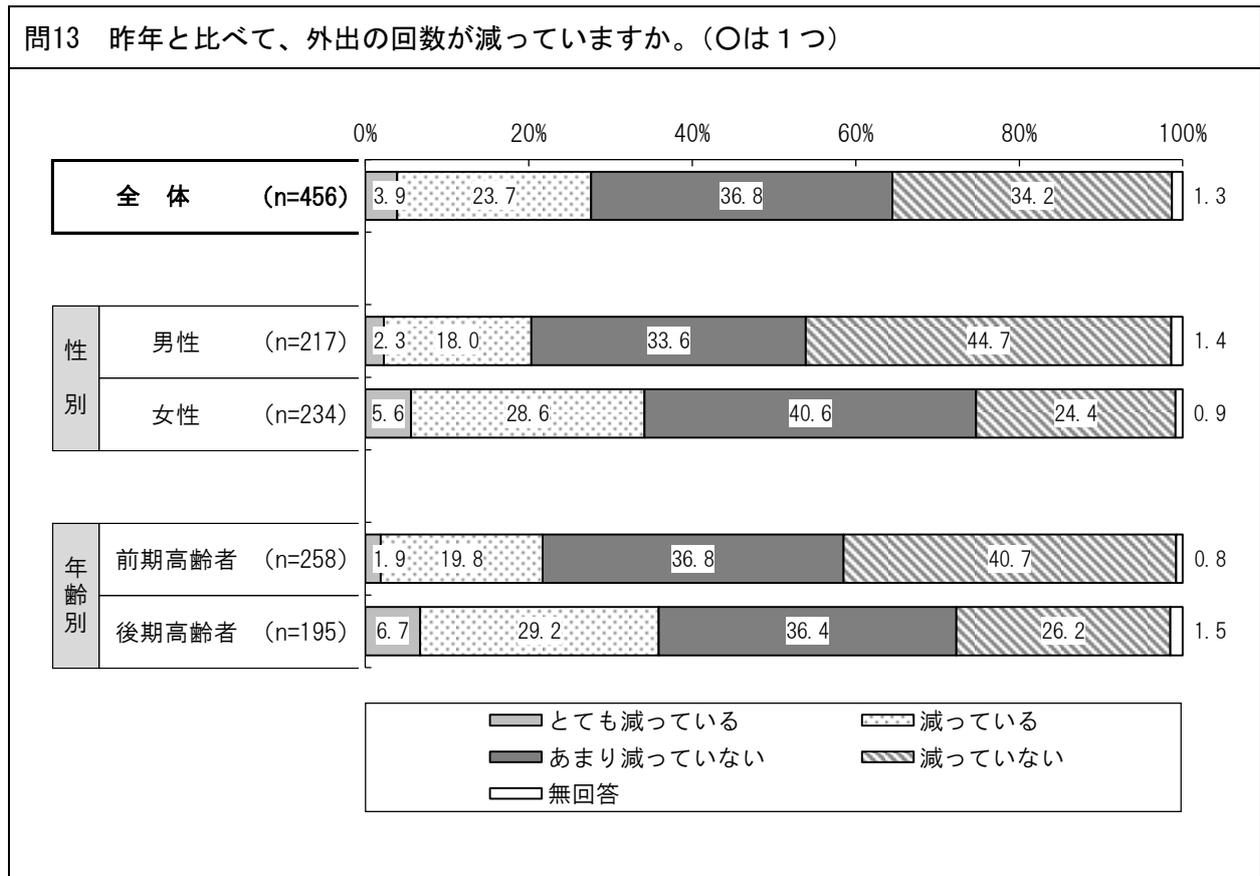


外出の程度においては、「ほとんど外出しない」が4.6%、「週1回」が15.1%、「週2~4回」が41.9%、「週5回以上」が37.1%となっています。

性別にみると、男性では「週5回以上」が53.0%と最も多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「週5回以上」が50.0%と最も多くなっています。

(7) 外出の減少の程度



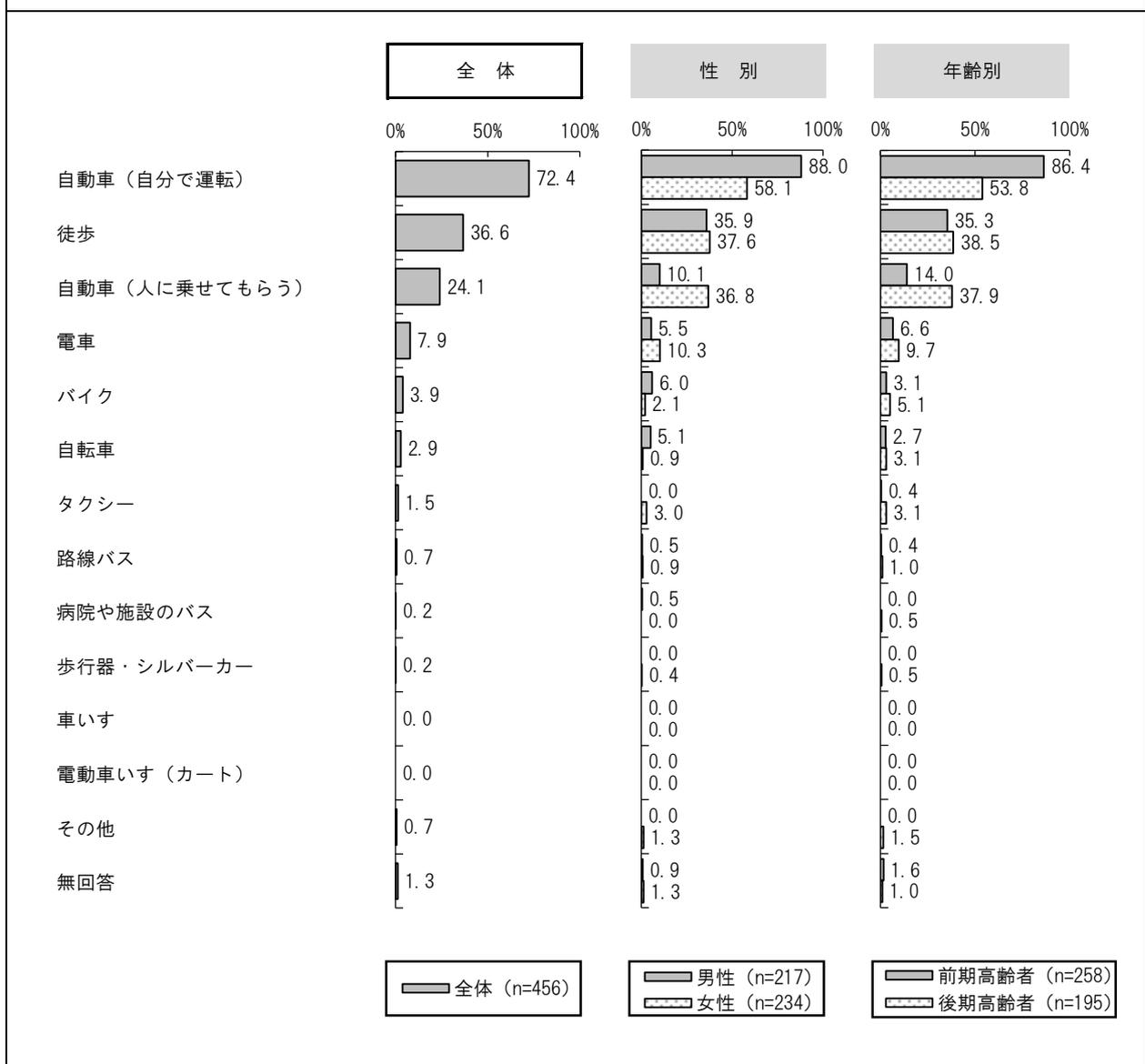
外出の減少の程度においては、「とても減っている」が3.9%、「減っている」が23.7%、「あまり減っていない」が36.8%、「減っていない」が34.2%となっています。

性別にみると、男性では「減っていない」が44.7%と最も多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「減っていない」が40.7%と最も多くなっています。

(8) 外出する際の移動手段

問14 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

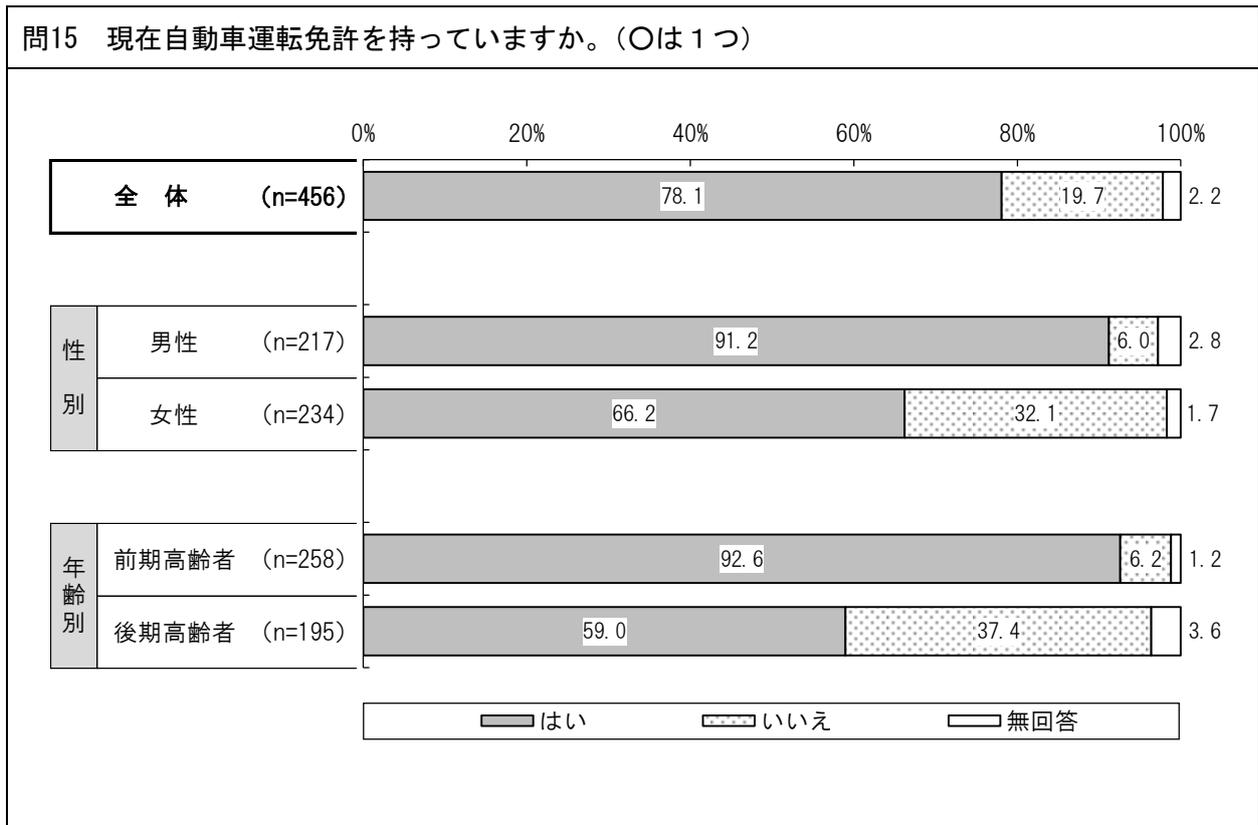


外出する際の移動手段においては、「自動車 (自分で運転)」が72.4%と最も多く、次いで「徒歩」が36.6%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が24.1%などとなっています。

性別にみると、男性では「自動車 (自分で運転)」が88.0%と、女性に比べて29.9ポイント多くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「自動車 (人に乗せてもらう)」が37.9%と、前期高齢者に比べて23.9ポイント多くなっています。

(9) 自動車運転免許の有無



自動車運転免許の有無においては、「はい」が78.1%、「いいえ」が19.7%となっています。

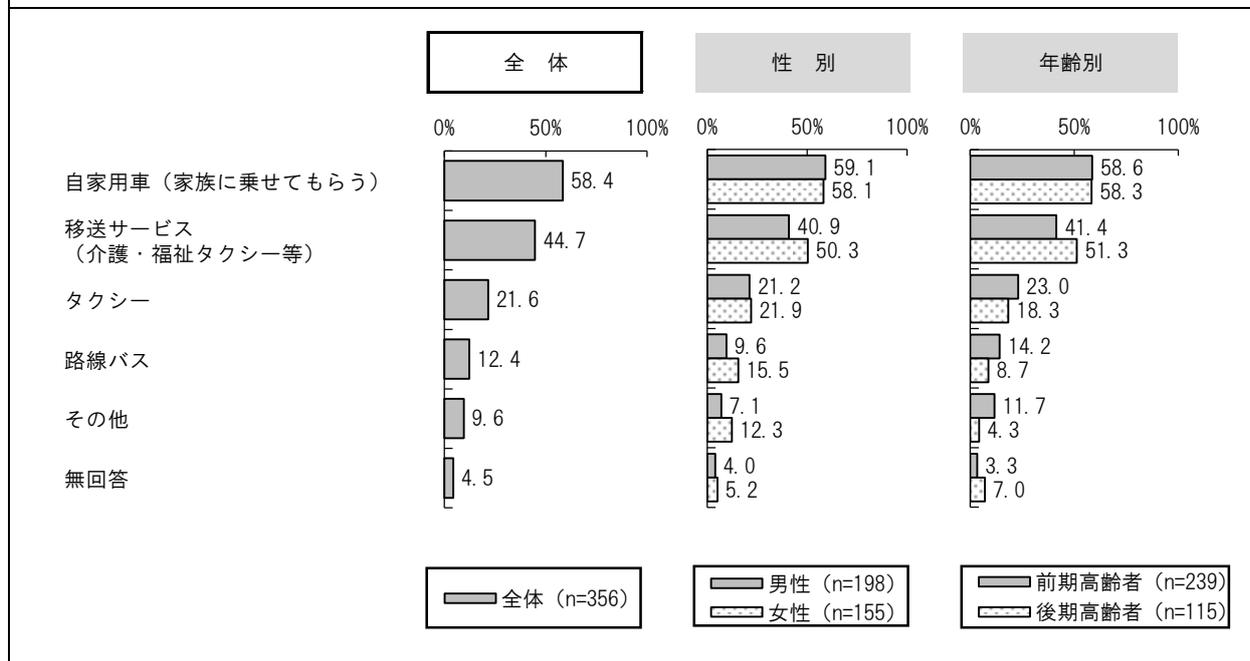
性別にみると、男性では「はい」が91.2%と、女性に比べて25.0ポイント多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「はい」が92.6%と、後期高齢者に比べて33.6ポイント多くなっています。

(10) 免許自主返納後の移動手段への希望

問15で、「1」と回答した方にお聞きします。

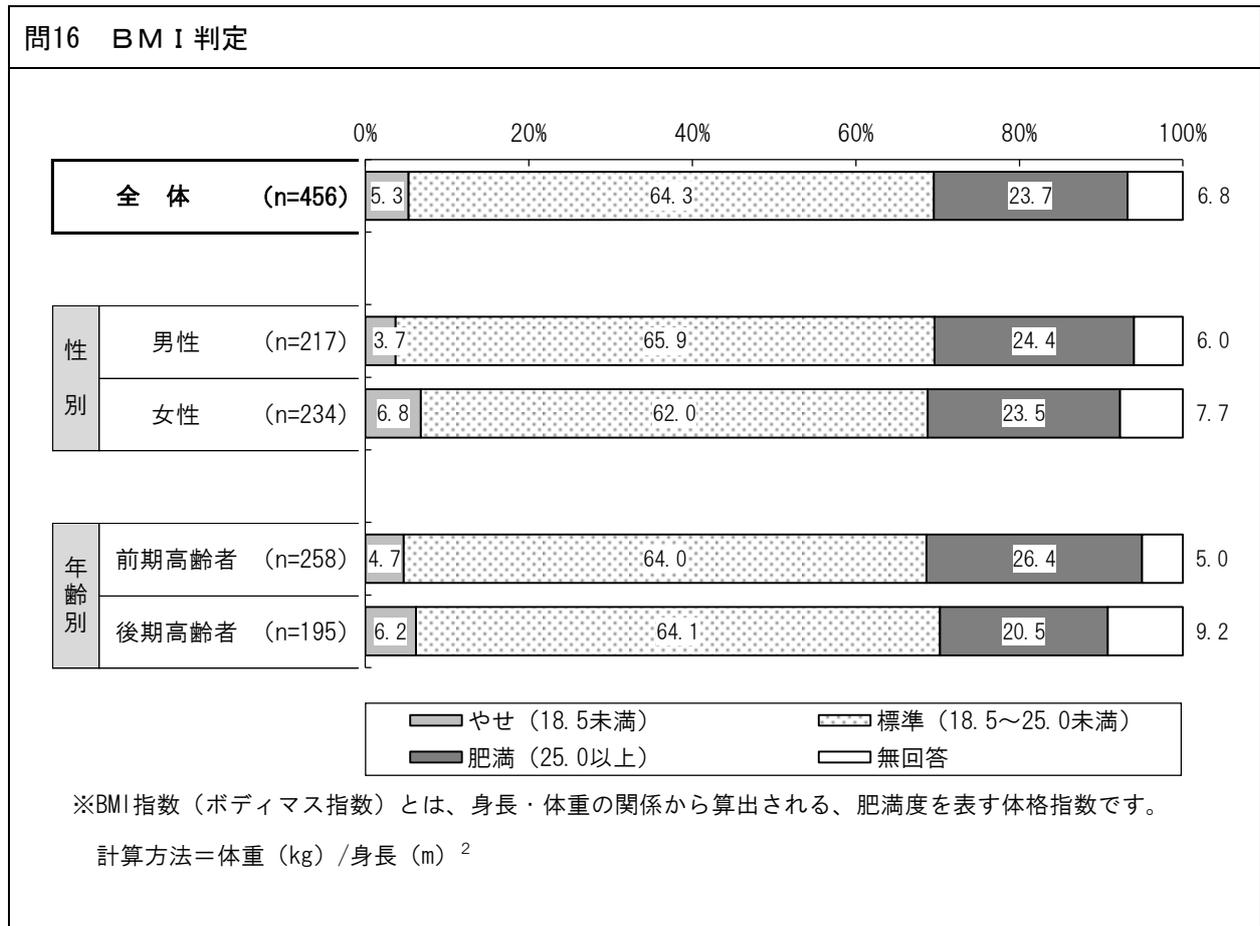
問15-1 今後免許を自主返納された場合に、通院や買い物などで外出する際の移動手段として、あなたが希望するものは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)



免許自主返納後の移動手段への希望においては、「自家用車 (家族に乗せてもらう)」が58.4%と最も多く、次いで「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が44.7%、「タクシー」が21.6%などとなっています。

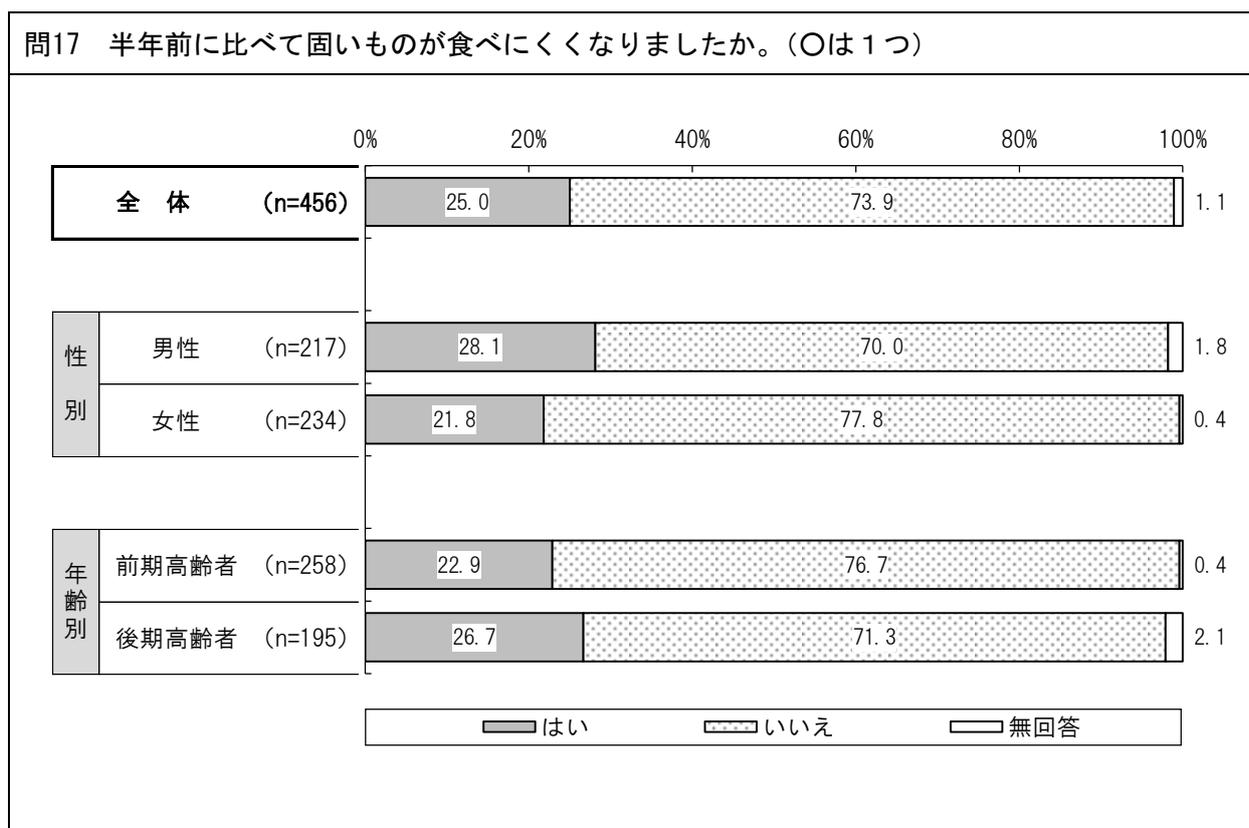
3 食べることについて

(11) 体格指数 (BMI 判定)



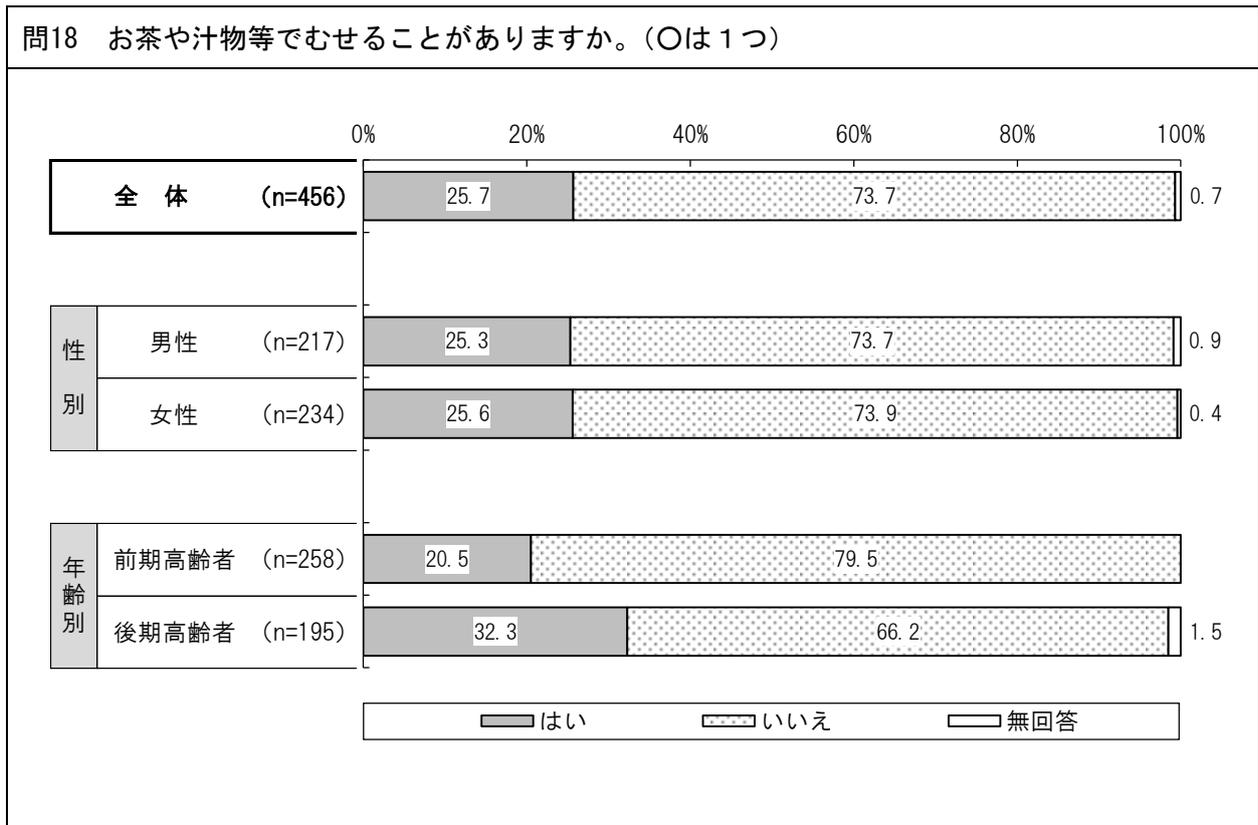
体格指数 (BMI 判定) においては、「やせ (18.5未満)」が5.3%、「標準 (18.5~25.0未満)」が64.3%、「肥満 (25.0以上)」が23.7%となっています。

(12) 半年前と比べて固いものが食べにくくなったかどうか



半年前と比べて固いものが食べにくくなったかどうかにおいては、「はい」が25.0%、「いいえ」が73.9%となっています。

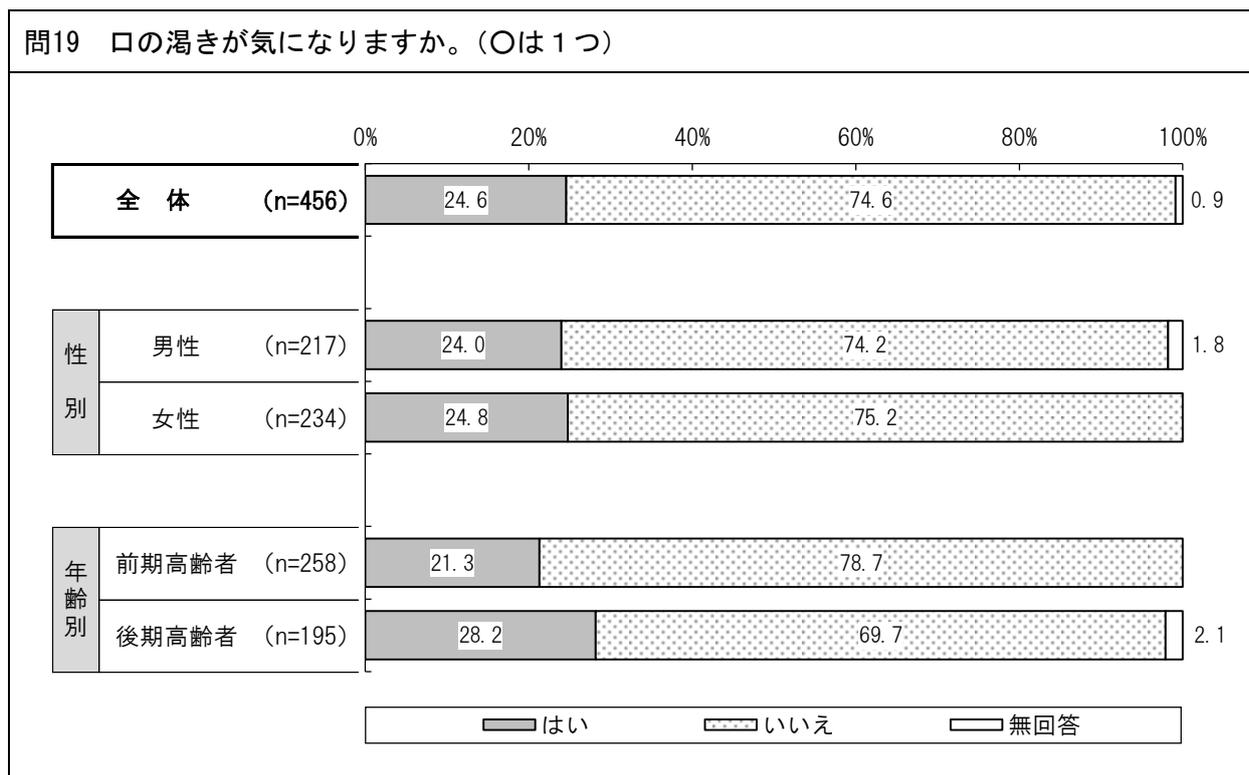
(13) お茶や汁物等でむせることがあるかどうか



お茶や汁物等でむせることがあるかどうかにおいては、「はい」が25.7%、「いいえ」が73.7%となっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「いいえ」が79.5%と、後期高齢者に比べて13.3ポイント多くなっています。

(14) 口の渇きが気になるかどうか



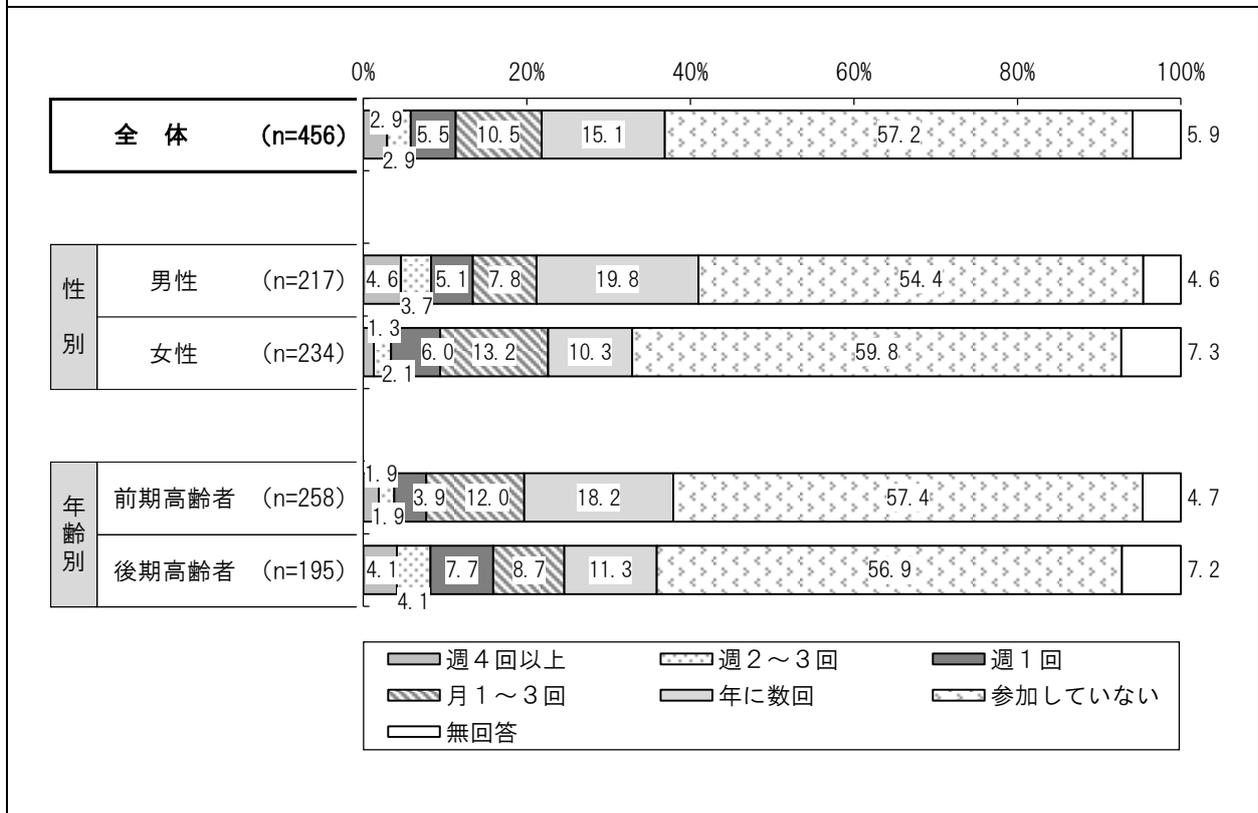
口の渇きが気になるかどうかにおいては、「はい」が24.6%、「いいえ」が74.6%となっています。

4 地域での活動について

(15) ボランティアグループへの参加頻度

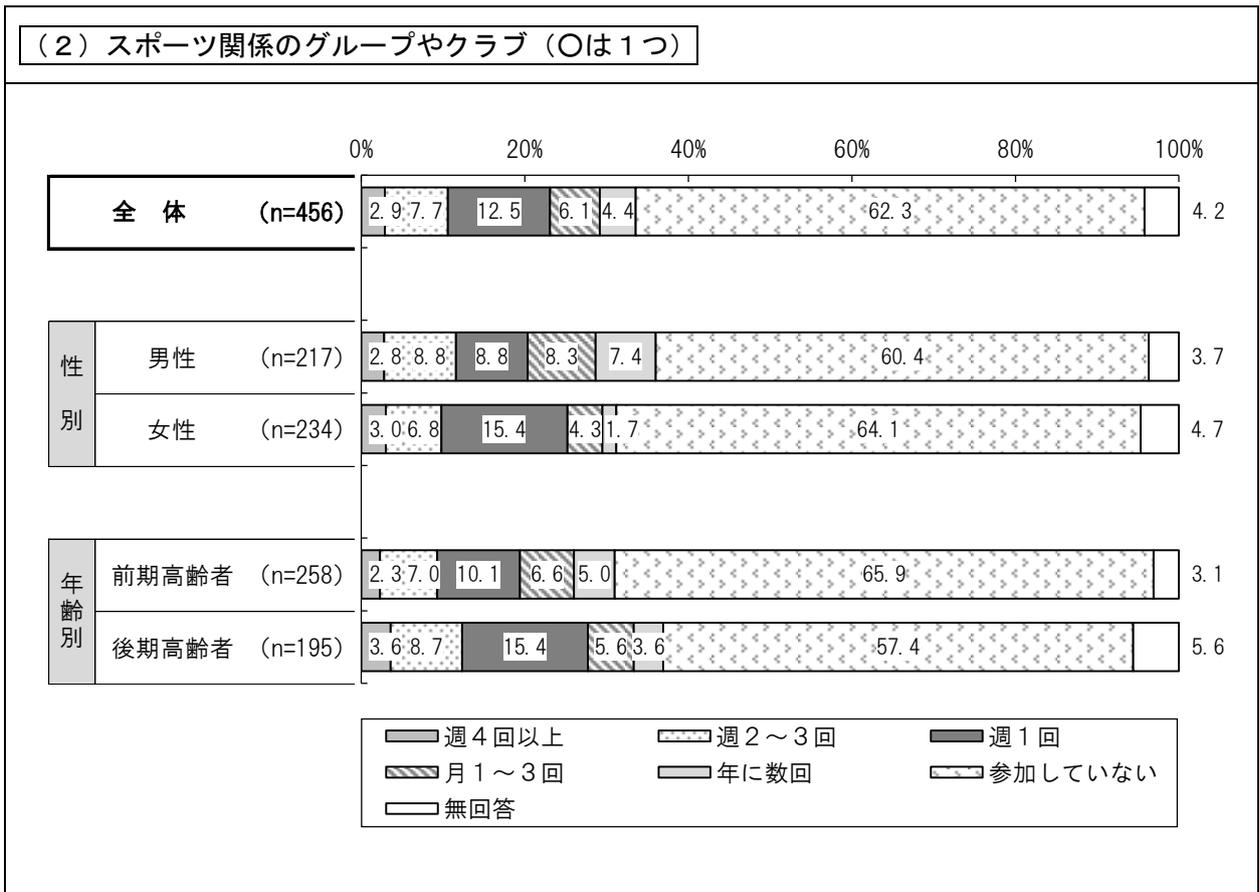
問40 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(1) ボランティアのグループ (〇は1つ)



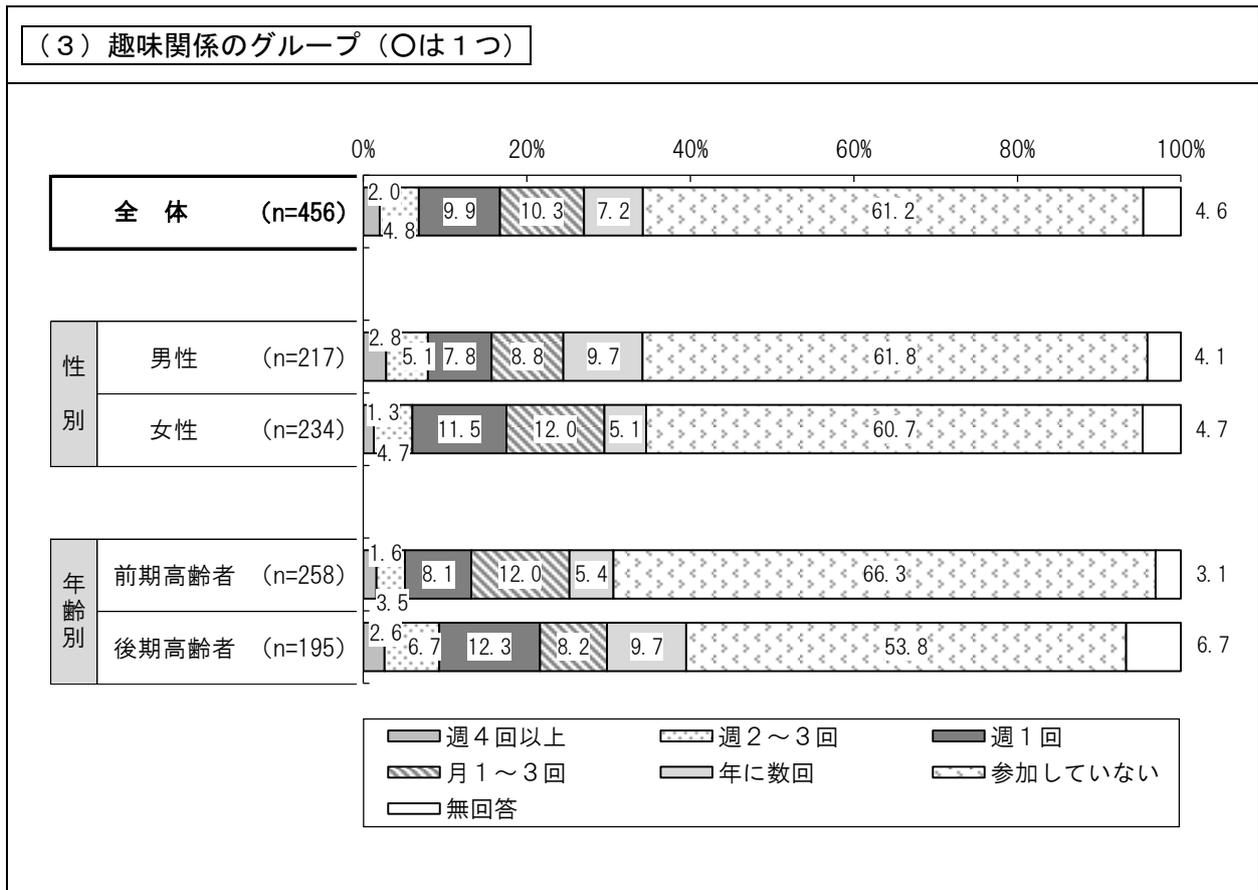
ボランティアグループへの参加頻度においては、「参加していない」が57.2%と最も多く、次いで「年に数回」が15.1%、「月1~3回」が10.5%などとなっています。

(16) スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度



スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度においては、「参加していない」が62.3%と最も多く、次いで「週1回」が12.5%、「週2~3回」が7.7%などとなっています。

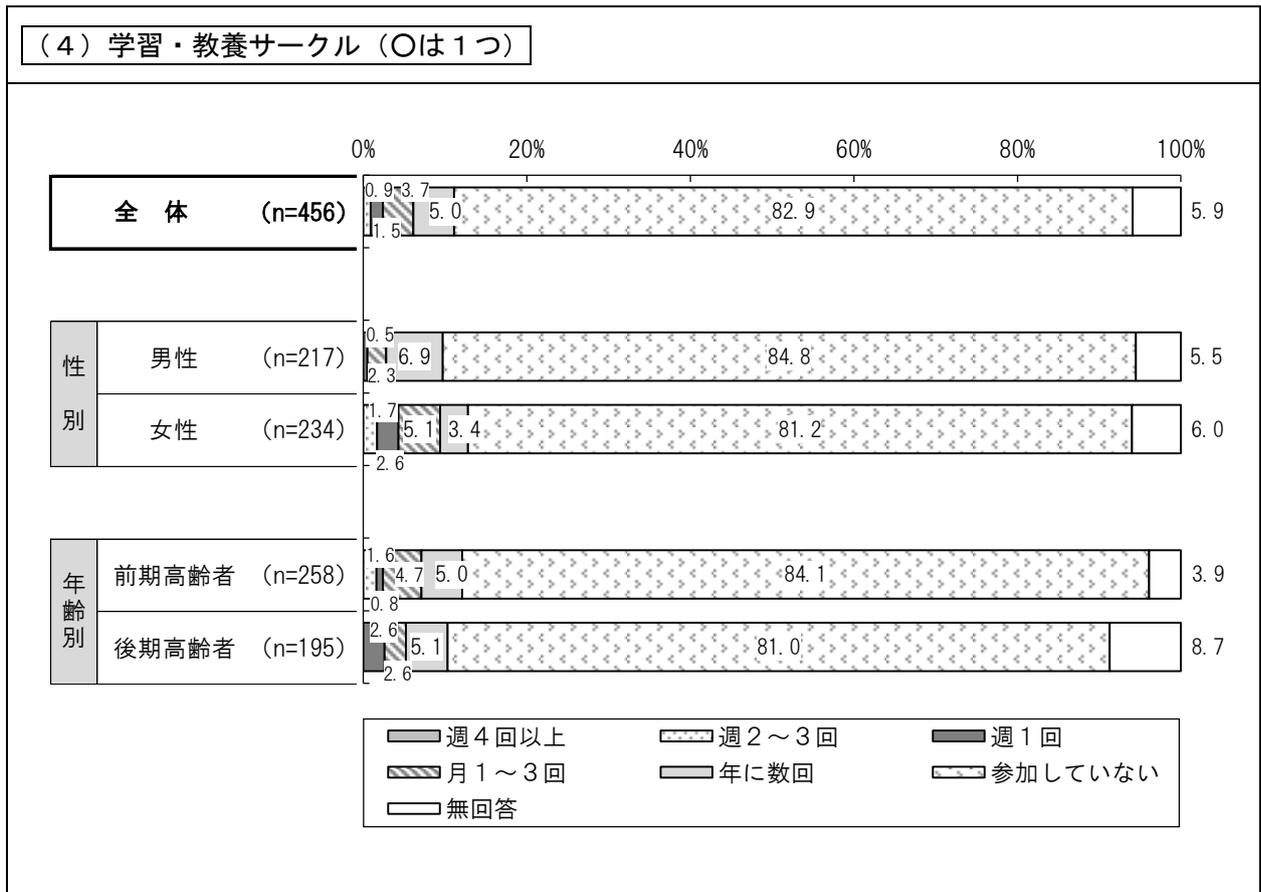
(17) 趣味関係のグループへの参加頻度



趣味関係のグループへの参加頻度においては、「参加していない」が61.2%と最も多く、次いで「月1~3回」が10.3%、「週1回」が9.9%などとなっています。

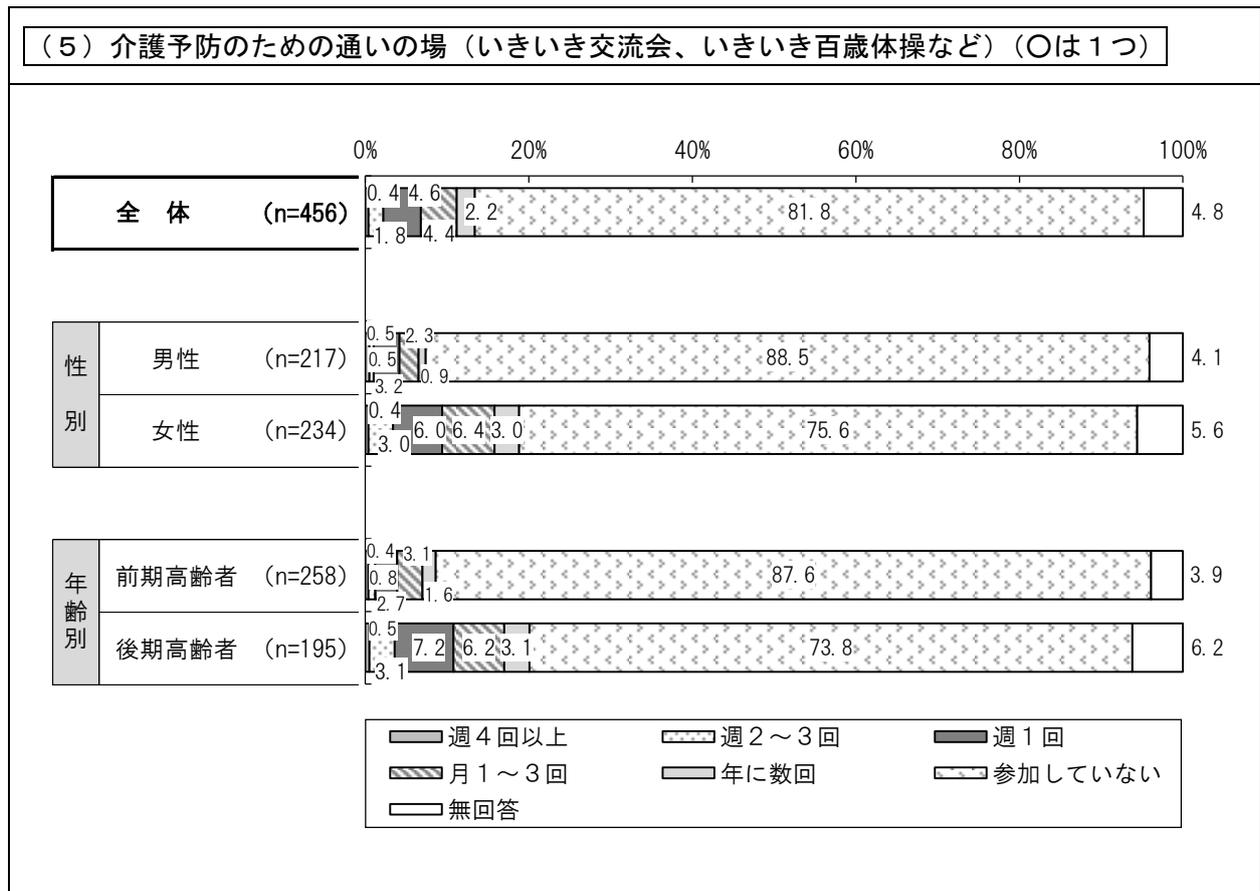
年齢別にみると、前期高齢者では「参加していない」が66.3%と、後期高齢者に比べて12.5ポイント多くなっています。

(18) 学習・教養サークルへの参加頻度



学習・教養サークルへの参加頻度においては、「参加していない」が82.9%と最も多く、次いで「年に数回」が5.0%、「月1~3回」が3.7%などとなっています。

(19) 介護予防のための通いの場（いきいき交流会、いきいき百歳体操など）への参加頻度

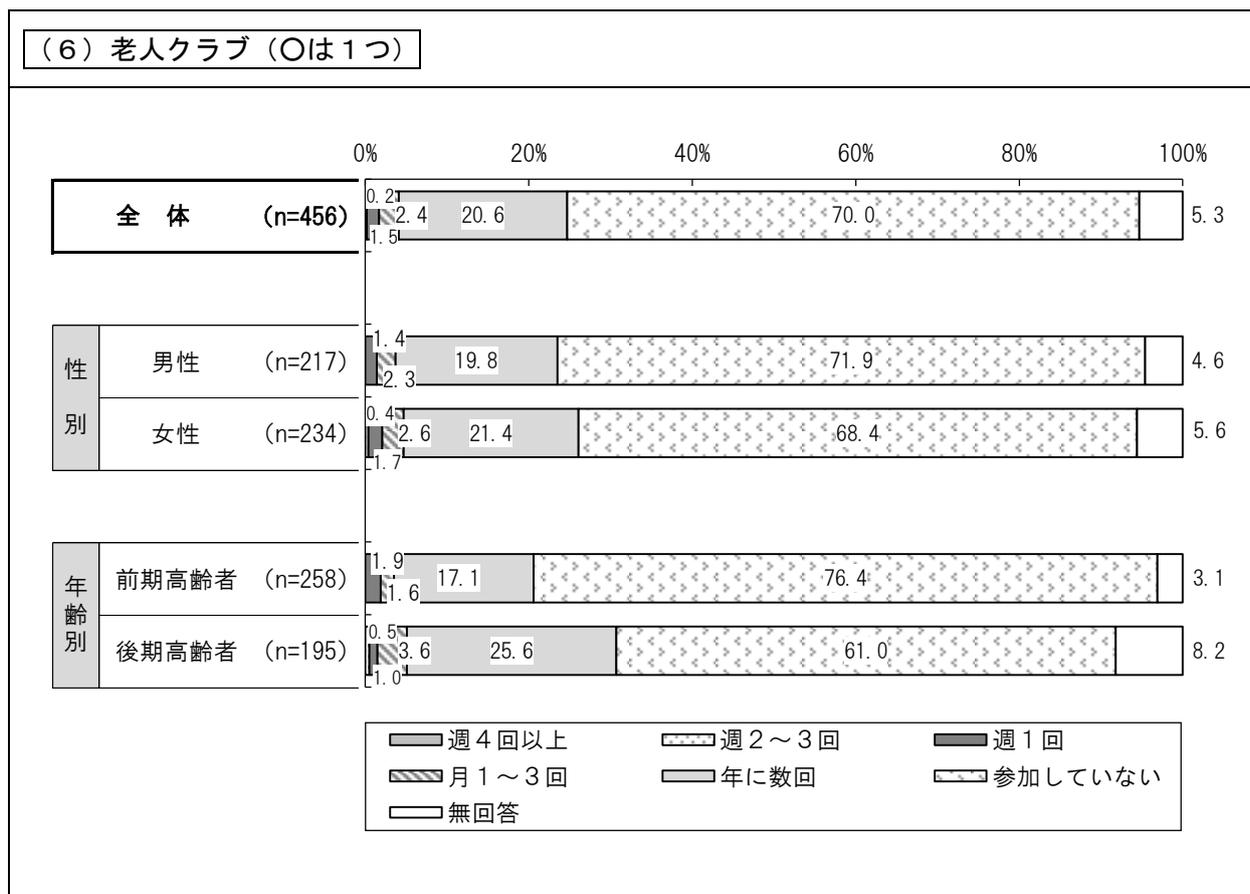


介護予防のための通いの場（いきいき交流会、いきいき百歳体操など）への参加頻度においては、「参加していない」が81.8%と最も多く、次いで「週1回」が4.6%、「月1～3回」が4.4%などとなっています。

性別にみると、男性では「参加していない」が88.5%と、女性に比べて12.9ポイント多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「参加していない」が87.6%と、後期高齢者に比べて13.8ポイント多くなっています。

(20) 老人クラブへの参加頻度

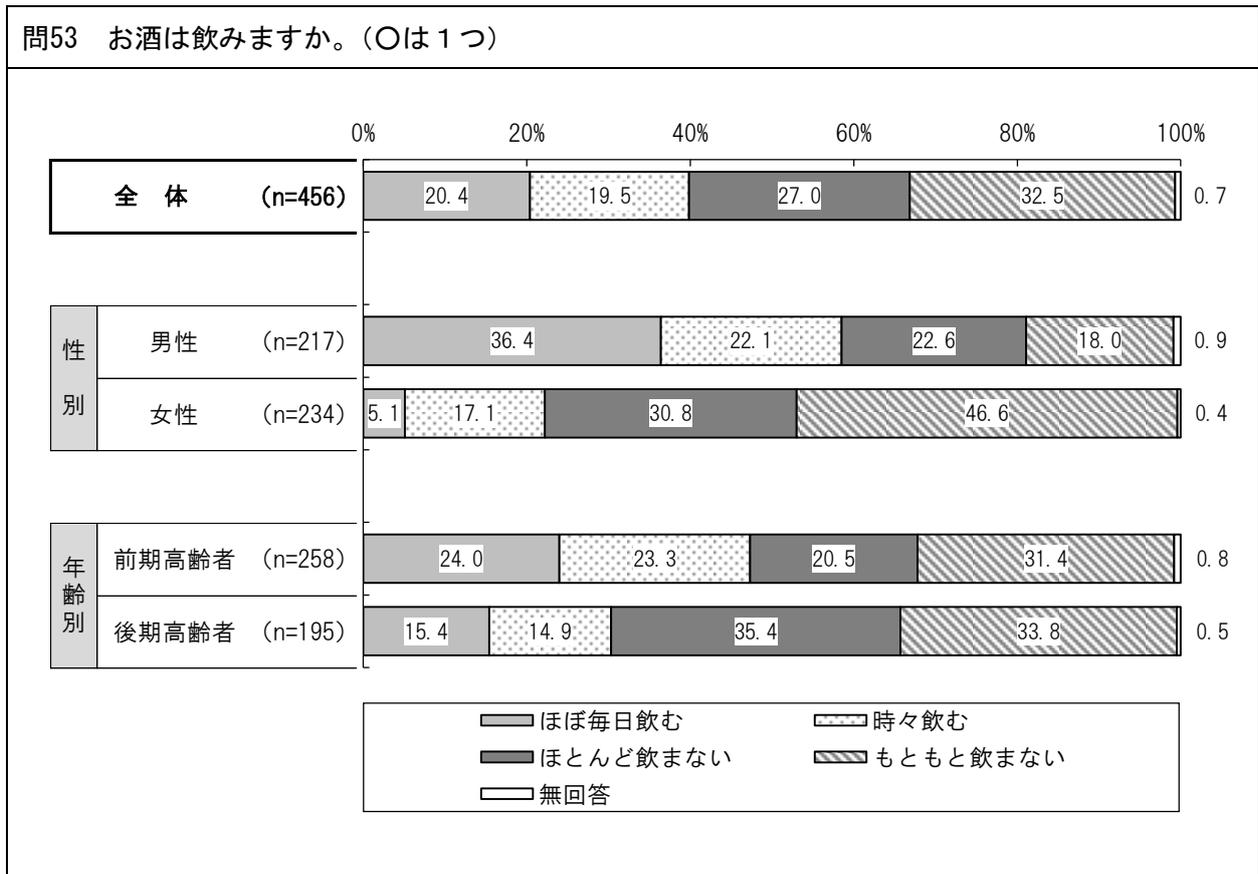


老人クラブへの参加頻度においては、「参加していない」が70.0%と最も多く、次いで「年に数回」が20.6%、「月1~3回」が2.4%などとなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「参加していない」が76.4%と、後期高齢者に比べて15.4ポイント多くなっています。

5 健康について

(21) 飲酒状況

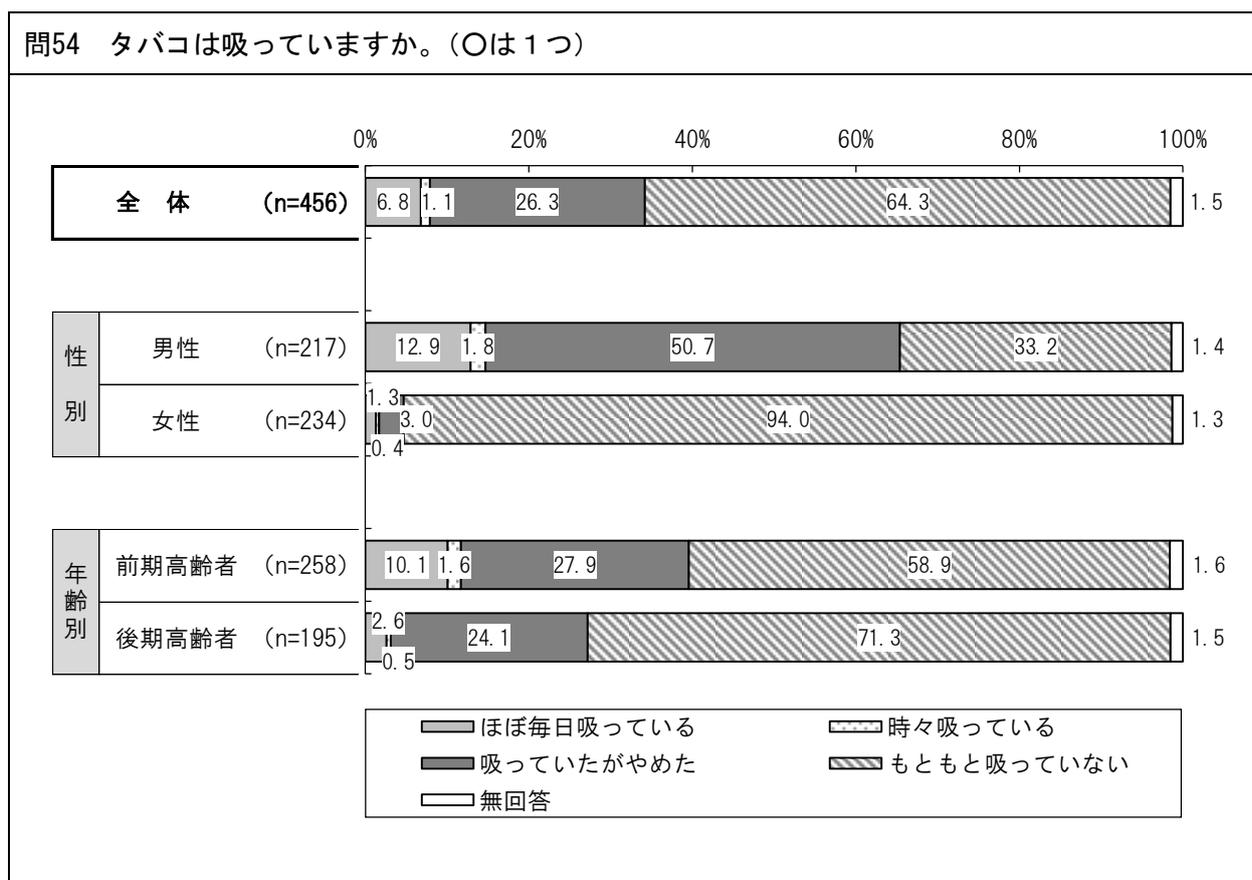


飲酒状況においては、「ほぼ毎日飲む」が20.4%、「時々飲む」が19.5%、「ほとんど飲まない」が27.0%、「もともと飲まない」が32.5%となっています。

性別にみると、男性では「ほぼ毎日飲む」が36.4%と最も多くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「ほとんど飲まない」が35.4%と最も多くなっています。

(22) 喫煙状況



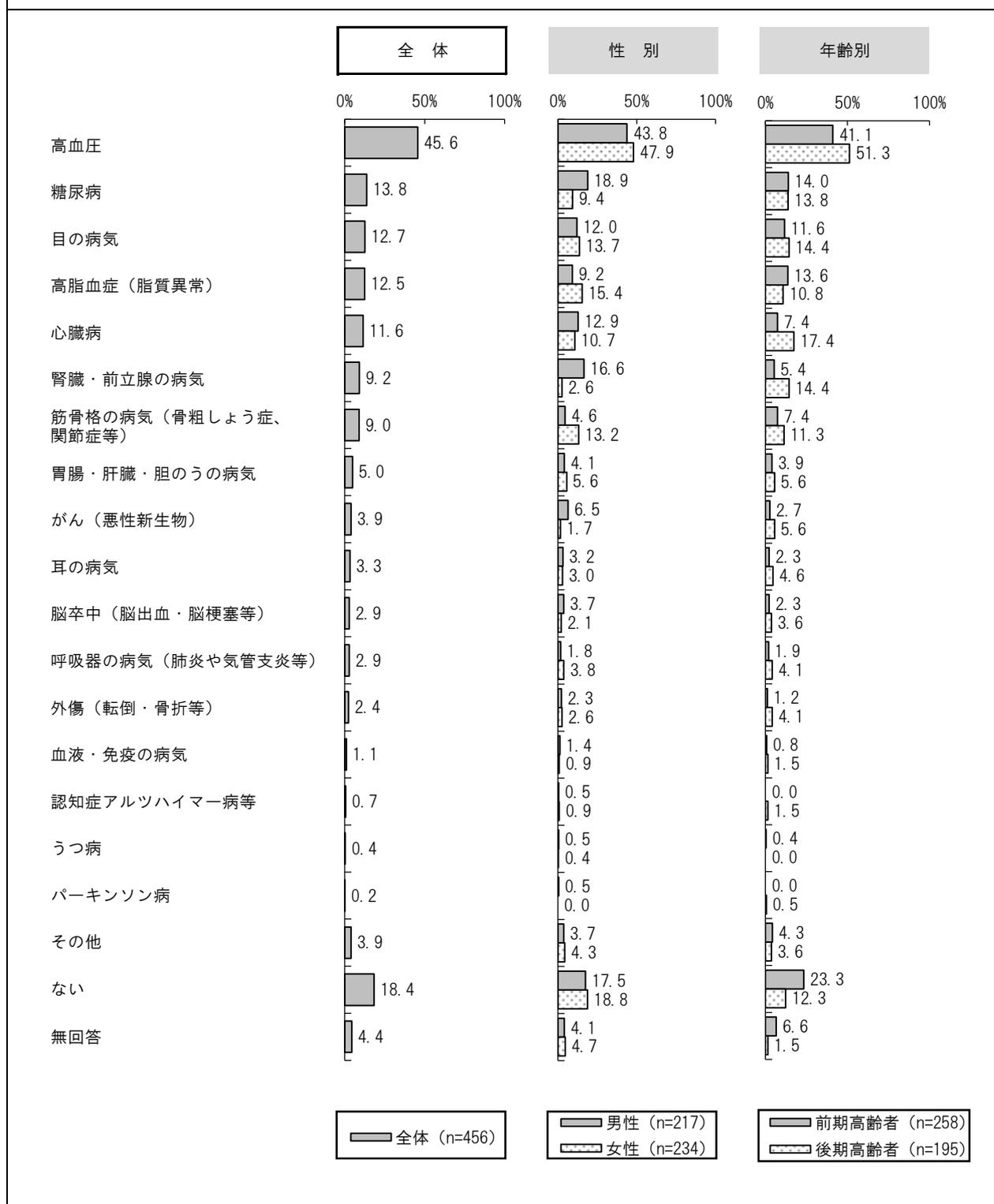
喫煙状況においては、「ほぼ毎日吸っている」が6.8%、「時々吸っている」が1.1%、「吸っていたがやめた」が26.3%、「もともと吸っていない」が64.3%となっています。

性別にみると、男性では「吸っていたがやめた」が50.7%と最も多くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「もともと吸っていない」が71.3%と、前期高齢者に比べて12.4ポイント多くなっています。

(23) 治療中・後遺症のある病気

問55 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

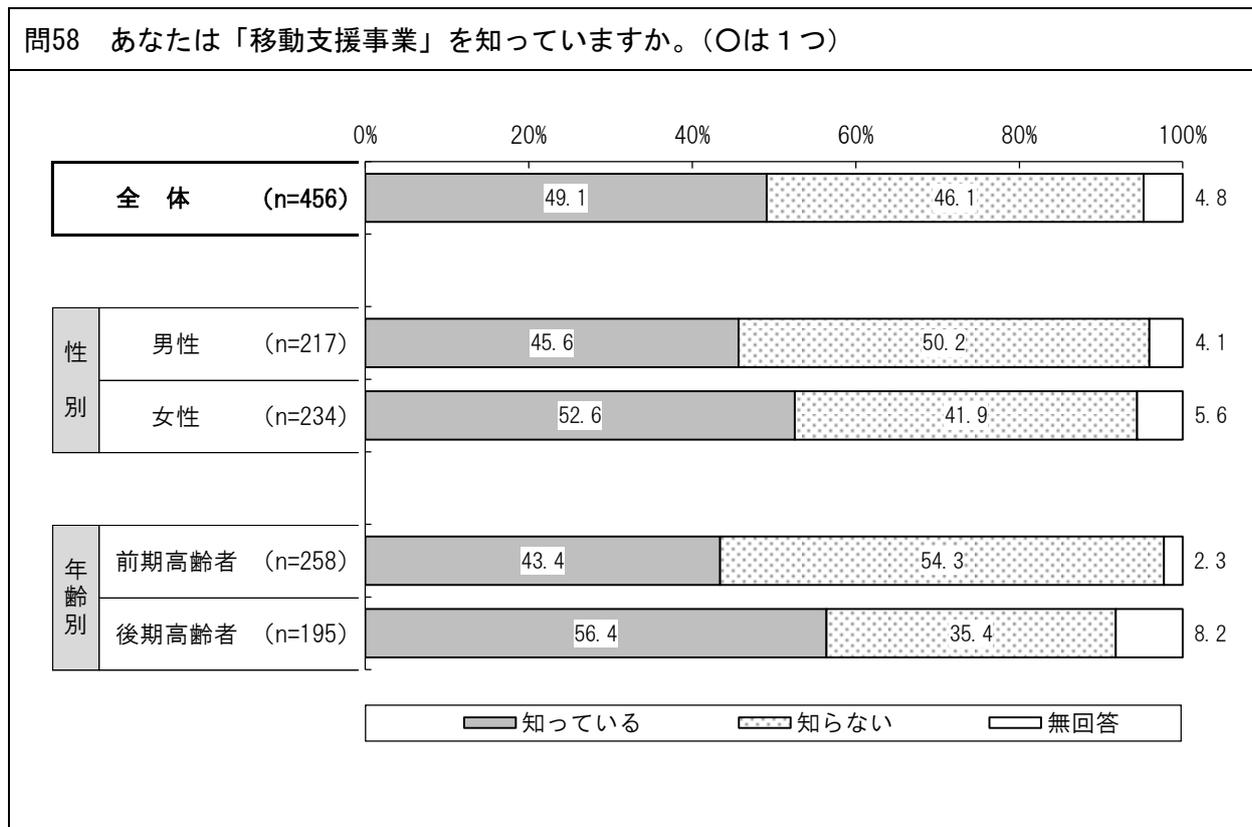


治療中・後遺症のある病気においては、「高血圧」が45.6%と最も多く、次いで「糖尿病」が13.8%、「目の病気」が12.7%などとなっています。また、「ない」が18.4%となっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「高血圧」が51.3%と、前期高齢者に比べて10.2ポイント多くなっています。

6 日常生活全般について

(24) 移動支援事業の認知状況



「移動支援事業」の認知状況においては、「知っている」が49.1%、「知らない」が46.1%となっています。

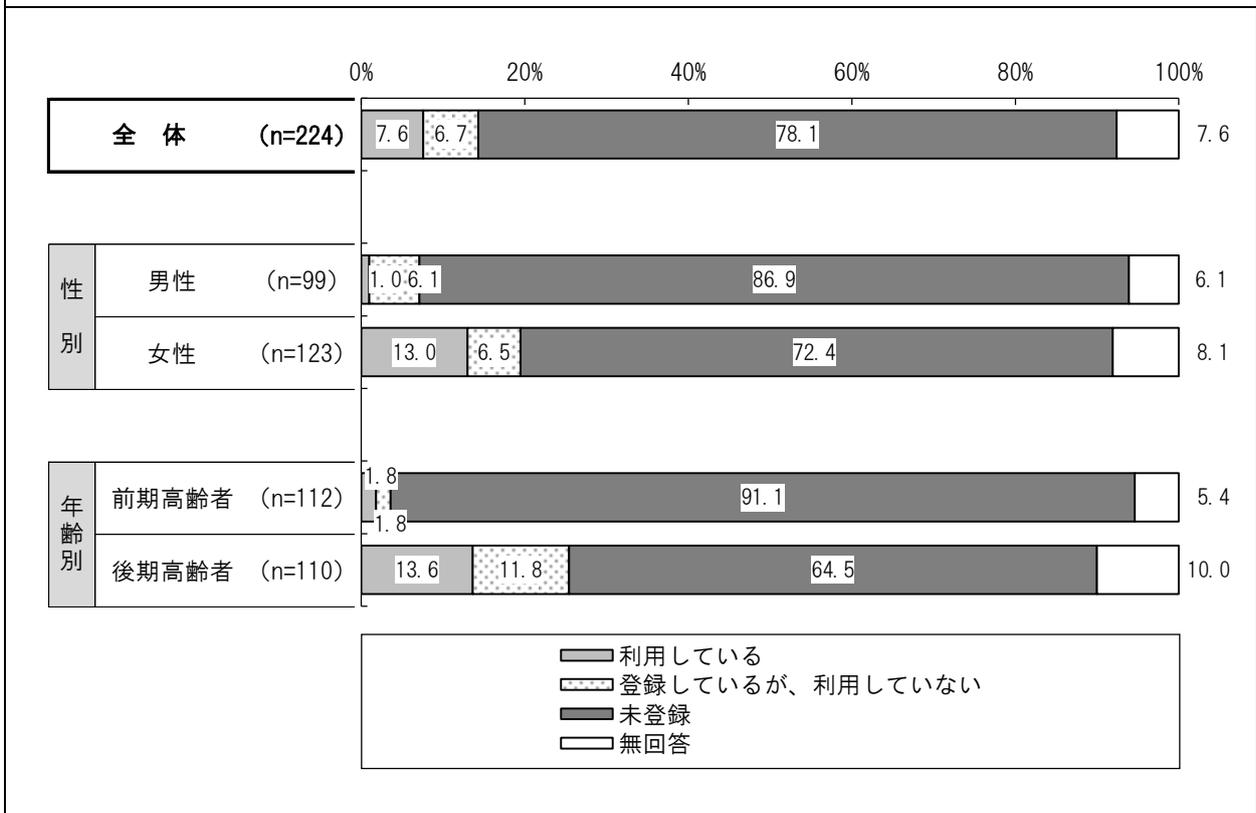
性別にみると、男性では「知らない」が50.2%と、「知らない」のほうが多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「知らない」が54.3%と、「知らない」のほうが多くなっています。

(25) 移動支援事業の利用の有無

問58で、「1」と回答した方にお聞きします。

問58-1 現在、サービスを利用していますか。(○は1つ)



移動支援事業の利用の有無においては、「利用している」が7.6%、「登録しているが、利用していない」が6.7%、「未登録」が78.1%となっています。

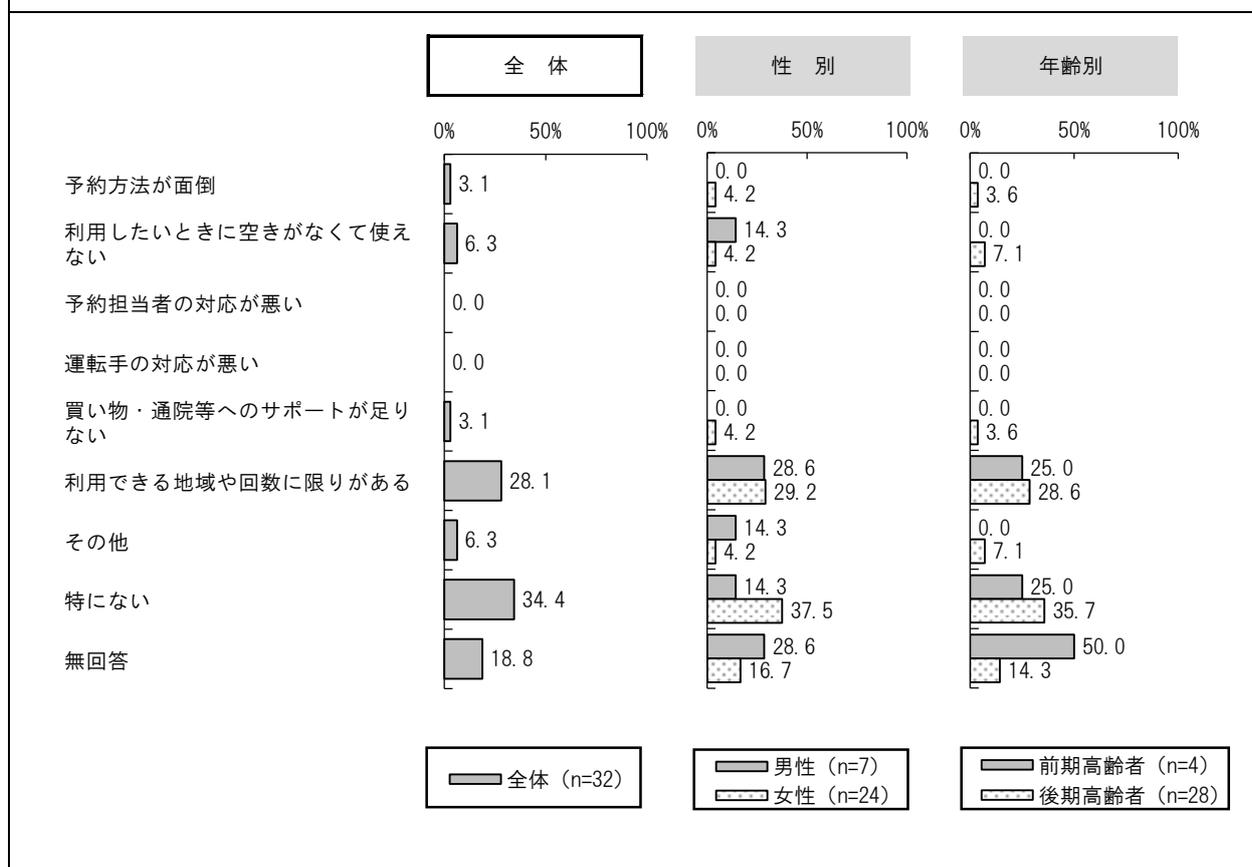
性別にみると、男性では「未登録」が86.9%と、女性に比べて14.5ポイント多くなっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「未登録」が91.1%と、後期高齢者に比べて26.6ポイント多くなっています。

(26) 利用して不便な点

問58-1で、「1」または「2」(=登録済み)と回答した方にお聞きします。

問58-1-1 利用にあたって、不便に感じることはありますか。(○は1つ)

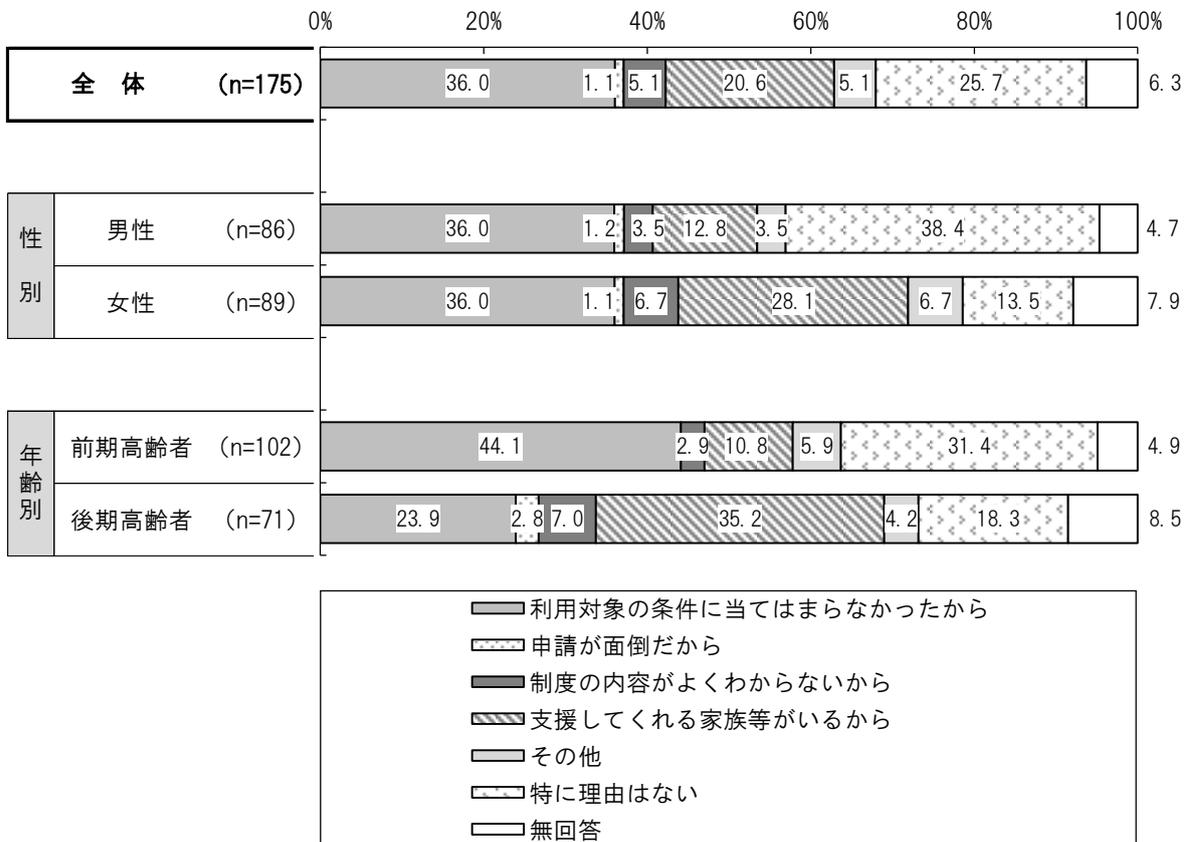


利用して不便な点においては、「特にない」が34.4%と最も多く、次いで「利用できる地域や回数に限りがある」が28.1%、「利用したいときに空きがなくて使えない」が6.3%などとなっています。

(27) 利用登録をしていない理由

問58-1で、「3」と回答した方にお聞きします。

問58-1-2 利用登録をしていない理由は次のうちどれですか。(○は1つ)



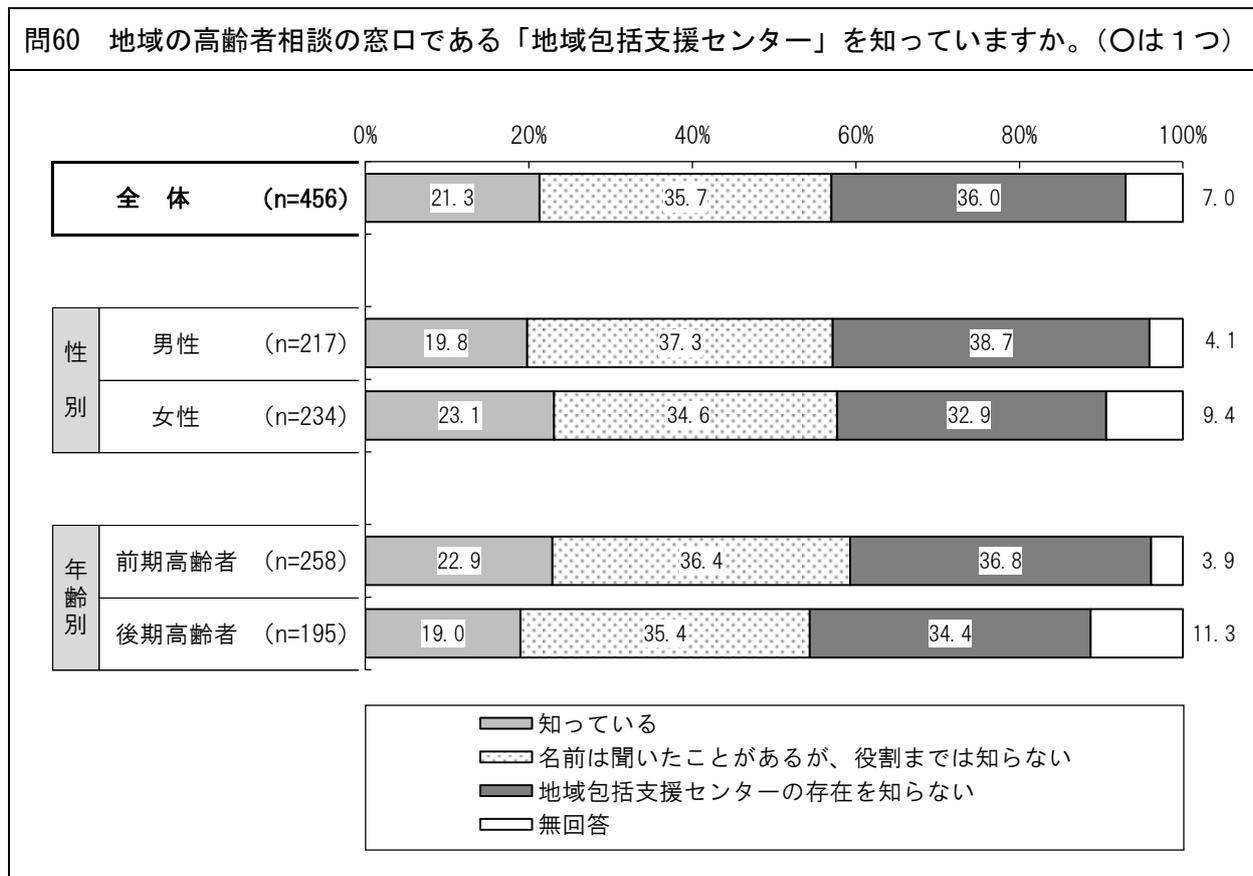
利用登録をしていない理由においては、「利用対象の条件に当てはまらなかったから」が36.0%と最も多く、次いで「特に理由はない」が25.7%、「支援してくれる家族等がいるから」が20.6%などとなっています。

性別にみると、男性では「特に理由はない」が38.4%と最も多くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「支援してくれる家族等がいるから」が35.2%と最も多くなっています。

7 地域包括支援センターについて

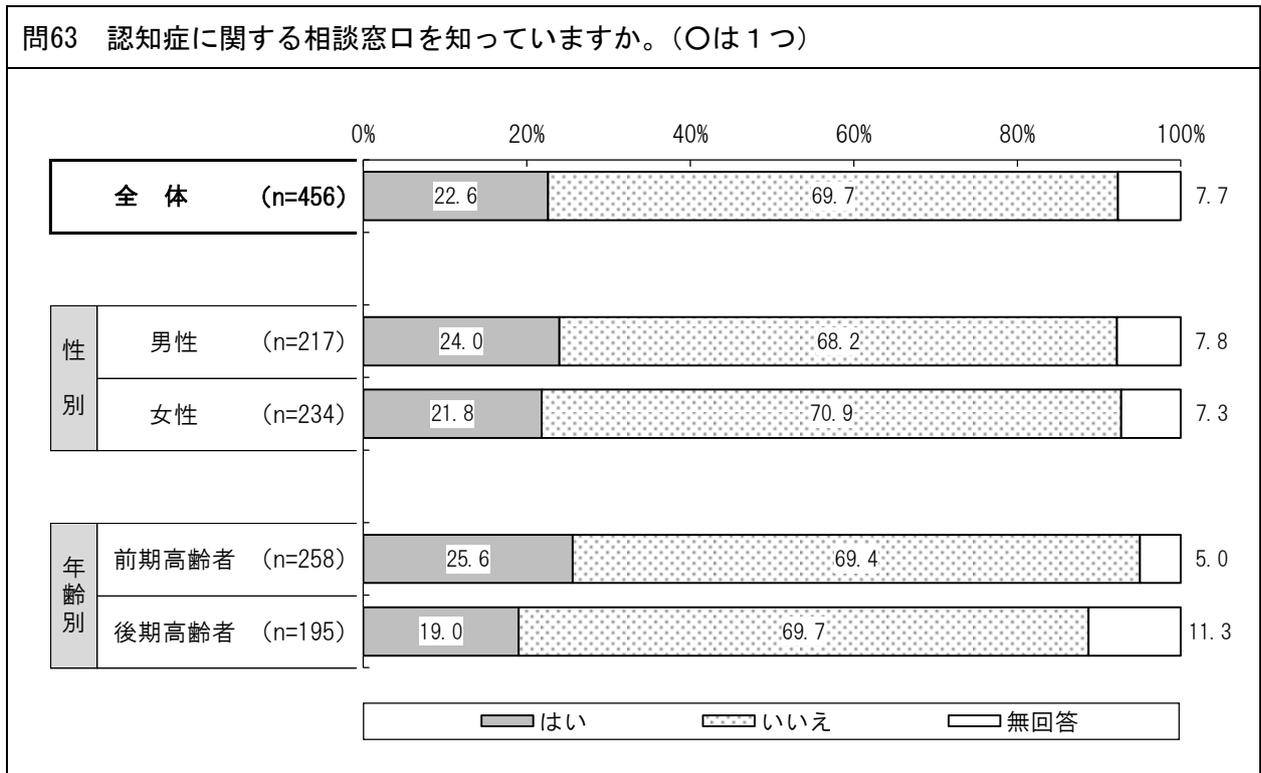
(28) 地域包括支援センターの認知状況



地域包括支援センターの認知状況においては、「知っている」が21.3%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が35.7%、「地域包括支援センターの存在を知らない」が36.0%となっています。

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

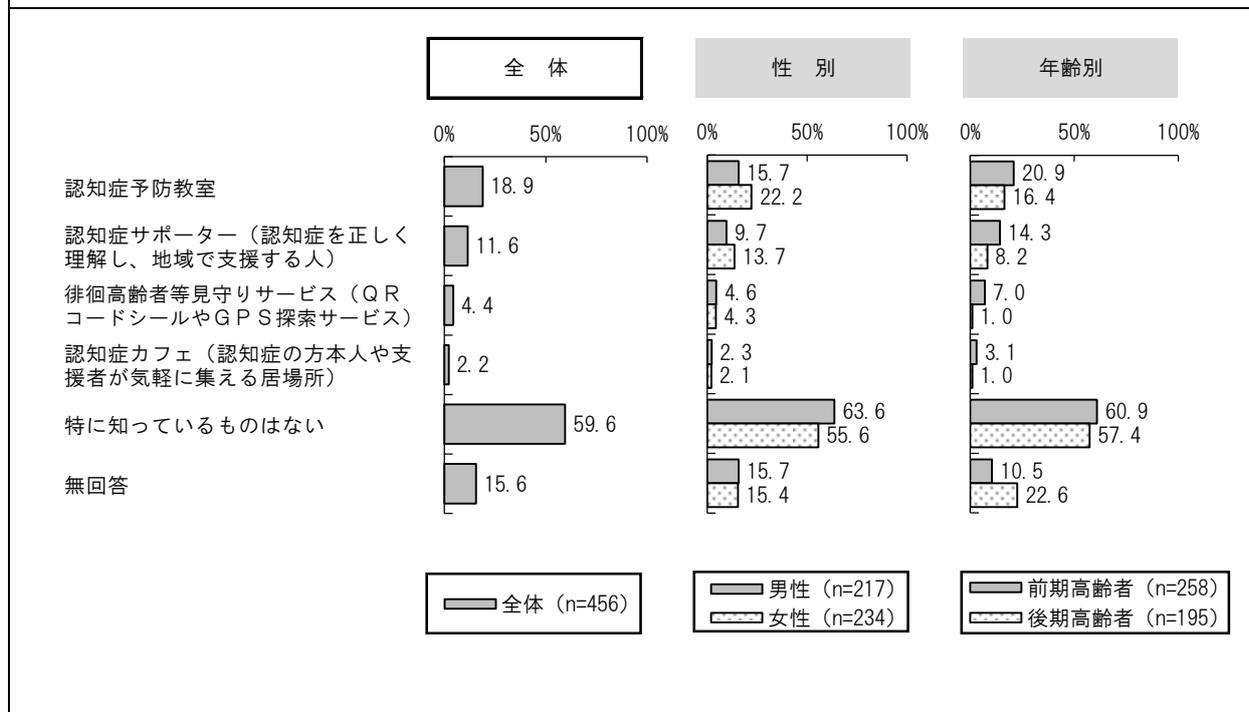
(29) 西桂町の認知症に関する相談窓口の認知状況



西桂町の認知症に関する相談窓口の認知状況においては、「はい」が22.6%、「いいえ」が69.7%となっています。

(30) 認知症のある人を支えるサービスの認知状況

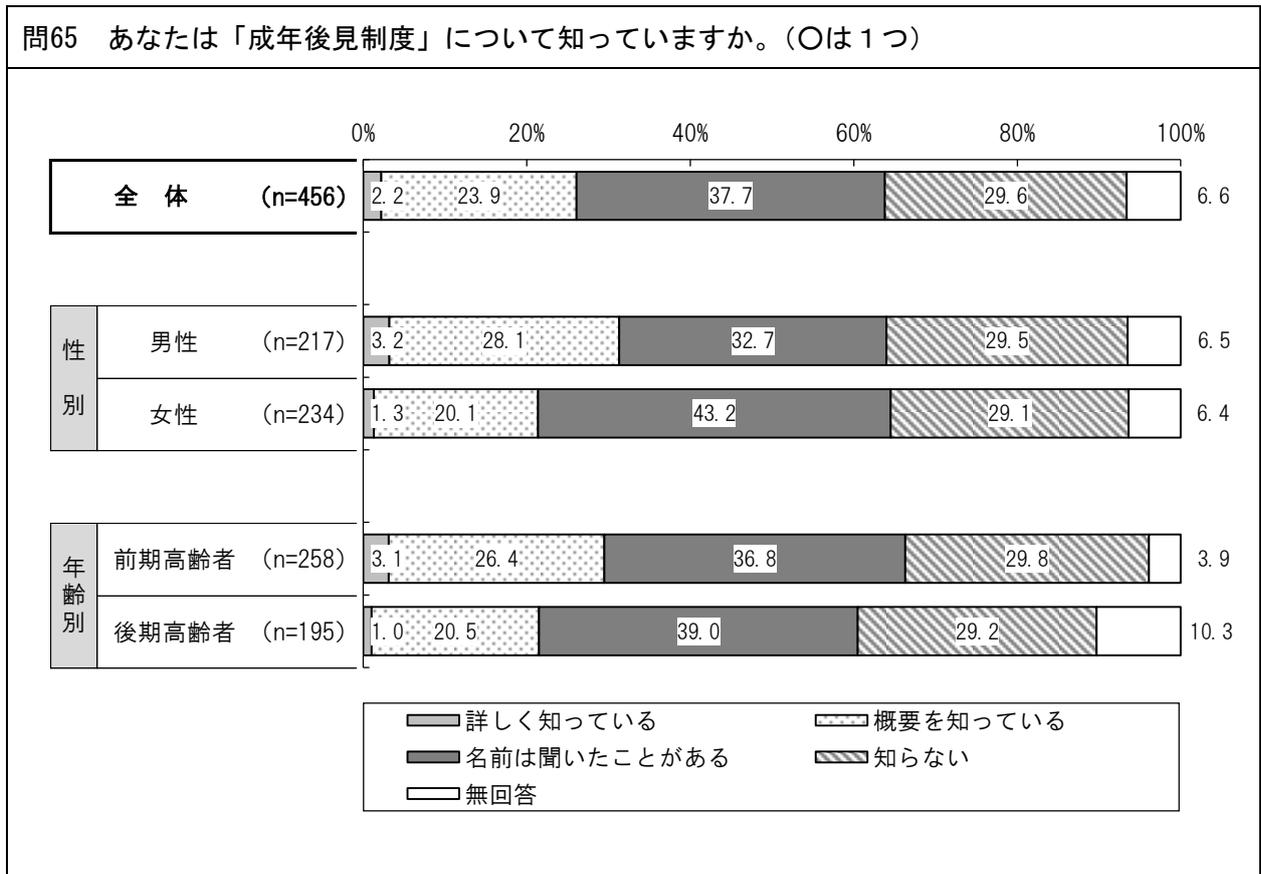
問64 町や民間事業者が実施している、認知症の方々を支える以下のサービス等を知っていますか。(〇はいくつでも)



認知症のある人を支えるサービスの認知状況においては、「認知症予防教室」が18.9%と最も多く、次いで「認知症サポーター (認知症を正しく理解し、地域で支援する人)」が11.6%、「徘徊高齢者等見守りサービス (QRコードシールやGPS探索サービス)」が4.4%などとなっています。また、「特に知っているものはない」が59.6%となっています。

9 成年後見制度について

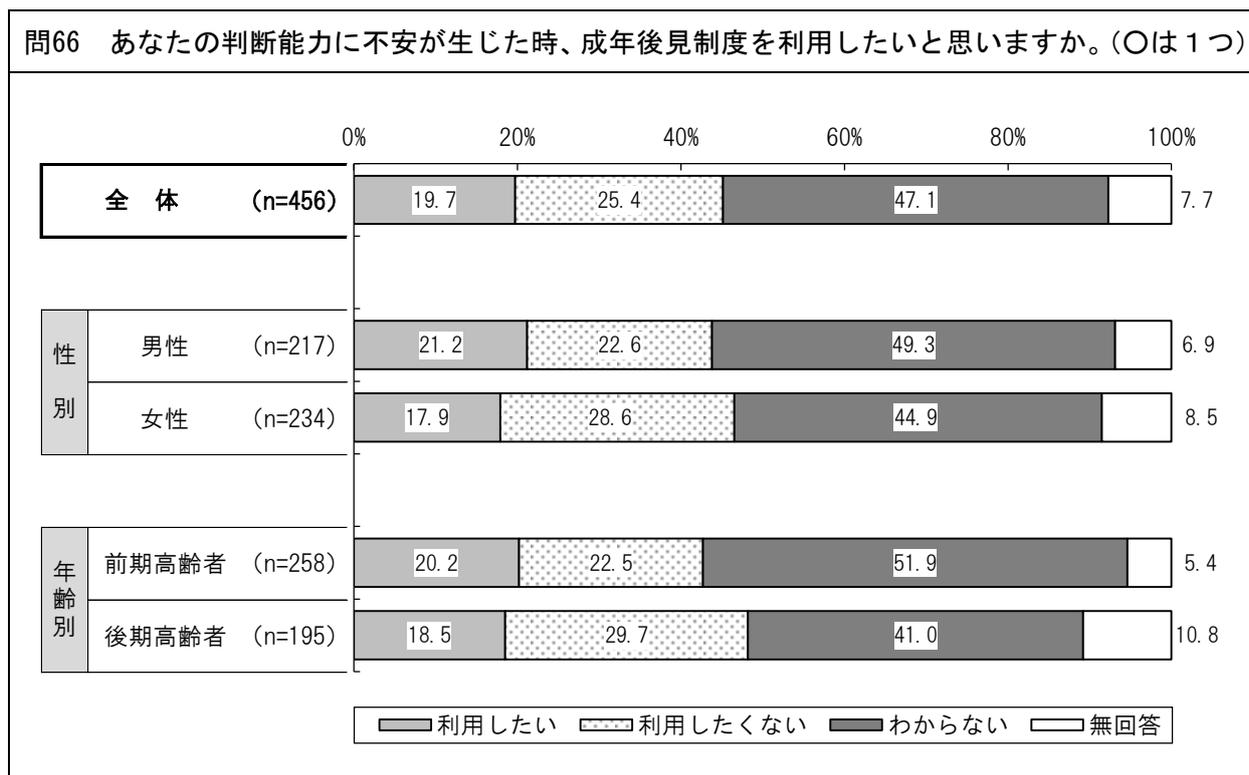
(31) 成年後見制度の認知状況



成年後見制度の認知状況においては、「詳しく知っている」が2.2%、「概要を知っている」が23.9%、「名前は聞いたことがある」が37.7%、「知らない」が29.6%となっています。

性別にみると、女性では「名前は聞いたことがある」が43.2%と、男性に比べて10.5ポイント多くなっています。

(32) 成年後見制度利用についての考え



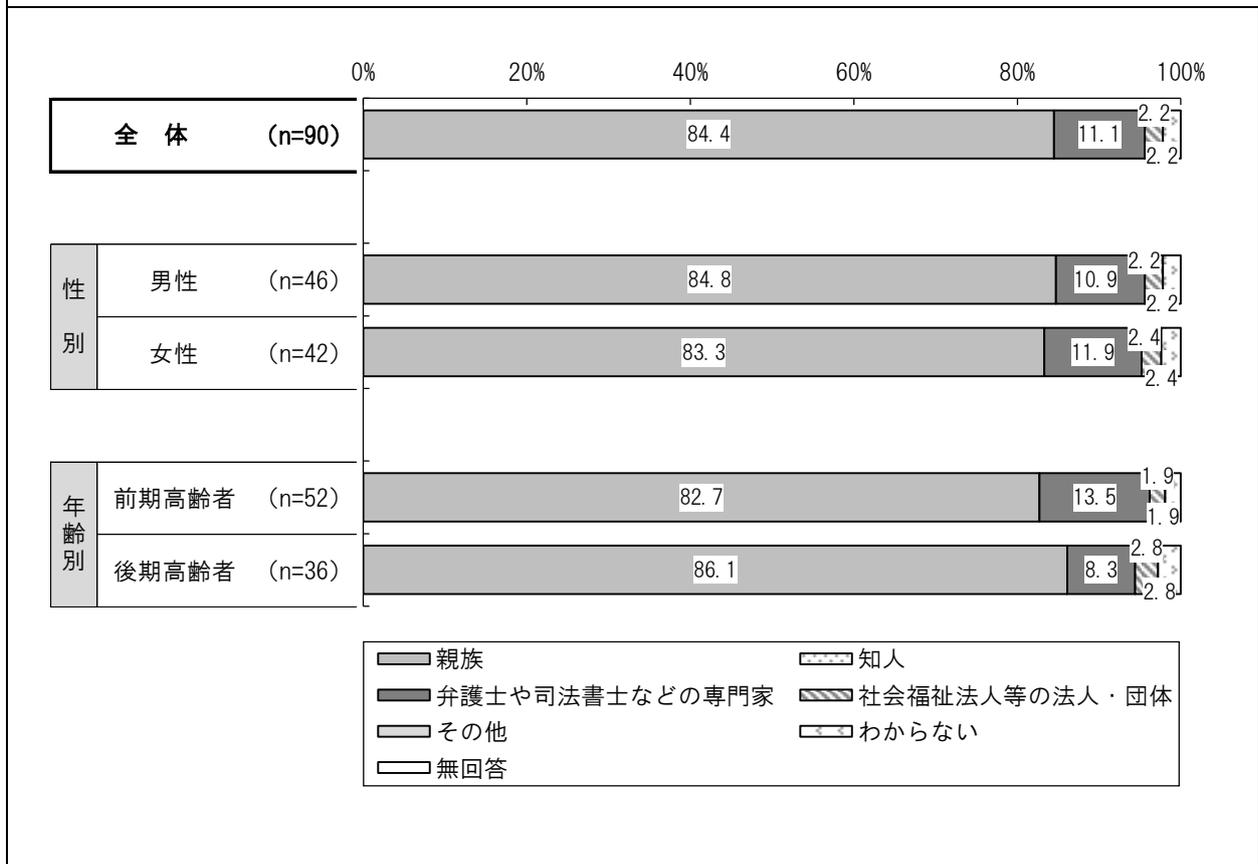
成年後見制度利用についての考えにおいては、「利用したい」が19.7%、「利用したくない」が25.4%、「わからない」が47.1%となっています。

年齢別にみると、前期高齢者では「わからない」が51.9%と、後期高齢者に比べて10.9ポイント多くなっています。

(33) 後見人になってもらいたい人

問66で、「1 利用したい」と回答した方にお聞きします。

問66-1 後見人には誰になってもらいたいですか。(○は1つ)

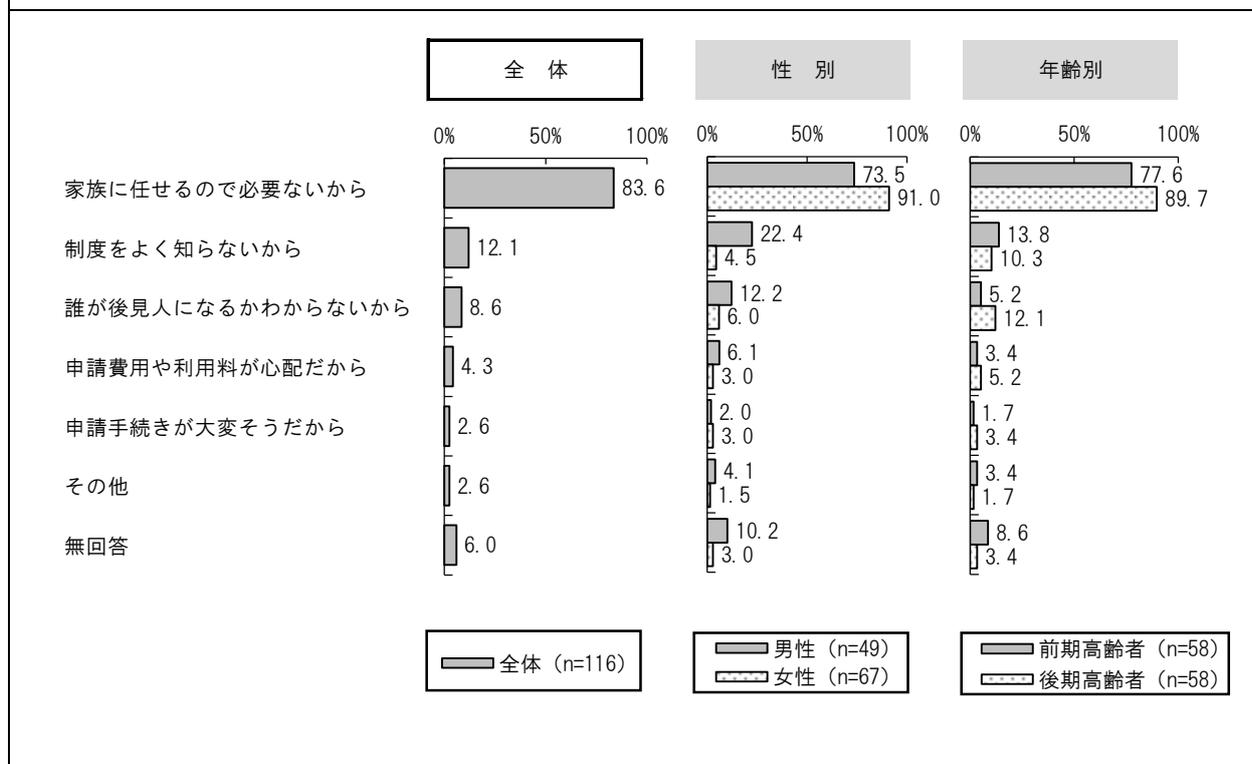


後見人になってもらいたい人においては、「親族」が84.4%と最も多く、次いで「弁護士や司法書士などの専門家」が11.1%、「社会福祉法人等の法人・団体」と「わからない」が2.2%などとなっています。

(34) 成年後見制度を利用したくない理由

問66で、「2 利用したくない」と回答した方にお聞きします。

問66-3 利用したくない理由を教えてください。(〇はいくつでも)



成年後見制度を利用したくない理由においては、「家族に任せるので必要ないから」が83.6%と最も多く、次いで「制度をよく知らないから」が12.1%、「誰が後見人になるかわからないから」が8.6%などとなっています。

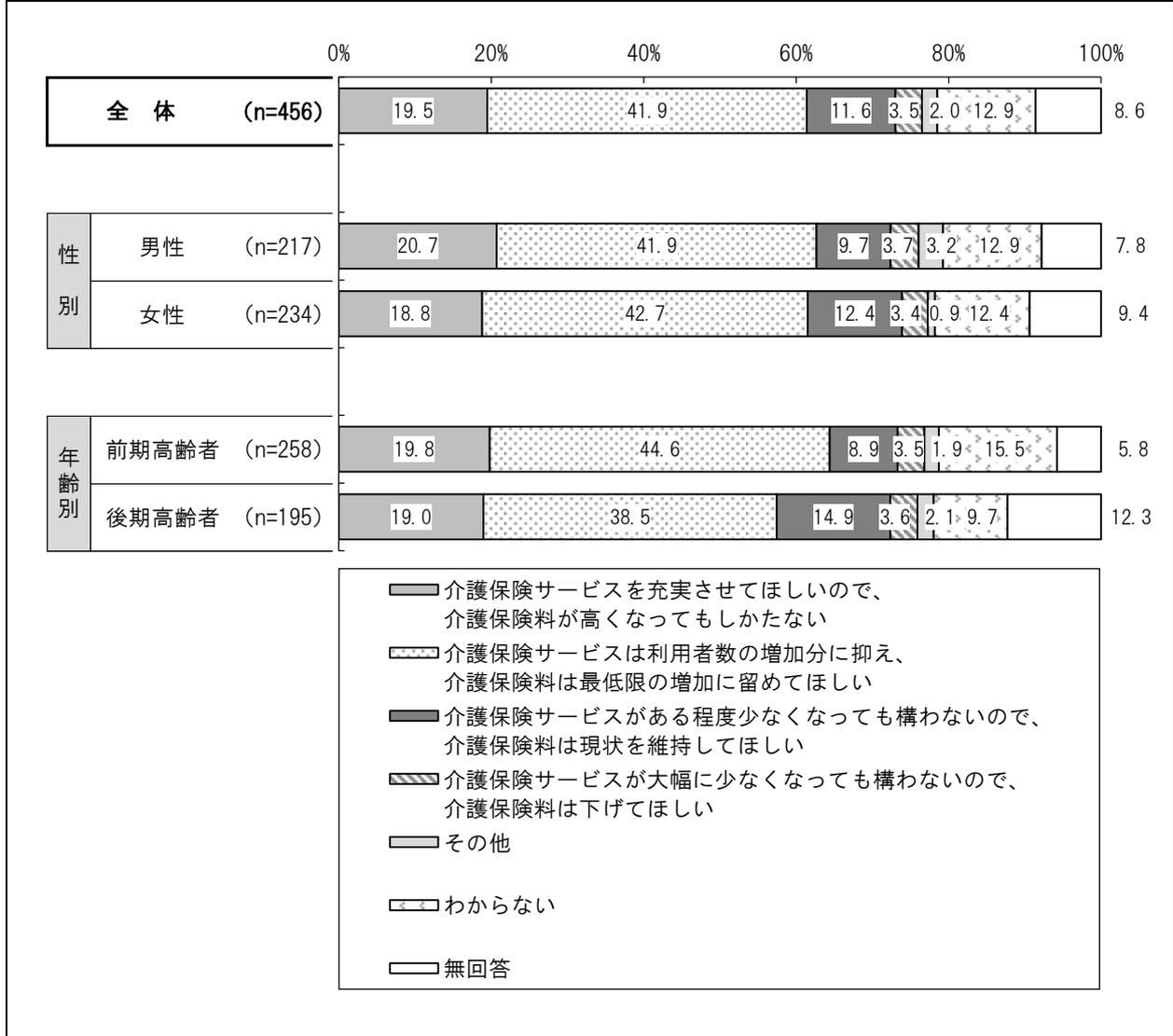
性別にみると、男性では「制度をよく知らないから」が22.4%と、女性に比べて17.9ポイント多くなっています。

年齢別にみると、後期高齢者では「家族に任せるので必要ないから」が89.7%と、前期高齢者に比べて12.1ポイント多くなっています。

10 介護保険制度について

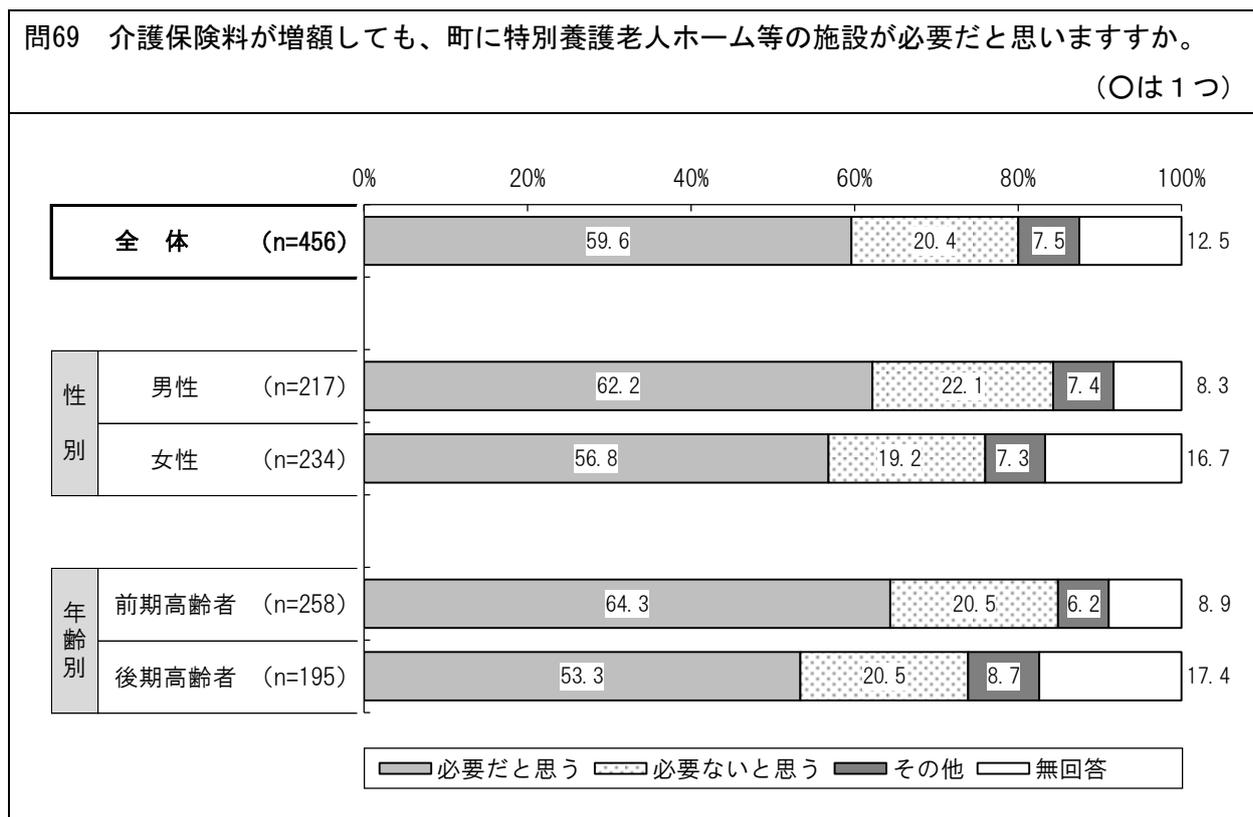
(35) 介護保険サービスを充実させるために費用負担が増えることへの考え方

問68 超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、介護保険料が増えることについてどう思いますか。(○は1つ)



介護保険サービスを充実させるために費用負担が増えることへの考え方においては、「介護保険サービスは利用者数の増加分に抑え、介護保険料は最低限の増加に留めてほしい」が41.9%と最も多く、次いで「介護保険サービスを充実させてほしいので、介護保険料が高くなってもしかたない」が19.5%、「わからない」が12.9%などとなっています。

(36) 特別養護老人ホーム等の施設の必要性



特別養護老人ホーム等の施設の必要性においては、「必要だと思う」が59.6%、「必要ないと思う」が20.4%などとなっています。

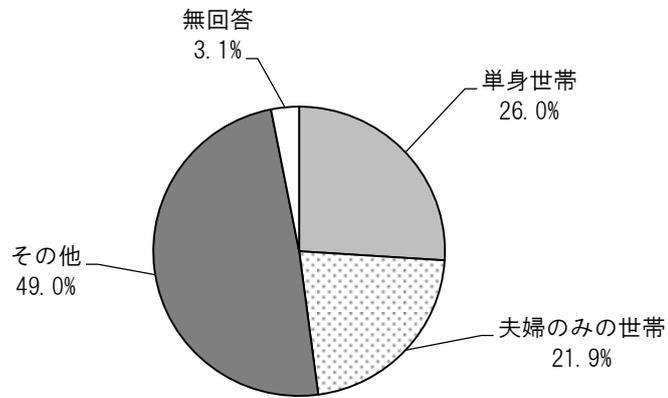
年齢別にみると、前期高齢者では「必要だと思う」が64.3%と、後期高齢者に比べて11.0ポイント多くなっています。

Ⅲ 要支援・要介護認定者調査結果

1 調査対象者（あて名）ご本人について

(1) 世帯構成

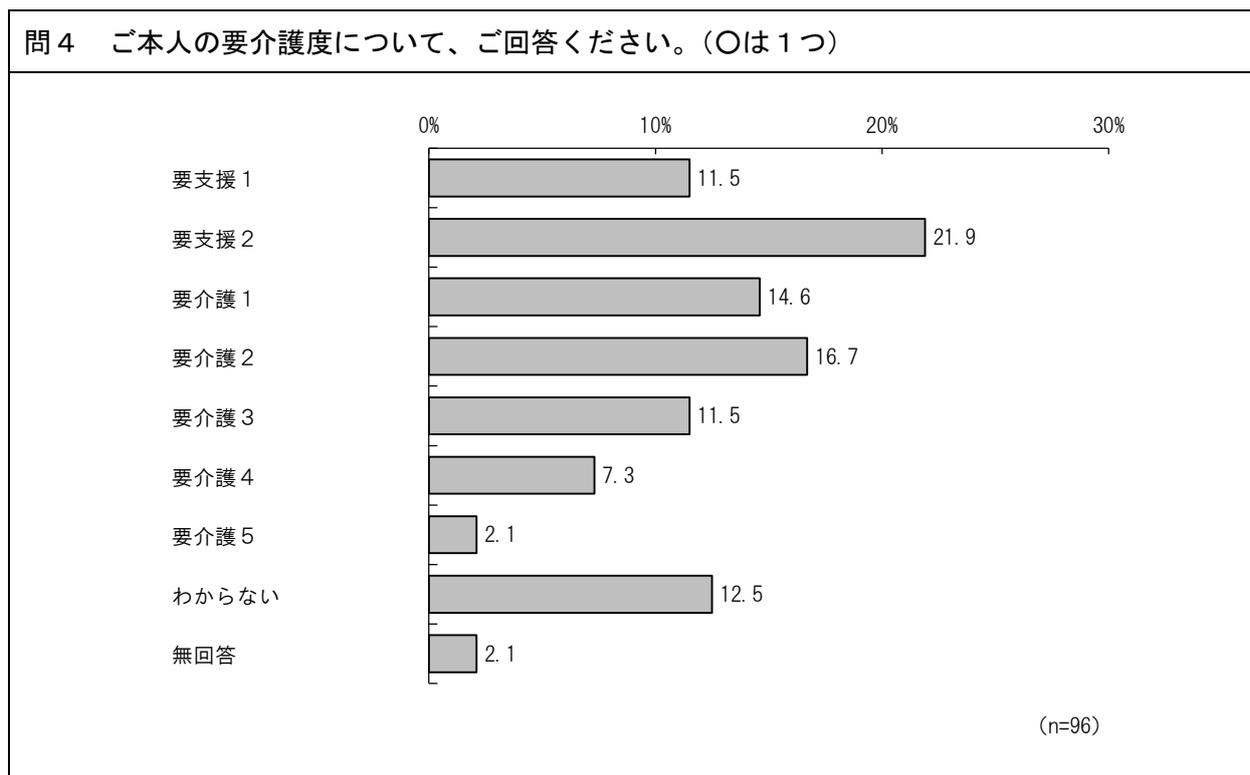
問3 世帯類型についてご回答ください。(○は1つ)



(n=96)

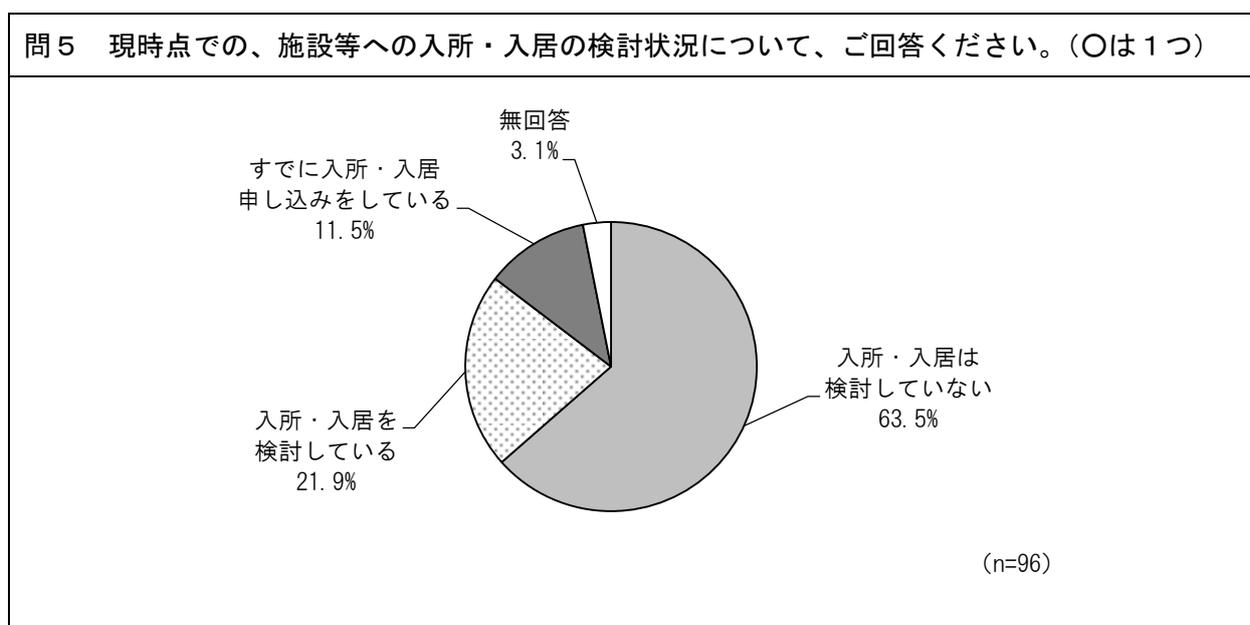
世帯構成においては、「単身世帯」が26.0%、「夫婦のみの世帯」が21.9%などとなっています。

(2) 要介護認定の状況（要介護度）



要介護認定の状況（要介護度）においては、「要支援2」が21.9%と最も多く、次いで「要介護2」が16.7%、「要介護1」が14.6%などとなっています。

(3) 施設等への入所・入居の検討状況



施設等への入所・入居の検討状況においては、「入所・入居は検討していない」が63.5%、「入所・入居を検討している」が21.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.5%となっています。

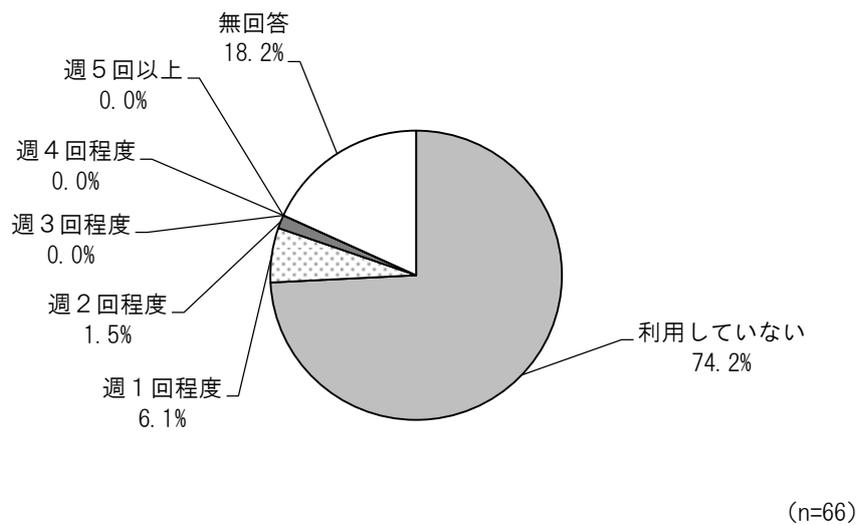
2 介護保険サービスについて

(4) 訪問看護

問7-1～問7-6は、問7で「1 利用した」と回答した方にお聞きします。

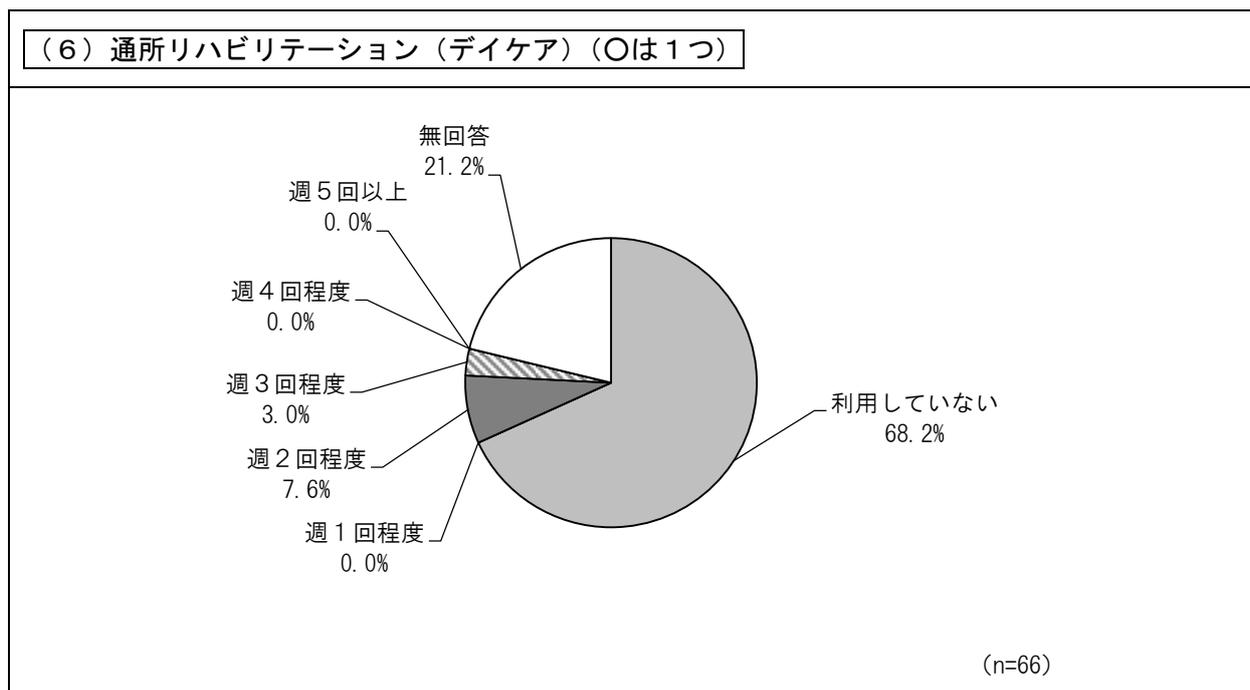
問7-1 以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1 利用していない」を選択してください。

(6) 訪問看護 (○は1つ)



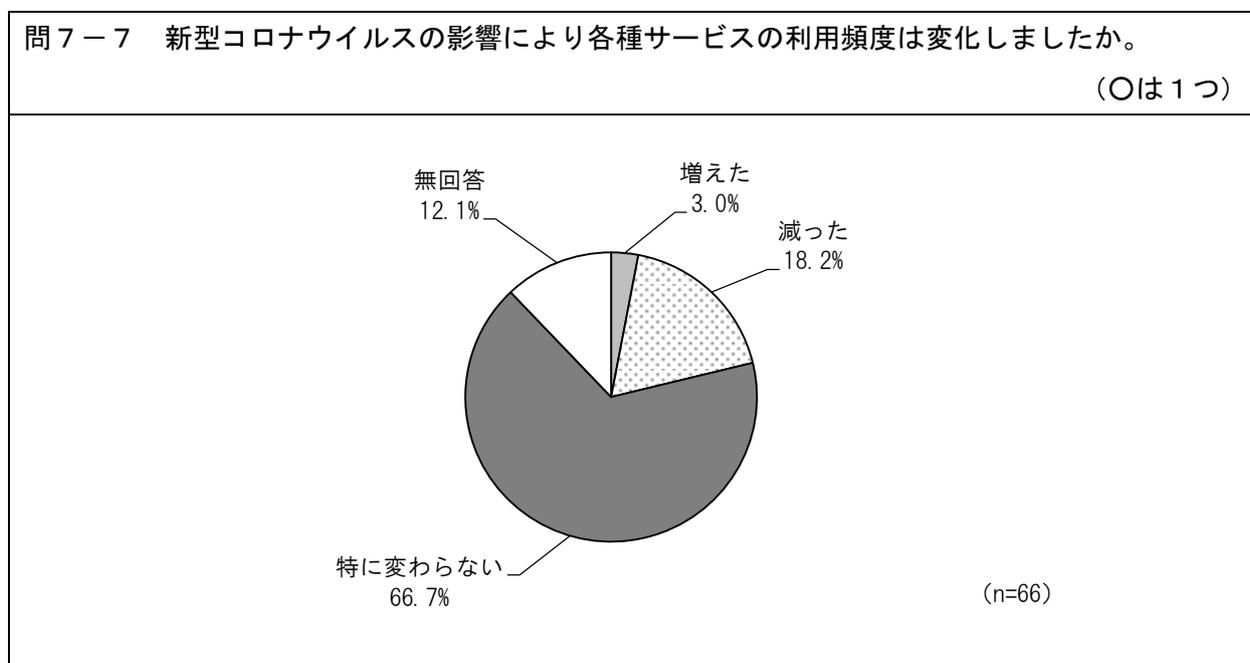
訪問看護においては、「利用していない」が74.2%と最も多く、次いで「週1回程度」が6.1%、「週2回程度」が1.5%となっています。

(5) 通所リハビリテーション（デイケア）



通所リハビリテーション（デイケア）においては、「利用していない」が68.2%と最も多く、次いで「週2回程度」が7.6%、「週3回程度」が3.0%となっています。

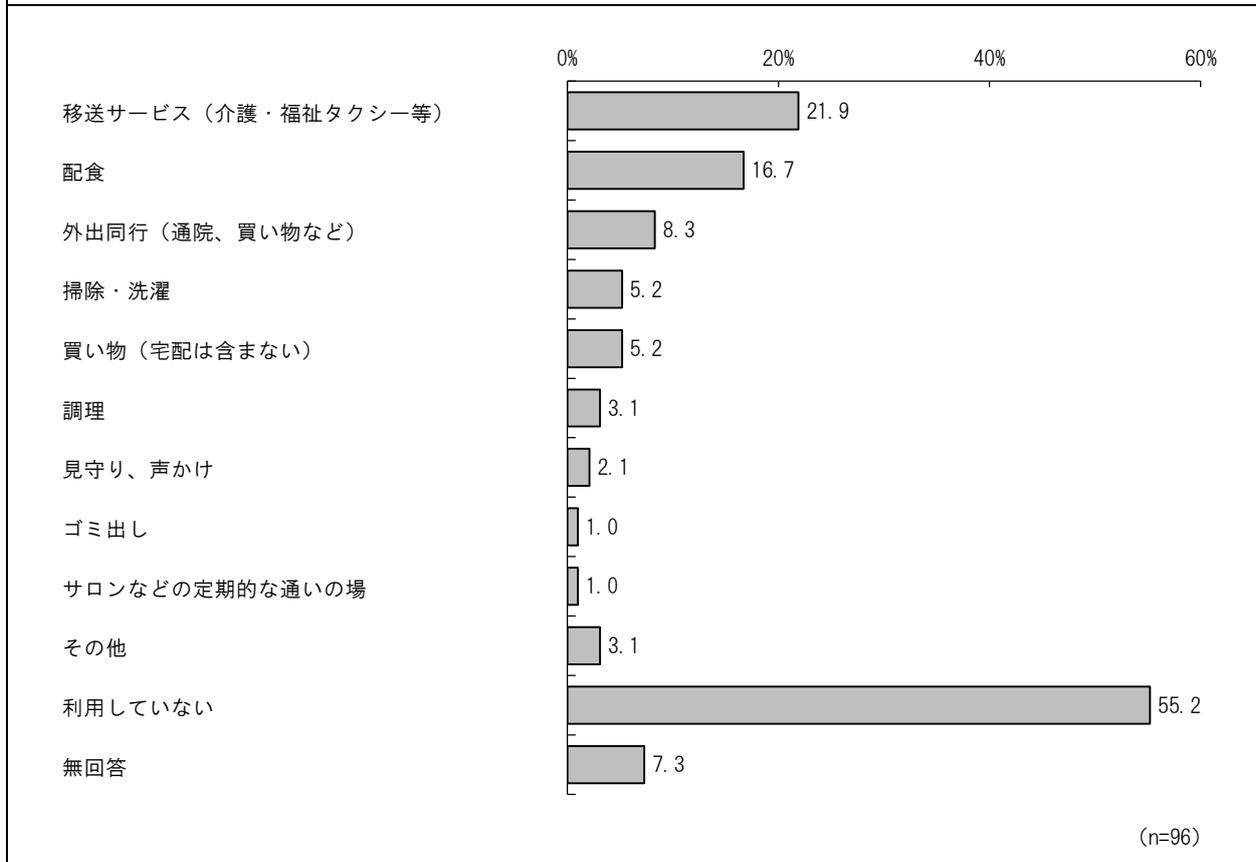
(6) 新型コロナウイルスの影響による各種サービスの利用頻度の変化



新型コロナウイルスの影響による各種サービスの利用頻度の変化においては、「増えた」が3.0%、「減った」が18.2%、「特に変わらない」が66.7%となっています。

(7) 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

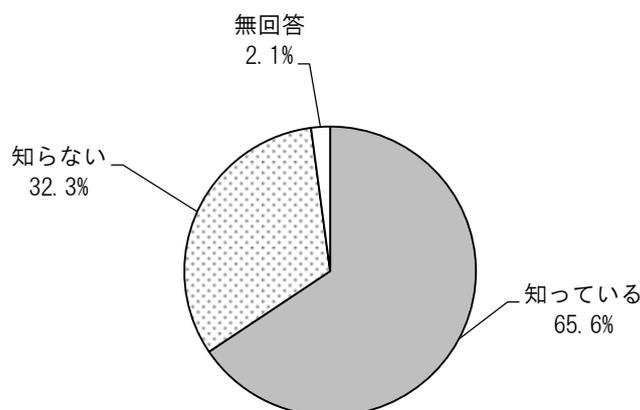
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)



利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスにおいては、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が21.9%と最も多く、次いで「配食」が16.7%、「外出同行 (通院、買い物など)」が8.3%などとなっています。また、「利用していない」が55.2%となっています。

(8) 外出支援サービスの認知状況

問12 あなたは「外出支援サービス」について知っていますか。(○は1つ)



(n=96)

外出支援サービスの認知状況においては、「知っている」が65.6%、「知らない」が32.3%となっています。

問13 あなたが外出時に困ること・支援してもらいたいことは何ですか。(自由記述)

- デイサービス以外にも外出させてあげたいけど、車いすの生活なのでトイレの場所など困る為気軽に外出できないこと。
- 外出支援サービスの依頼が出来ない事。(定期的に)通院するので、予約制にして欲しい。(日付、時間)
- 甲府方面まで外出支援サービスをしてもらいたい。
- 車での移動。重い荷物の持ち運び。
- 足が悪くやっと歩行している状態。車イスがあれば助かる場面が多い。

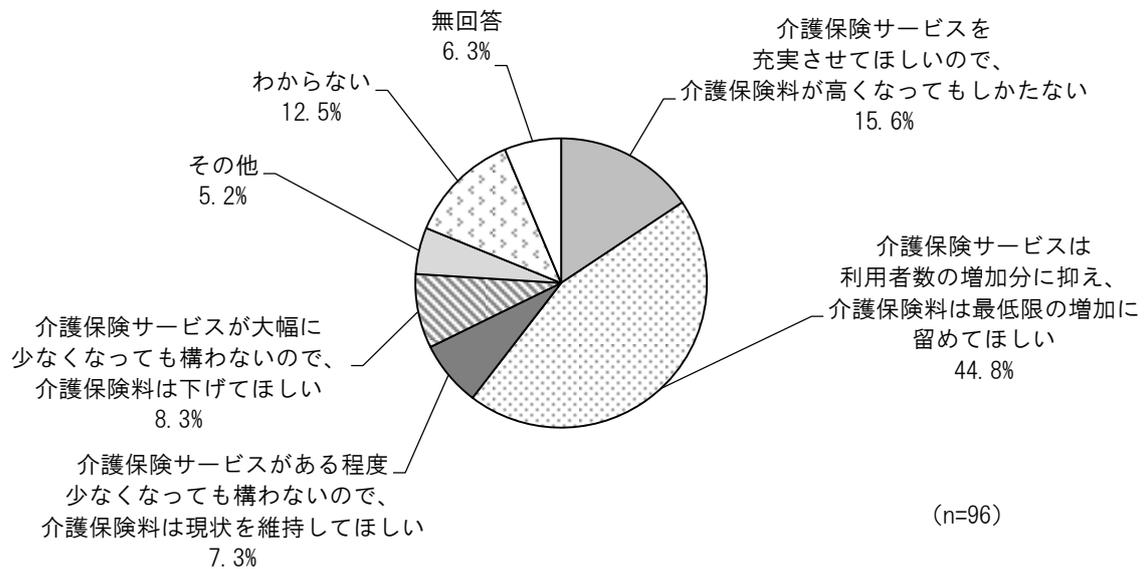
問14は、「外出支援サービス」を利用したことがある方のみお答えください。

問14 外出支援を使用して、良かったことはありますか。(自由記述)

- 時間どおりに来て頂きありがとうございました。
- 病院の送迎。遠いので助かりました。
- 目的が達せられたので良いと思います。自分の考えで行きたい所へ自由に送迎して下さい。
- タクシーが家の前まで来てくれる。
- 通院の折診療が終わるまで待機してもらったこと。

(9) 介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることへの考え方

問15 超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、介護保険料が増えることについてどう思いますか。(〇は1つ)

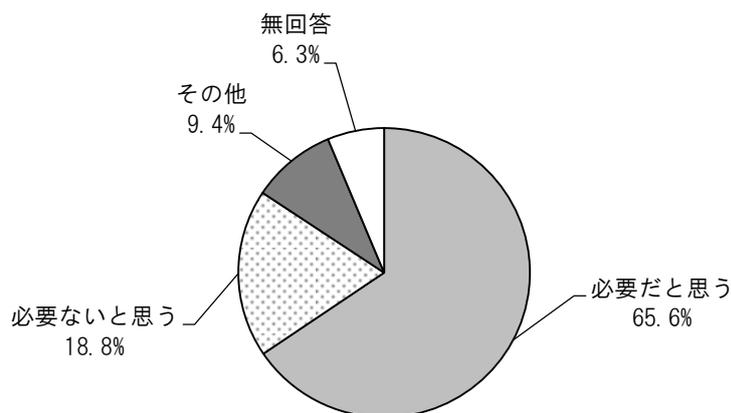


介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることへの考え方においては、「介護保険サービスは利用者数の増加分に抑え、介護保険料は最低限の増加に留めてほしい」が44.8%と最も多く、次いで「介護保険サービスを充実させてほしいので、介護保険料が高くなってもしかたない」が15.6%、「わからない」が12.5%などとなっています。

(10) 特別養護老人ホーム等の施設の必要性

問16 介護保険料が増額しても、町に特別養護老人ホーム等の施設が必要だと思いますか。

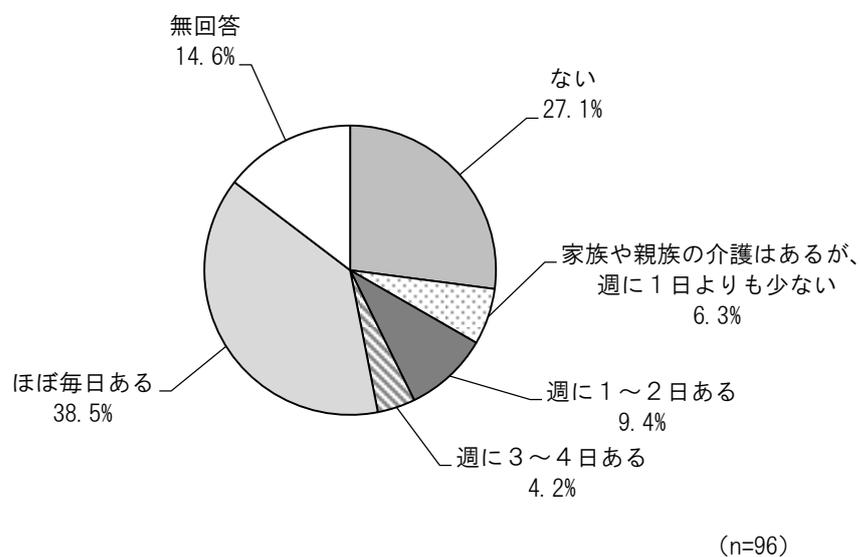
(〇は1つ)



特別養護老人ホーム等の施設の必要性においては、「必要だと思う」が65.6%、「必要ないと思う」が18.8%などとなっています。

(11) 家族や親族からの介護状況

問21 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含みます) (○は1つ)



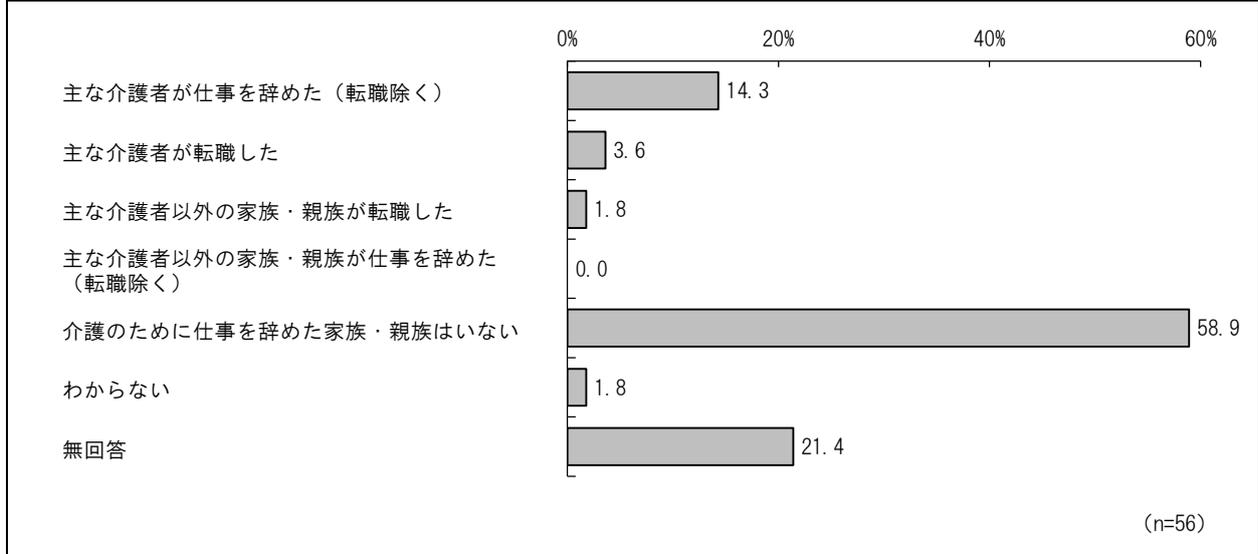
家族や親族からの介護状況においては、「ほぼ毎日ある」が38.5%と最も多く、次いで「ない」が27.1%、「週に1～2日ある」が9.4%などとなっています。

3 主な介護者について

(12) 過去1年の間に介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無

問22～問32は、問21で「2 家族や親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「3 週に1～2日ある」「4 週に3～4日ある」「5 ほぼ毎日ある」と回答した方にお聞きします。

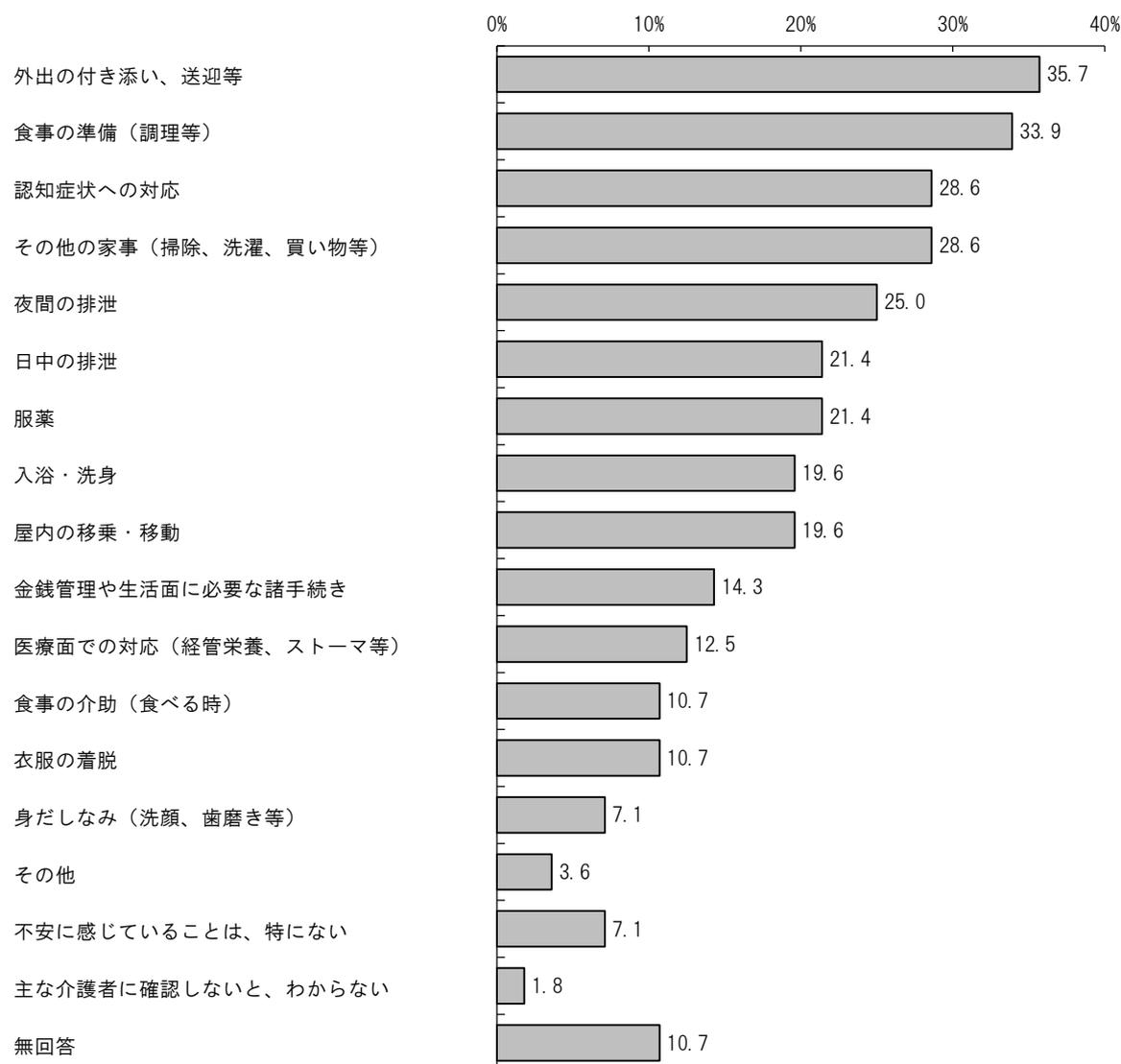
問22 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(〇はいくつでも)



過去1年の間に介護を理由に仕事を辞めた家族や親族の有無においては、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が14.3%と最も多く、次いで「主な介護者が転職した」が3.6%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が1.8%などとなっています。また、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が58.9%となっています。

(13) 主な介護者が不安に感じる介護等

問27 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(〇はいくつでも)



(n=56)

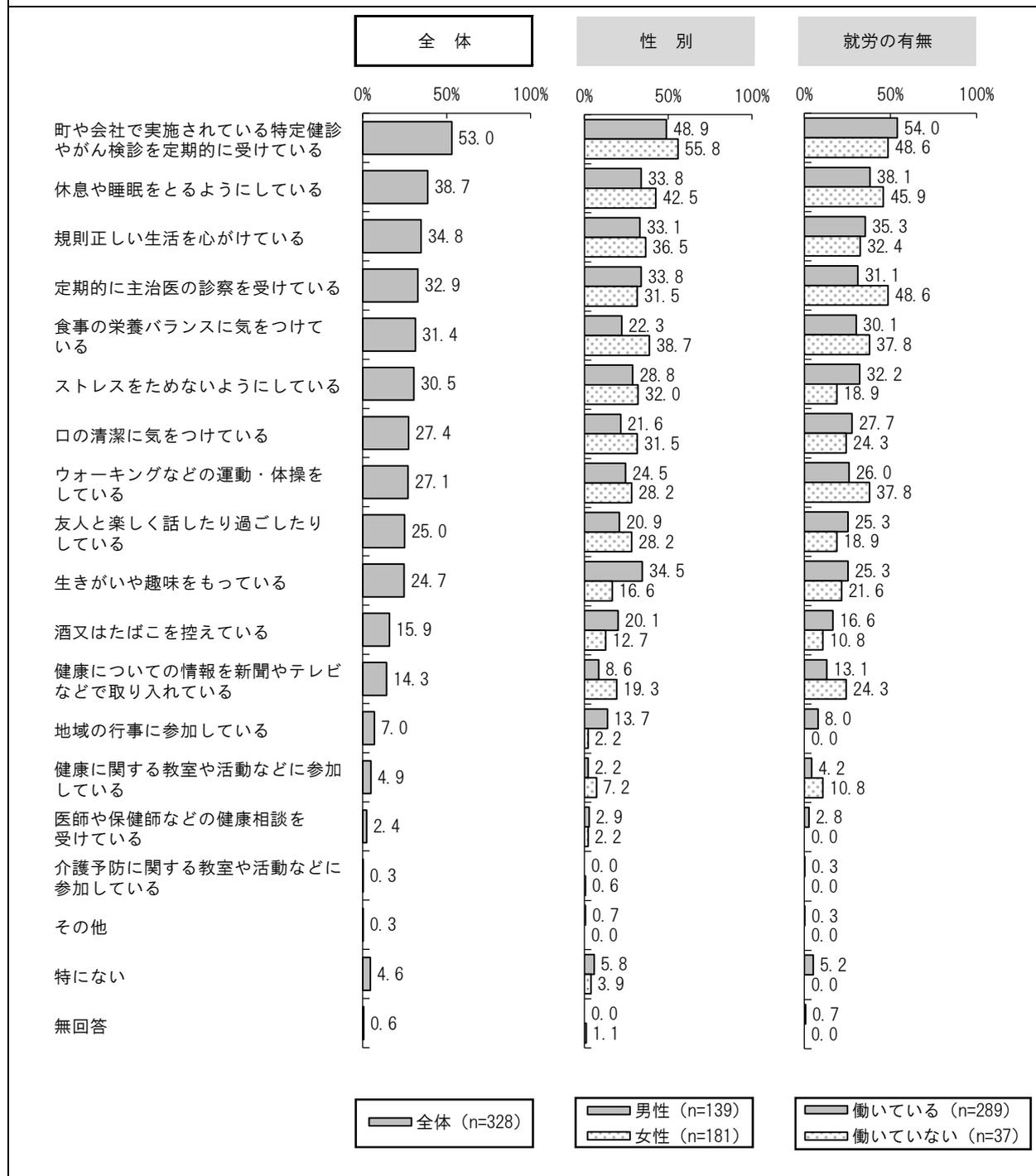
主な介護者が不安に感じる介護等においては、「外出の付き添い、送迎等」が35.7%と最も多く、次いで「食事の準備 (調理等)」が33.9%、「認知症状への対応」と「その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)」が28.6%などとなっています。

IV 第2号被保険者調査結果

1 健康について

(1) 健康のために心がけていること

問8 健康のために心がけていることはありますか。(〇はいくつでも)



健康のために心がけていることにおいては、「町や会社で実施されている特定健診やがん検診を定期的に行っている」が53.0%と最も多く、次いで「休息や睡眠をとるようにしている」が38.7%、「規則正しい生活を心がけている」が34.8%などとなっています。

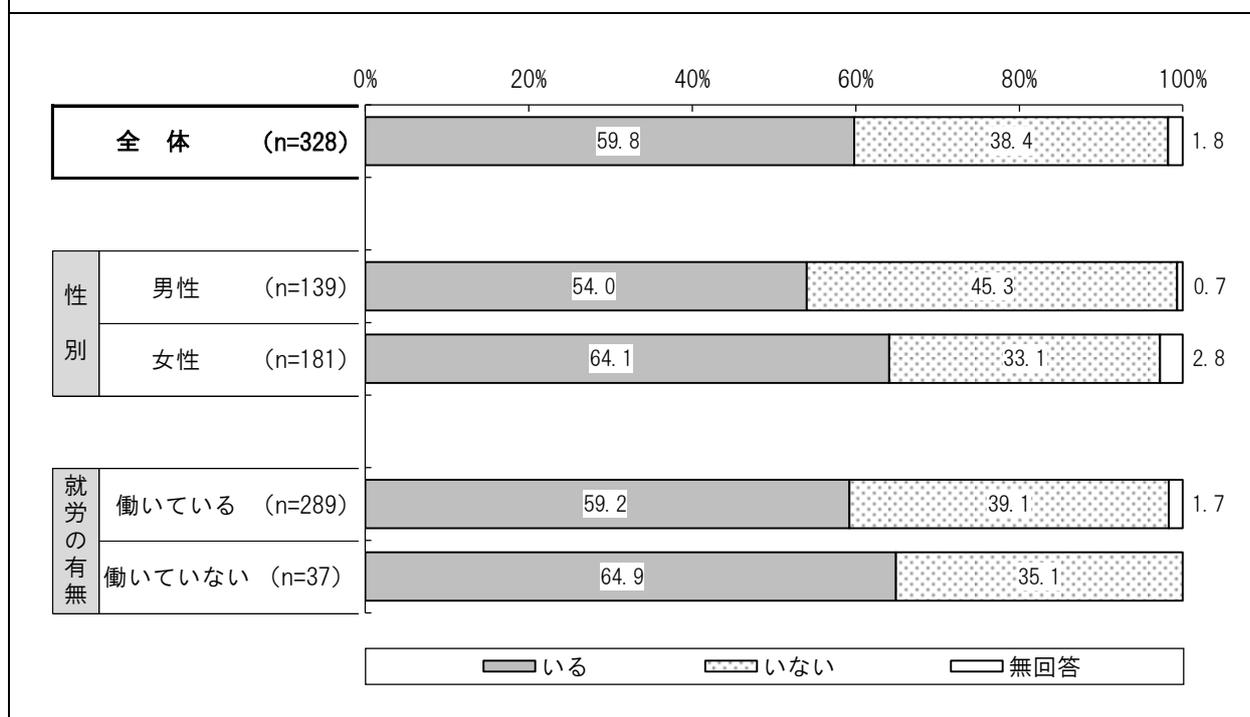
性別にみると、男性では「生きがいや趣味をもっている」が34.5%と、女性に比べて17.9ポイント多くなっています。

就労の有無別にみると、働いていないでは「定期的に主治医の診察を受けている」が48.6%と、働いているに比べて17.5ポイント多くなっています。

(2) かかりつけの医師の有無

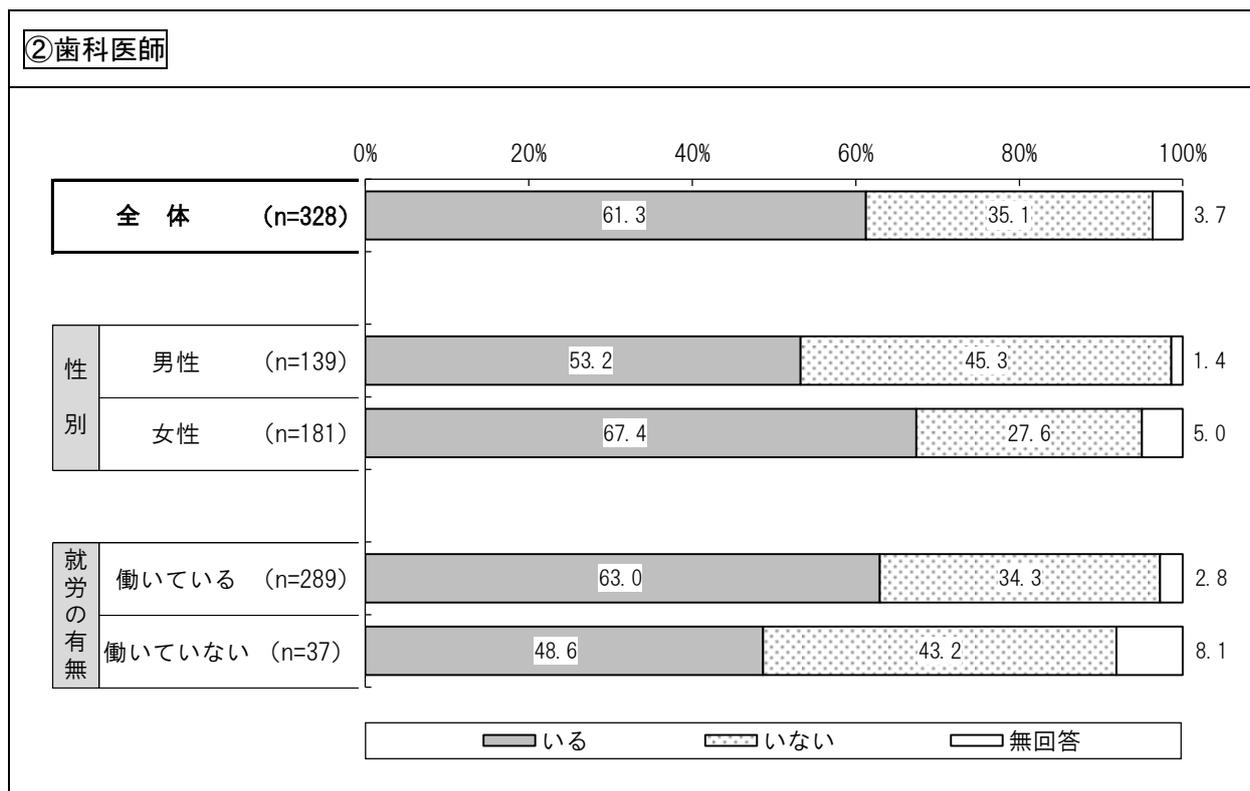
問10 現在、かかりつけの医師や歯科医師、薬局がありますか。(〇は1つずつ)

①医師



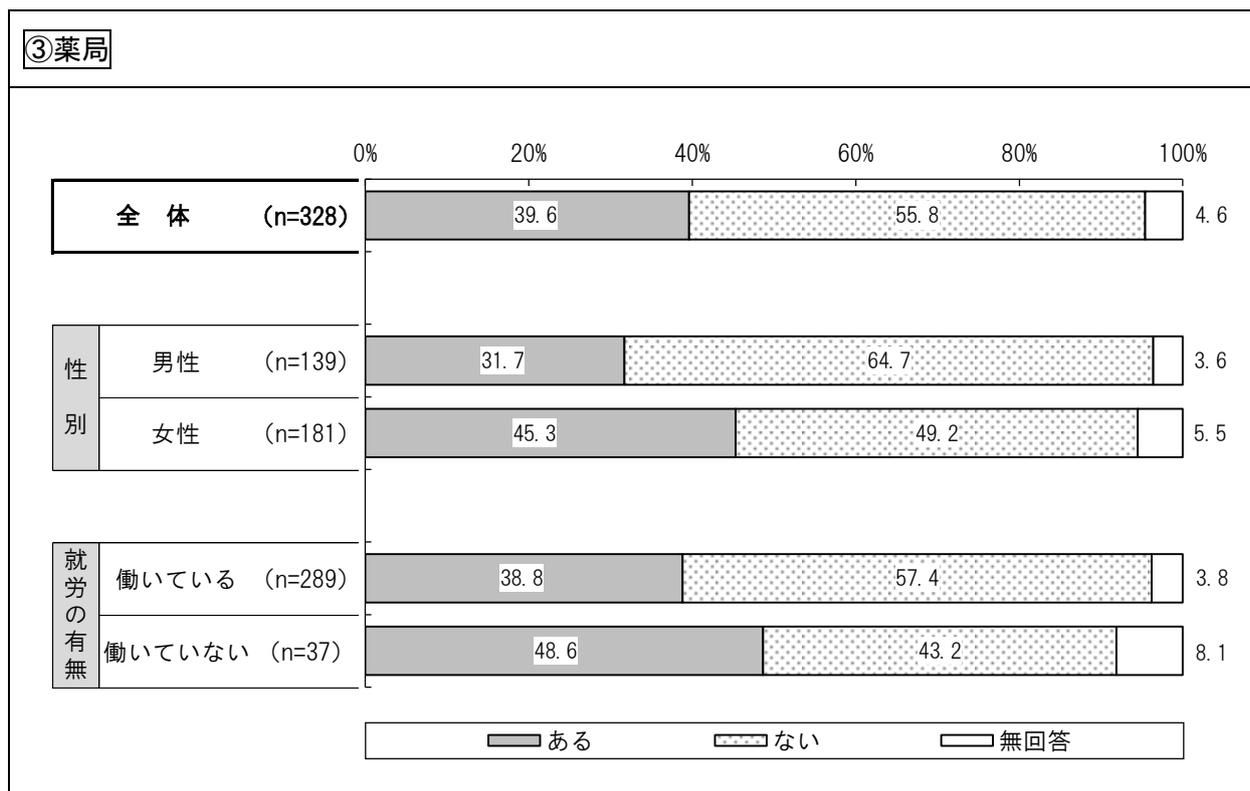
かかりつけの医師の有無においては、「いる」が59.8%、「いない」が38.4%となっています。性別にみると、男性では「いない」が45.3%と、女性に比べて12.2ポイント多くなっています。

(3) かかりつけの歯科医師の有無



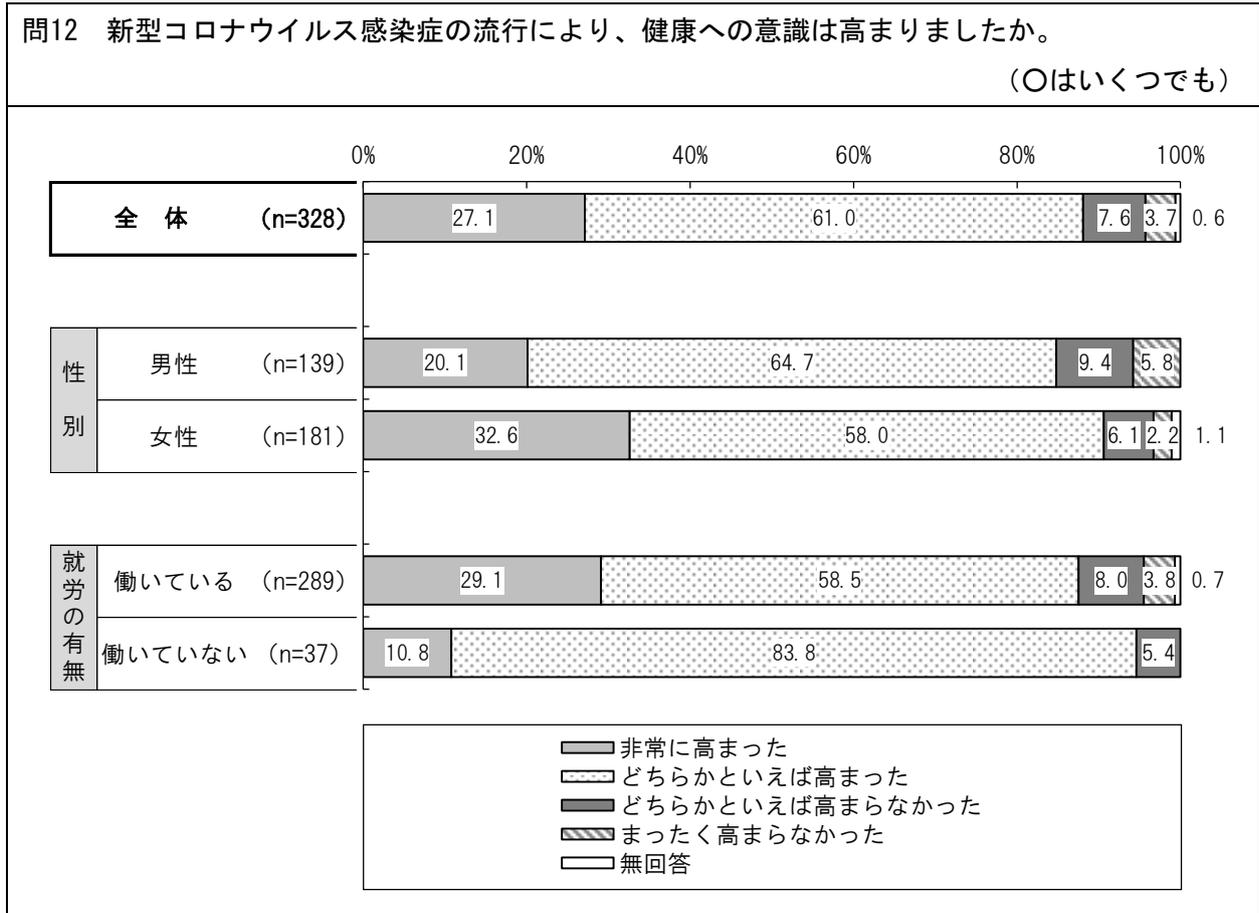
かかりつけの歯科医師の有無においては、「いる」が61.3%、「いない」が35.1%となっています。性別にみると、男性では「いない」が45.3%と、女性に比べて17.7ポイント多くなっています。就労の有無別にみると、働いているでは「いる」が63.0%と、働いていないに比べて14.4ポイント多くなっています。

(4) かかりつけの薬局の有無



かかりつけの薬局の有無においては、「ある」が39.6%、「ない」が55.8%となっています。
 性別にみると、男性では「ない」が64.7%と、女性に比べて15.5ポイント多くなっています。
 就労の有無別にみると、働いていないでは「ある」が48.6%と、「ある」のほうが多くなっています。

(5) 新型コロナウイルス感染症の流行で健康への意識は高まったか



新型コロナウイルス感染症の流行で健康への意識は高まったかにおいては、「非常に高まった」が27.1%、「どちらかといえば高まった」が61.0%、「どちらかといえば高まらなかった」が7.6%、「まったく高まらなかった」が3.7%となっています。

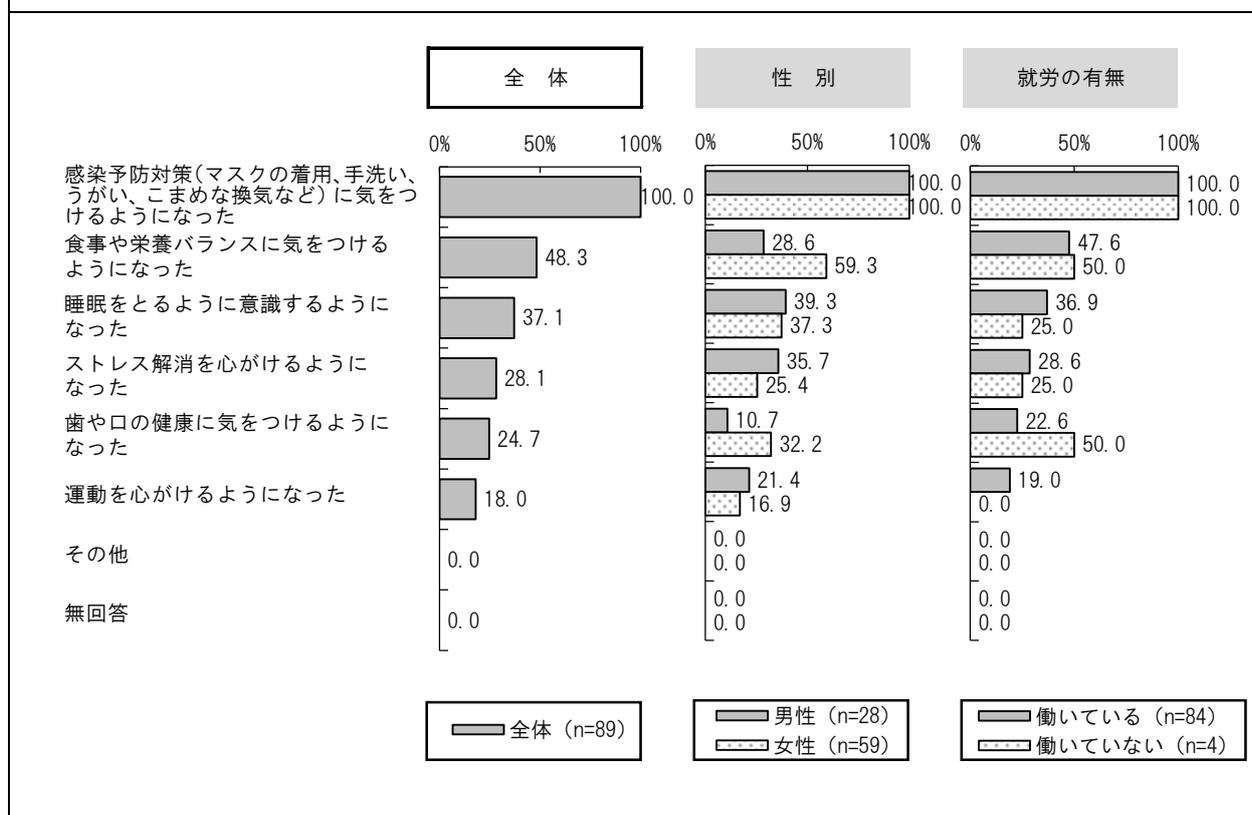
性別にみると、女性では「非常に高まった」が32.6%と、男性に比べて12.5ポイント多くなっています。

就労の有無別にみると、働いていないでは「どちらかといえば高まった」が83.8%と、働いているに比べて25.3ポイント多くなっています。

(6) 健康への意識が高まったこと

問12で「1」または「2」(=高まった)と回答した方にお聞きします。

問12-1 具体的に、どのような健康への意識が高まりましたか。(〇はいくつでも)

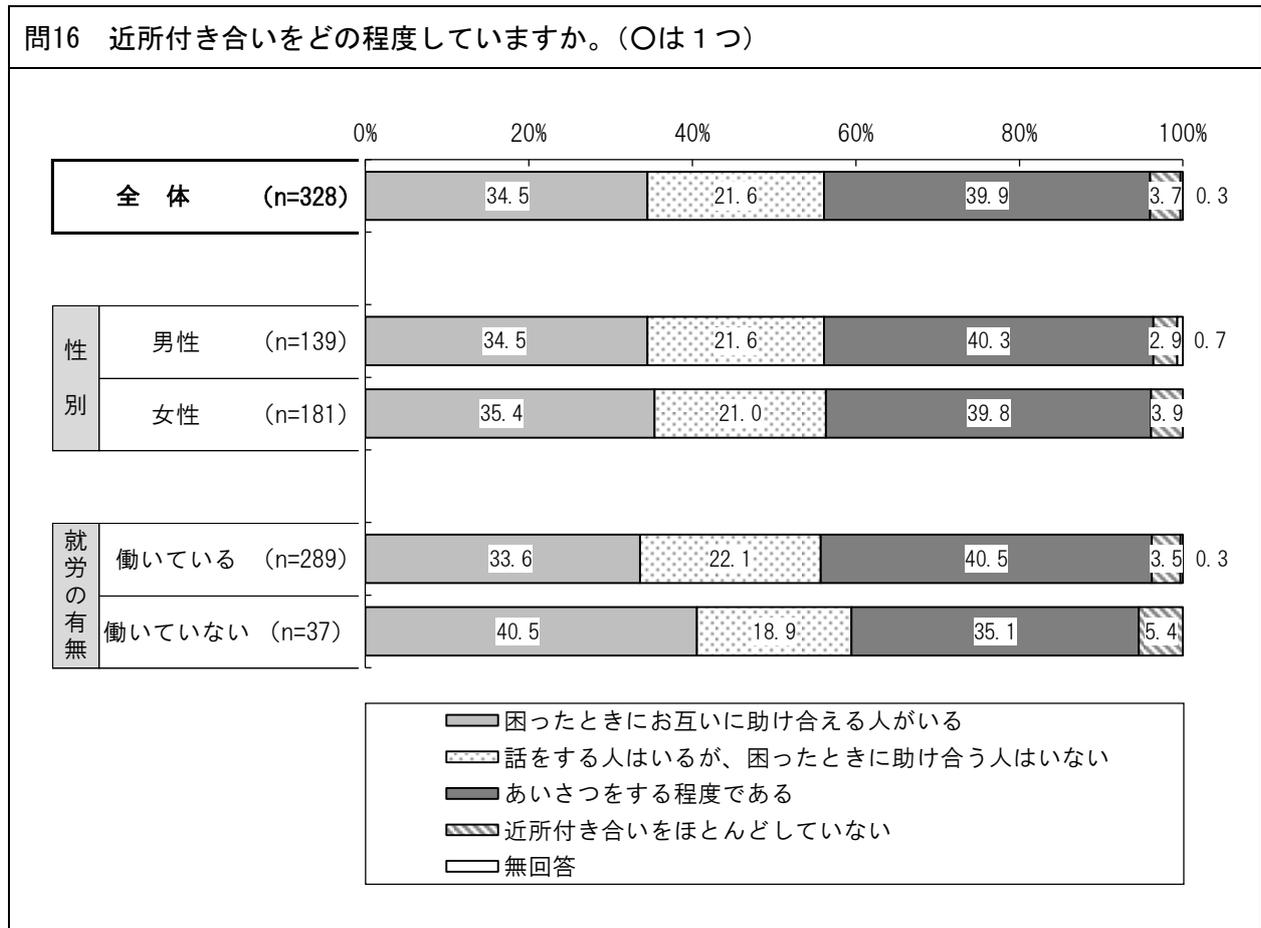


健康への意識が高まったことにおいては、「感染予防対策（マスクの着用、手洗い、うがい、こまめな換気など）に気をつけるようになった」が100.0%と最も多く、次いで「食事や栄養バランスに気をつけるようになった」が48.3%、「睡眠をとるように意識するようになった」が37.1%などとなっています。

性別にみると、女性では「食事や栄養バランスに気をつけるようになった」が59.3%と、男性に比べて30.7ポイント多くなっています。

2 地域とのかかわりについて

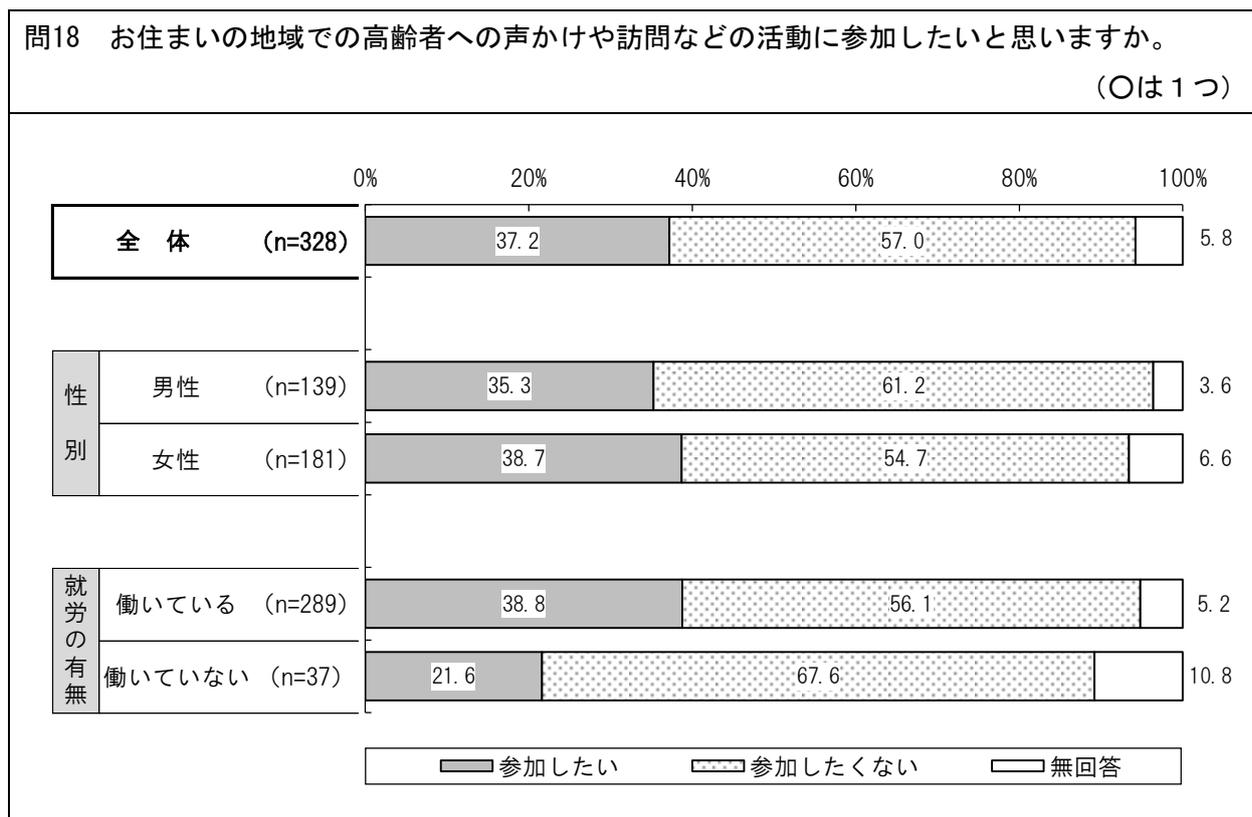
(7) 近所付き合いの程度



近所付き合いの程度においては、「困ったときにお互いに助け合える人がいる」が34.5%、「話をする人はいるが、困ったときに助け合う人はいない」が21.6%、「あいさつをする程度である」が39.9%、「近所付き合いをほとんどしていない」が3.7%となっています。

就労の有無別にみると、働いていないでは「困ったときにお互いに助け合える人がいる」が40.5%と最も多くなっています。

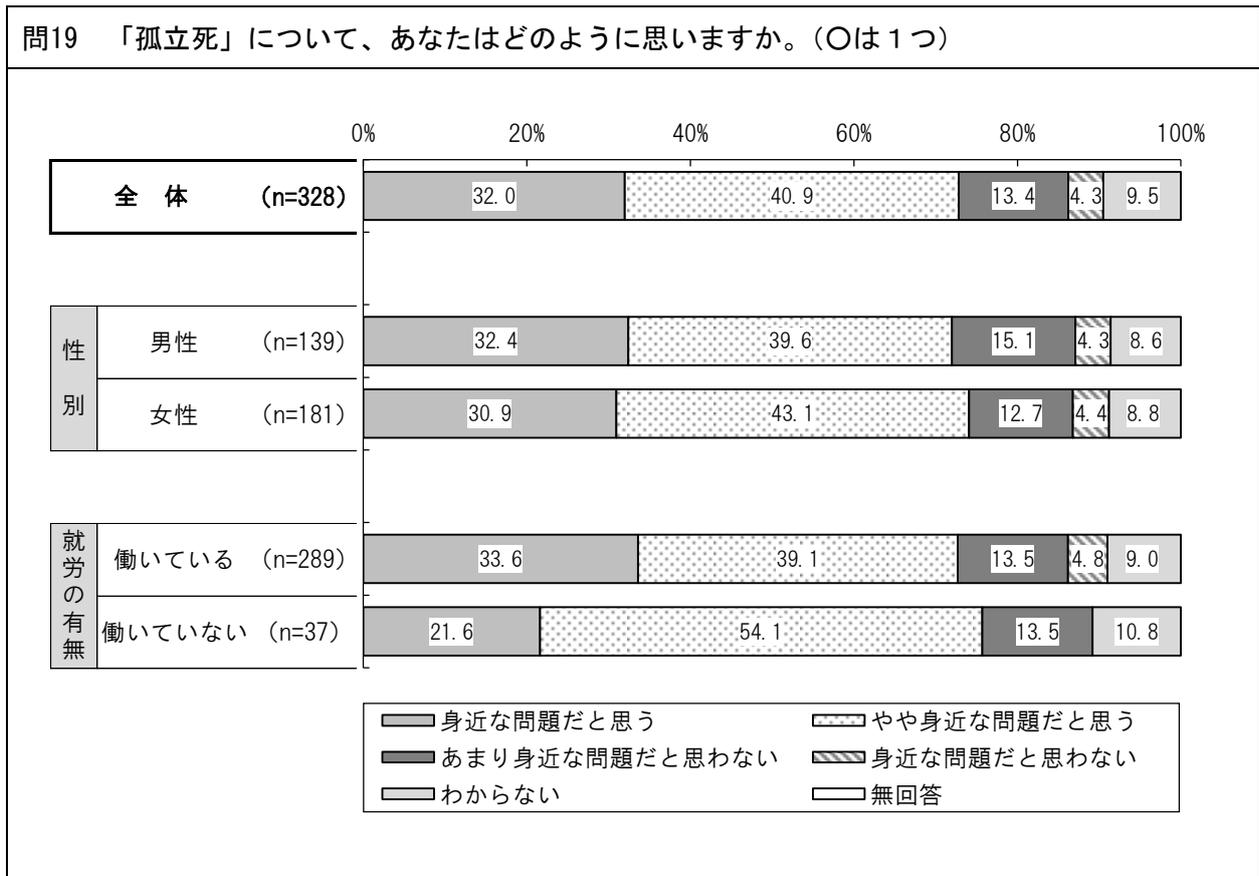
(8) 高齢者への声かけや訪問などの活動への参加意向



高齢者への声かけや訪問などの活動への参加意向においては、「参加したい」が37.2%、「参加したくない」が57.0%となっています。

就労の有無別にみると、働いているでは「参加したい」が38.8%と、働いていないに比べて17.2ポイント多くなっています。

(9) 孤立死について思うこと

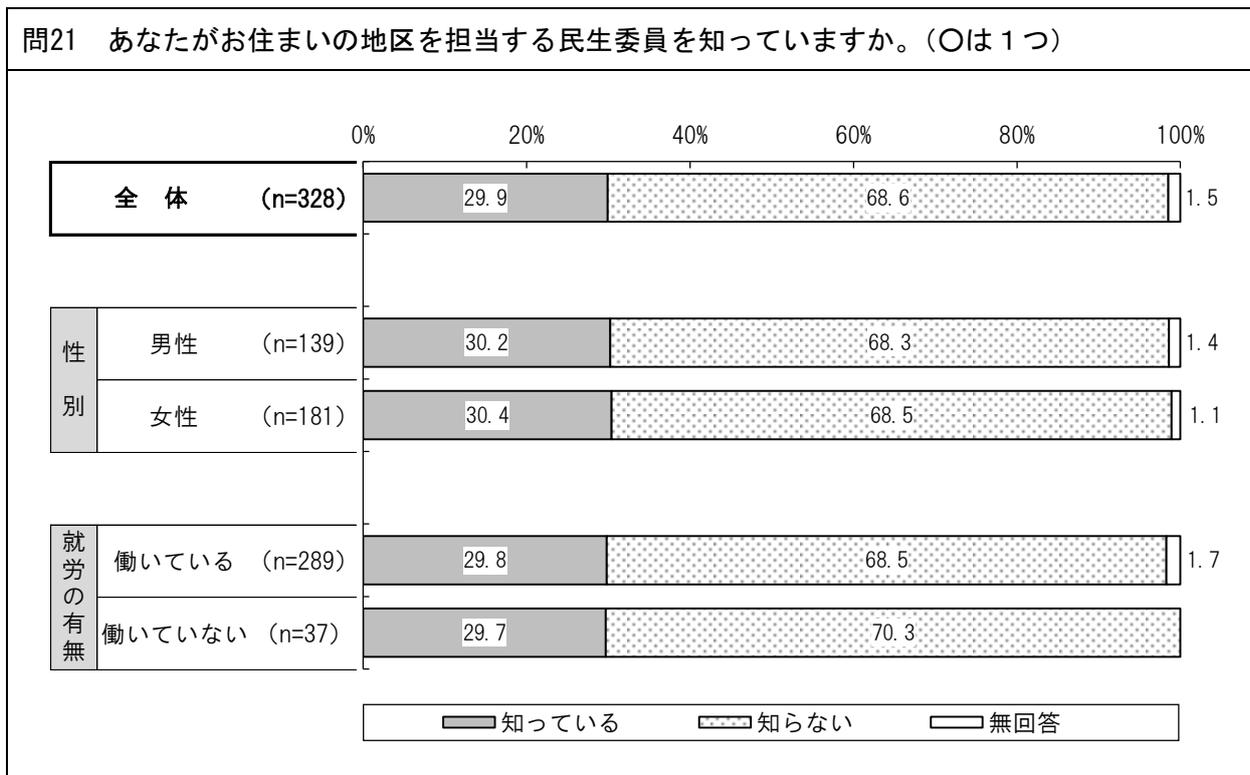


孤立死について思うことにおいては、「やや身近な問題だと思う」が40.9%と最も多く、次いで「身近な問題だと思う」が32.0%、「あまり身近な問題だと思わない」が13.4%などとなっています。

就労の有無別にみると、働いていないでは「やや身近な問題だと思う」が54.1%と、働いているに比べて15.0ポイント多くなっています。

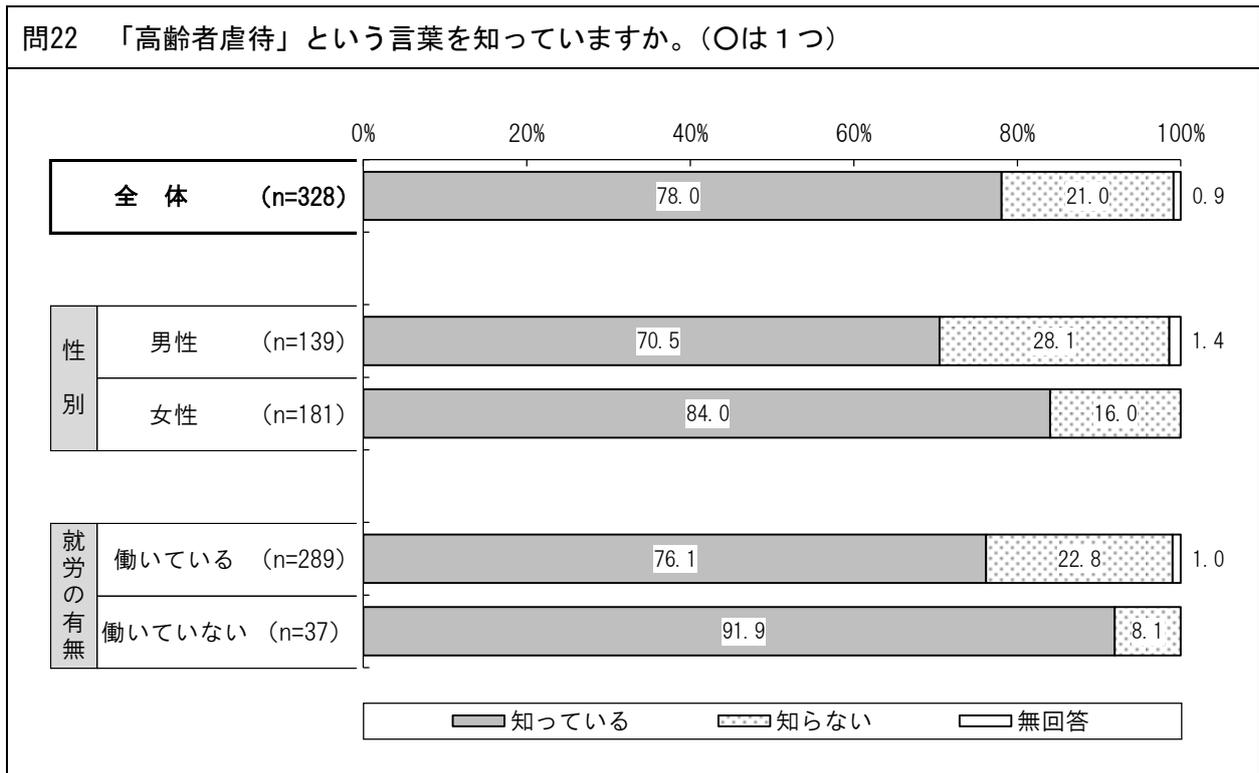
3 安全・安心について

(10) 地区担当の民生委員の認知状況



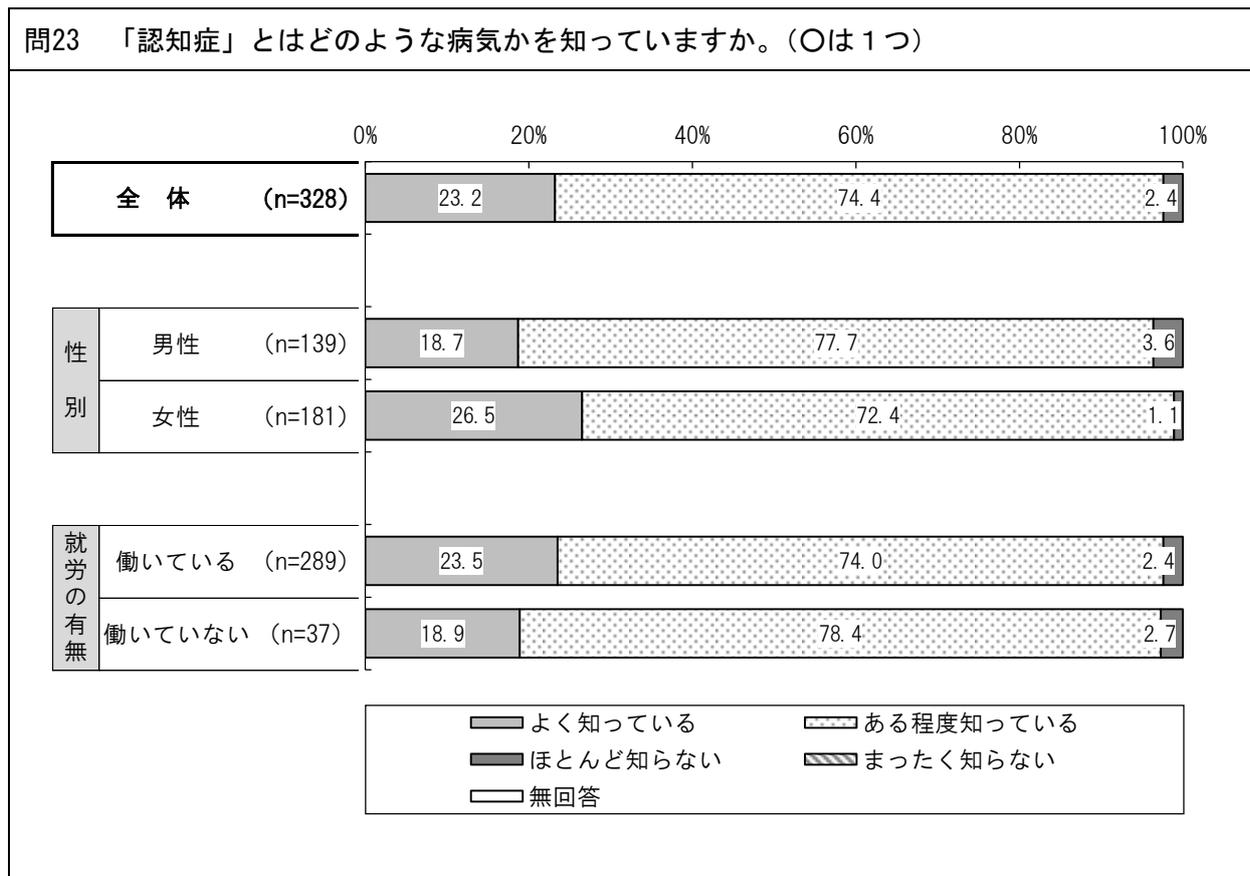
地区担当の民生委員の認知状況においては、「知っている」が29.9%、「知らない」が68.6%となっています。

(11) 高齢者虐待の認知状況



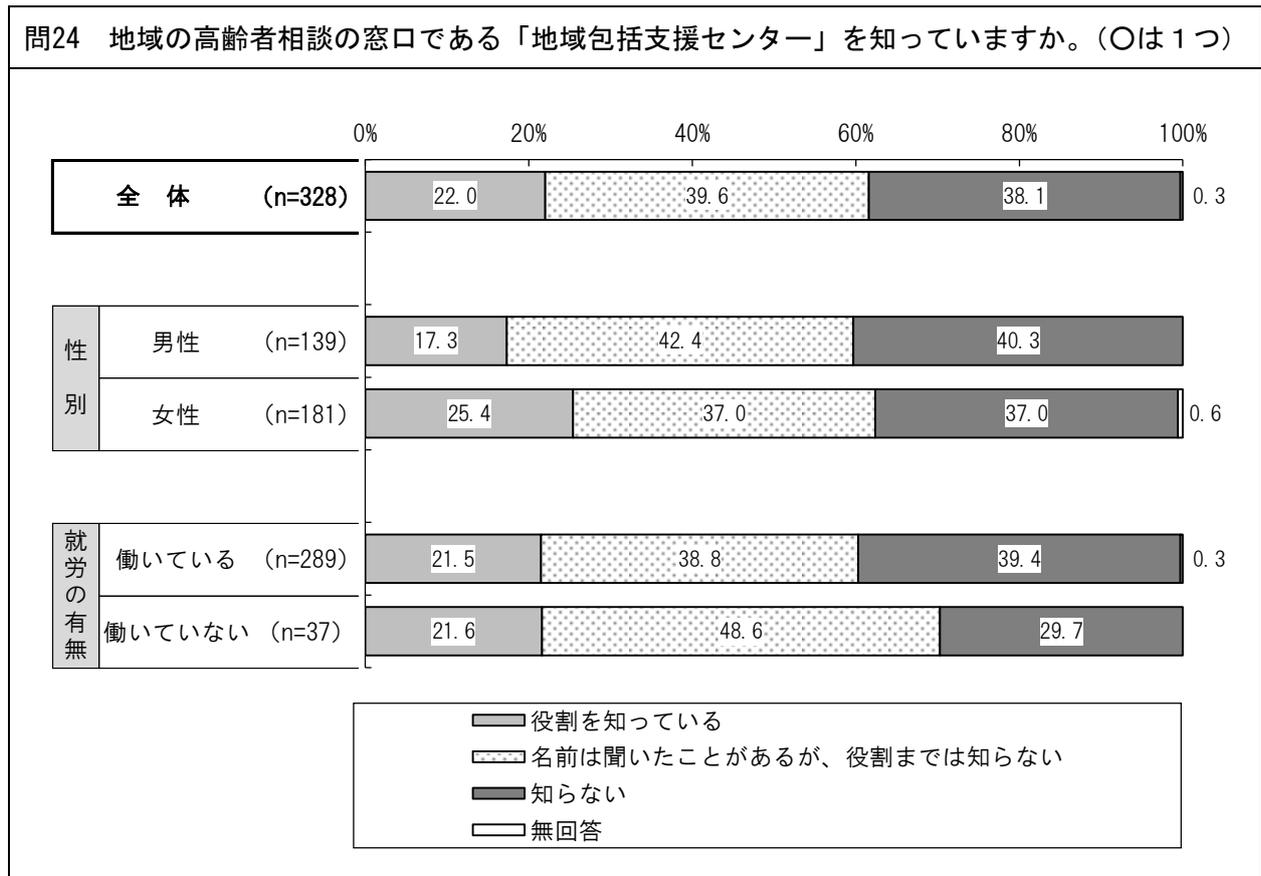
高齢者虐待の認知状況においては、「知っている」が78.0%、「知らない」が21.0%となっています。性別にみると、女性では「知っている」が84.0%と、男性に比べて13.5ポイント多くなっています。就業の有無別にみると、働いていないでは「知っている」が91.9%と、働いているに比べて15.8ポイント多くなっています。

(12) 認知症の症状の認知状況



認知症の症状の認知状況においては、「よく知っている」が23.2%、「ある程度知っている」が74.4%、「ほとんど知らない」が2.4%、「まったく知らない」が0.0%となっています。

(13) 地域包括支援センターの認知状況

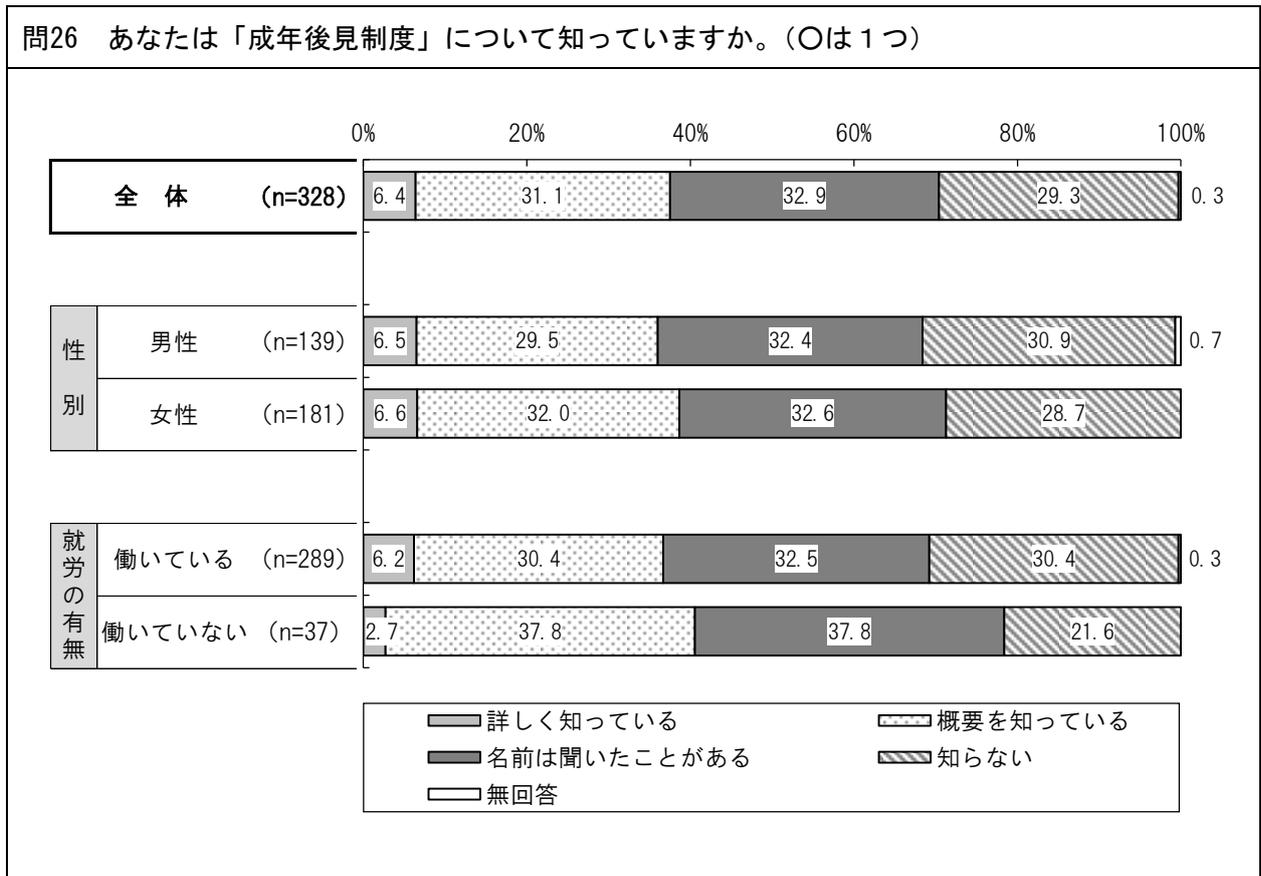


地域包括支援センターの認知状況においては、「役割を知っている」が22.0%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が39.6%、「知らない」が38.1%となっています。

就労の有無別にみると、働いているでは「知らない」が39.4%と最も多くなっています。

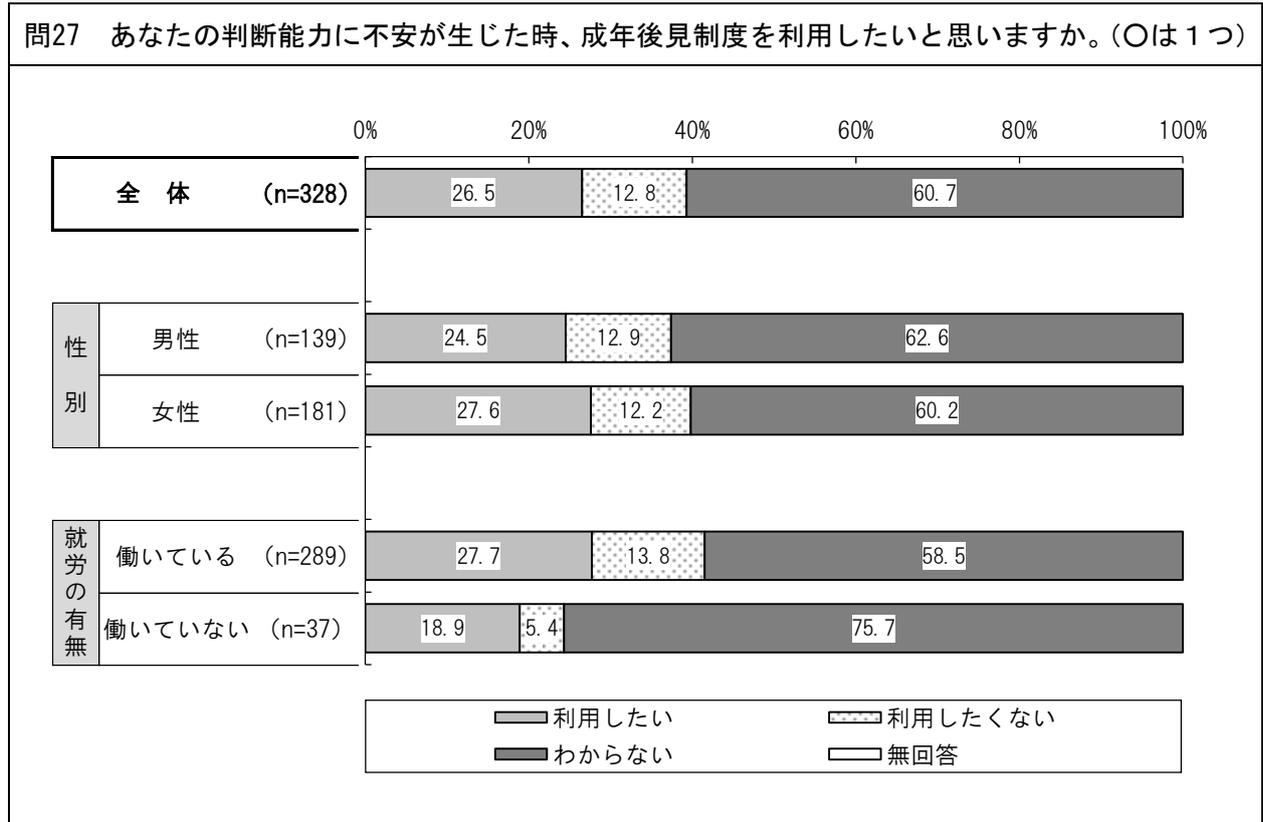
4 成年後見制度について

(14) 成年後見制度の認知状況



成年後見制度の認知状況においては、「詳しく知っている」が6.4%、「概要を知っている」が31.1%、「名前は聞いたことがある」が32.9%、「知らない」が29.3%となっています。

(15) 成年後見制度利用についての考え



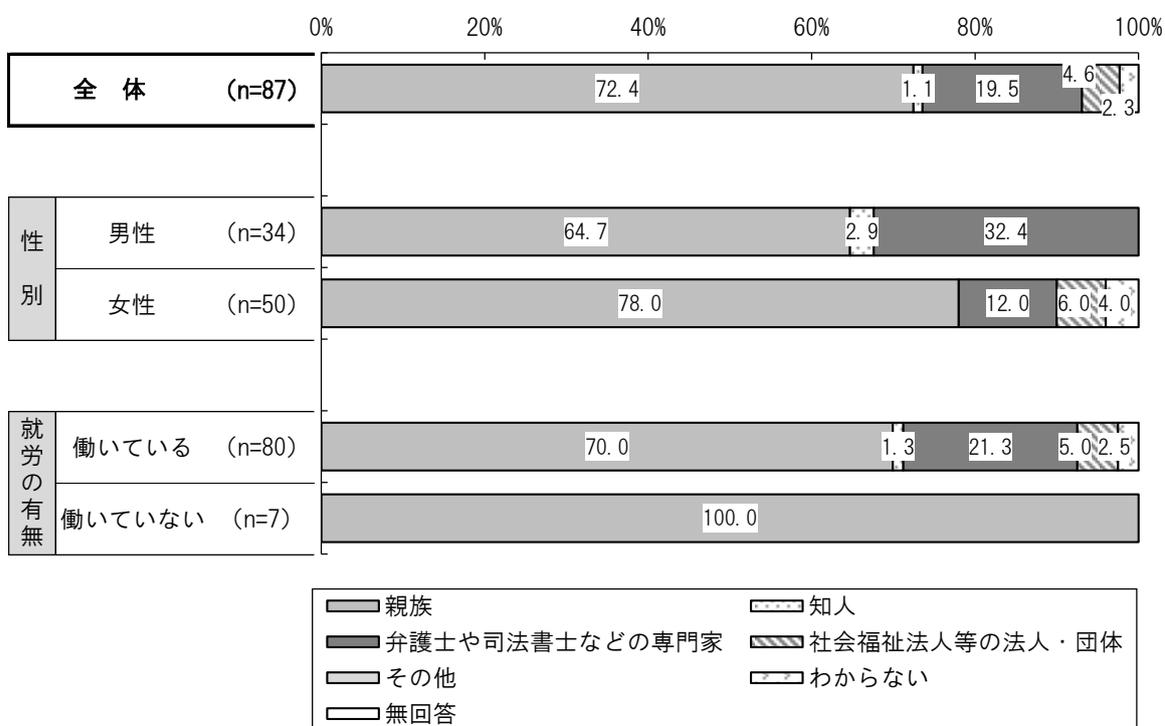
成年後見制度利用についての考えにおいては、「利用したい」が26.5%、「利用したくない」が12.8%、「わからない」が60.7%となっています。

就労の有無別にみると、働いていないでは「わからない」が75.7%と、働いているに比べて17.2ポイント多くなっています。

(16) 後見人になってもらいたい人

問27で、「1 利用したい」と回答した方にお聞きします。

問27-1 後見人には誰になってもらいたいですか。(○は1つ)



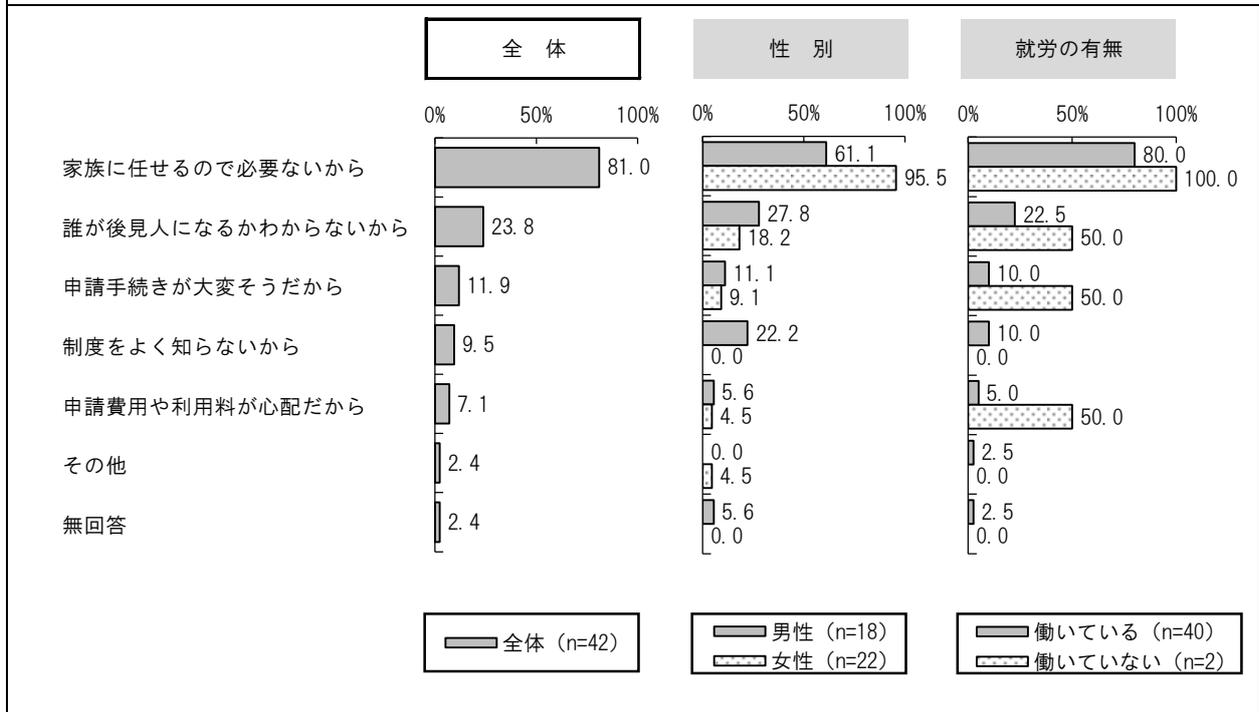
後見人になってもらいたい人においては、「親族」が72.4%と最も多く、次いで「弁護士や司法書士などの専門家」が19.5%、「社会福祉法人等の法人・団体」が4.6%などとなっています。

性別にみると、男性では「弁護士や司法書士などの専門家」が32.4%と、女性に比べて20.4ポイント多くなっています。

(17) 成年後見制度を利用したくない理由

問27で、「2 利用したくない」と回答した方にお聞きします。

問27-3 利用したくない理由を教えてください。(〇はいくつでも)



成年後見制度を利用したくない理由においては、「家族に任せるので必要ないから」が81.0%と最も多く、次いで「誰が後見人になるかわからないから」が23.8%、「申請手続きが大変そうだから」が11.9%などとなっています。

性別にみると、女性では「家族に任せるので必要ないから」が95.5%と、男性に比べて34.4ポイント多くなっています。